

令和 4 年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

法人本部

事業概要報告

新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るい、昨年から継続して感染症対策の強化を図って参りましたが、職員やご利用者の家族内感染から施設内感染へと拡大し、恩賜記念みどり園、ふようデイサービス、みぎわ園、みぎわの里等とほぼ全ての施設に新型コロナウイルス感染症が入りました。

利用者の安全を第一に考え、通所施設は業務を休止した対応を図りましたので、運営面に多大な影響を与えた年となりましたが、陽性者の方々もほぼ重症化せず回復し、介護施設では5回目のワクチン接種(希望する職員含む)が終了しました。

今年も施設間の往来を制限し夏祭りなどの主要行事及び救命講習等の研修は施設単位に縮小して開催するなど、感染防止を主軸においての事業展開でした。職員や入所者等の方々には継続した感染対策の励行を求めて窮屈な生活を強いてしまいましたが、ご理解とご協力を得たことに大変感謝しております。令和5年5月より新型コロナウイルスは感染症法上の5類に分類され、重症化になり易い乳幼児や高齢者の安心と安全を守る対策が課題となりました。

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は119年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。また、創立120周年に発刊予定の「記念誌」は、寄稿文の収集が終わり法人の沿革、各施設紹介と作業を進めておりましたが、専従職員を配置せずに通常業務と兼務して資料等編集作業に当たっているため、遅延が生じ令和5年6月10日の式典予定日に間に合わせる事ができず、「創立記念式典」を半年位延期する決定に至りました。

平成29年4月に「労働時間の適正把握」が義務付けられたことを受け「勤怠管理システム(客観的な記録を適正に把握するため)」を導入し、10月より本格施行して参りました。

さらに、本年度より業務用車両を5台以上使用する事業所に課せられた飲酒検知については、アルコール検知時の数値記録の記載義務に対応できるアルコール検知システム(検査数値とチェック時の顔写真クラウド上に保存)を導入し法令に則した対応を図り、就業規則の改正や研修等の企画を立案しながら職員の働きやすい職場環境の構築と法令遵守という命題に取り組んで参りました。しかし、優れたシステムを導入しても使用者の認識の相違による誤操作のため適正な運用に至らず今後の課題が残りました。

職員の採用状況については、年度当初より採用活動を開始し養成校主催の施設紹介等のイベントに職員を積極的に派遣して、新卒の求人募集を図りま

した。しかし、高齢者施設では難しく、既卒者の中途採用やベトナムやミャンマーからの技能実習生の受入で人材不足解消を図る結果となり、芙蓉会で働く志を持って就職してくれた職員を大切に育てて行くための研修等の施策の充実が今後の課題となりました。

最後に、60年の永きに渡り社会福祉事業にご尽力されてこられました戸巻芙美夫相談役が令和4年10月24日に88歳で静かに旅立たれました。戸巻芙美夫相談役は、戸巻俊一・静代夫妻の長男として昭和9年9月9日に誕生し富士育児院で施設利用者と共に育ち日本社会事業大学卒業後は、児童養護施設の指導員として24年また理事長として37年間、社会福祉法人芙蓉会を牽引されご自身の生涯を芙蓉会と共に過ごされてこられました。先代より利用者至上主義を継承され、子どもたちや介護が必要な方々の家庭に代わる場所として、安心・安全を担保できる施設のあり方と勤務する職員の待遇面について常に配慮を忘れない方でした。

主要事業報告

1. 役員等報酬規程一部改正

常勤役員（業務執行理事）を配置することにより役員等報酬規程の見直しを図りました。

2. 就業規則の一部改正

乳児院恩賜記念みどり園に夜間業務の脆弱性（新型コロナウイルス感染症対策等）を回避するため就業規則の見直しを図りました。

3. 給与規程・同細則の一部改正

令和4年9月23日（金）、台風15号「タラス」の記録的な大雨により、道路が冠水し床上・床下浸水などの被害を受けた職員に対する「災害見舞金」の改正を図りました。

児童養護施設ひまわり園における特殊業務手当の内規制定及び令和4年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準拠した職員の処遇改善と住居手当の文言修正を図りました。

介護保険報酬改定（改善支援補助金に代わる改定）に伴い介護職員等処遇改善手当の整備を図りました。

4. 苦情解決規程の一部改正

企業主導型保育事業指導・監査等基準に基づき、令和4年11月10日に立入調査を受け、令和5年1月27日に立入調査結果通知書を受理いたしました。本結果通知に基づき、苦情処理規程（守秘義務の明記）の整備を図りました。

5.表彰規程細則一部改正

職員の表彰に際し、勤続表彰（雇用条件に基づき勤務実態に即した）の見直しを図りました。

基本目標報告

1.辞令交付式（WEB 開催）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い今年は、やむを得ず WEB 開催とさせていただきます。理事長訓示の後、各施設長より新任職員 10 名に辞令が交付されました。

2.法人内新任職員研修開催（開催日：令和 4 年 4 月 5 日）

新型コロナウイルス感染症を避けるために 3 密（密閉、密集、密接）を図り、机、椅子の消毒、検温、入口消毒ジェル設置、マスク着用での研修開催となりました。

法人の理念及び実践的な事務処理、施設運営基盤の強化を図ることを目的に、人材育成・組織活性化という視点から、坂倉裕子講師を招き「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について新規採用職員 15 名を対象に開催いたしました。

3.芙蓉会「創立 119 周年」記念式典

令和 4 年 6 月 10 日に「創立 119 周年」を迎えましたが、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な社会活動が自粛されており、残念ながら当法人も記念式典を縮小し、感染症拡大防止対策を図るために会場を児童養護施設ひまわり園 2 階食堂に変更して永年勤続表彰（役員 1 名、職員 32 名）のみを執り行いました。

4. 芙蓉会夏祭り中止

地域の皆様並びに職員の方々の理解とご協力により毎年開催をしておりました「芙蓉会夏祭り：令和 4 年 8 月 20 日（土）」ですが、今年は新型コロナウイルス感染症を避けるため対外的には中止とさせていただき、各施設内で縮小して実施いたしました。

5. ハラスメント研修開催（WEB 研修）

当法人の顧問弁護士ご指導（講師：立石雅世弁護士、塩谷知一弁護士、平山周恒弁護士）の下、2 日間（令和 4 年 11 月 9 日及び 30 日）にわたり「職場におけるハラスメント予防」研修を WEB で実施いたしました。なお、21 名が受講しました。

6. 普通救命講習会

応急手当普及指導員 10 名による「普通救命講習会」が各施設で 5 回（令和 5 年 1 月 23 日から 3 月 24 日）実施され今年も多く職員が受講しました。

その他の報告

1. 故戸巻芙美夫儀「お別れの会」

令和 4 年 10 月 24 日に永眠されました故戸巻芙美夫儀の「お別れの会」を同年 12 月 17 日（土）平成記念館にて柳澤光子牧師（日本キリスト教団吉原教会）司式の下しめやかに執り行われました。ここに生前のご厚情を深謝し謹んでご報告申し上げます。

2. 社会福祉法人芙蓉会「懇親会」中止

令和 4 年 6 月 15 日（水）開催第 58 回評議員会後に予定をしておりました懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。

3. 令和 4 年度冬 SHIZUOKA 福祉の就職&進学フェア参加

静岡県社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者は 1 法人 2 名までの入場者制限が設けられました。今年は 10 名のエントリーがあり、来季採用に向けた継続的サポート体制を整えて参りました。

4. 静岡県児童福祉等物価高騰対策支援金

新型コロナウイルス感染症の影響下で物価高騰に直面する静岡県内の児童養護施設に対して、サービスの質の低下を防止し安定的な運営を支援するため施設に支援金 732,000 円を令和 5 年 1 月 24 日に受理しました。

法人単位（ひまわり園、恩賜記念みどり園、さくら保育園）請求

ひまわり園、恩賜記念みどり園：定員×5,000 円

さくら保育園：定員×2,000 円

5. 富士市子育て世帯物価高騰対策特別給付金

富士市では、物価高騰の影響等を踏まえ子育て世帯の生活を支援するために、市独自事業として給付金を支給。

本支給金対象：施設入所等児童（令和 5 年 1 月 1 日付：10,000 円／1 人）

6. 国の「省エネプログラム」補助金事業参加

経済産業省の補助金事業（省エネ・節電等のサポートを通じて電気の安定的供給と負担軽減を図る取り組み「TEPCO 省エネプログラム 2022」）に参加し、国の審査が承認され令和 5 年 2 月 21 日に 200,000 円（ひまわり園、恩賜記念みどり園で折半）を受理しました。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数		議 案
	理事	監事	
第 184 回 R4.5.25	6	2	(1) 決議事項 1. 令和3年会計年度事業報告並びに計算書類等の承認の件 2. 欠員に伴う評議員推薦案件 3. 第58回定時評議員会の召集の件 4. 第4回評議員選任・解任委員会の召集の件 5. ふようデイサービスセンター移転計画案件
第 185 回 R4.10.26	7	2	(1) 報告事項 1. 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 2. 令和4年度立入調査・指導監査実施結果の報告 3. 行政文書開示請求の報告 (1) 決議事項 1. 令和4年度追加・変更事業計画案件 2. 乳児院「みどり園」施設整備等積立金の積立案件 3. 令和4年度第一次資金収支補正予算案件 4. 給与規程の一部改正案件 5. 給与規程規則の一部改正案件 6. 企業主導型保育事業「さくら保育園」運営規程一部改正案件 7. 児童養護施設「ひまわり園」積立金の目的外使用案件 8. 建設工事資金の借入案件 9. 故戸巻芙美夫儀の偲ぶ会案件
第 186 回 R5.3.22	6	2	(1) 報告事項 1. 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 2. 情報開示審査請求の結果報告 3. 社会福祉法人に対する指導監査実施結果報告 4. 令和4年度企業主導型保育事業立入調査結果報告 (2) 決議事項 1. みぎわ園施設長の人事案件 2. 定年退職者の人事案件

		3. 任期満了に伴う役員候補者の推薦案件 4. 役員報酬規程一部改正案件 5. 定款変更申請の件 6. 就業規則一部改正案件 7. 介護職員等の処遇改善手当一部改正案件 8. 給与規程細則一部改正案件 9. 苦情解決規程の一部改正案件 10. 表彰規程細則一部改正案件 11. 令和4年度第二次資金収支補正予算案件 12. 令和5年度事業計画案件 13. 令和5年度資金収支予算案件
--	--	---

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監 事	
第 58 回 R4.6.15	7	2	(1) 報告 1. 令和3会計年度事業報告及び監事監査報告の件 (2) 議案 1. 令和3会計年度計算書類等の承認の件 2. 欠員に伴う役員選任案件



理事会



評議員会

監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項 目
R4. 5. 10	勝又長見	令和 3 年度業務執行状況
	鈴木英之	令和 3 年度財産状況



処遇監査



会計監査

3 役員研修会の参加

開催年月日	研 修 場 所	内 容	参加者
R4. 4. 22	WEB 研修	令和 4 年度監事監査研修	理 事 2 名

4 寄付金

5, 100, 236 円 （本部 266, 134 円、ひまわり園 3, 563, 022 円、みどり園 1, 181, 080 円、みぎわ園 90, 000 円）

5 植松茂子奨学基金

48, 129, 483 円 （令和 5 年 3 月 31 日現在）

6 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
R4. 4. 1	辞令交付式	各施設にて
R4. 4. 5	新任職員研修会	ひまわり園食堂
R4. 5. 27	美化活動	芙蓉会敷地内
R4. 6. 8	創立記念式典 中止	永年勤続表彰：ひまわり園食堂
R4. 7. 27	美化活動	芙蓉会敷地内
R4. 8. 20	夏祭り 中止	各施設にて
R3. 10. 1	町内一斉清掃	芙蓉会周辺
R4. 10. 15	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
R4. 11. 9	ハラスメント予防WEB研修	各施設にて
R4. 10. 28	美化活動	芙蓉会敷地内
R4. 11. 30	ハラスメント予防WEB研修	各施設にて
R5. 1. 4	新年挨拶会	各施設にて
R5. 1. 23	普通救命講習会	各施設にて



辞令交付式



新任職員研修



永年勤続表彰



永年勤続表彰



美化活動



町内清掃



救命講習



ハラスメント研修

7 機関誌発行



8 ホームページ更新



主な公開

- ・ 定款掲載
- ・ 役員等報酬規程掲載
- ・ 役員・評議員名簿掲載
- ・ R4 年度法人行事
- ・ R4 年度寄附行為等
- ・ R4 年度事業計画、予算書
- ・ R4 年度事業報告、決算書
- ・ R4 年度広報誌掲載
- ・ R4 年苦情受付情報
- ・ R5 年理事長新年挨拶

9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正規	非常勤	正規	非常勤
法人本部	—	—	—	—
さくら保育園	—	—	1 名	—
ひまわり園	6 名	1 名	4 名	2 名
ひろみ	2 名	—	—	—
みどり園	5 名	3 名	3 名	1 名
みぎわ園	9 名	4 名	6 名	2 名
計	22 名	8 名	14 名	5 名

(2) 労災、傷病、介護休業、産休・育休

施設名	労災	傷病	介護休業・休暇	産休・育休
法人本部	—	—	—	—
さくら保育園	—	—	—	—
ひまわり園	6名	2名	—	1名
みどり園	3名	1名	—	—
みぎわ園	4名	3名	—	3名
計	13名	6名	—	4名

10 定期健康診断結果報告

日程	在籍労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
R4.9	205人	199人	75人

日程	受診対象労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
R5.2	206人	117人	20人

11 心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告（ストレスチェック）

日程	在籍労働者数	検査を受けた労働者数	面接指導を受けた労働者数
R4.9	205人	201人	0人

12 安否情報確認システム「安否コール」結果報告（返信率）

日 程	配信数	返信数	全 体	法人本部	さくら保育園	みどり園	ひまわり園	みぎわ園
R4. 4	204 人	183 人	89%	100%	100%	82%	81%	94%
R4. 5	192 人	177 人	92%	100%	100%	82%	86%	96%
R4. 6	196 人	180 人	90%	100%	100%	86%	81%	96%
R4. 7	197 人	183 人	92%	100%	100%	91%	86%	94%
R4. 8	200 人	179 人	89%	100%	100%	80%	81%	94%
R4. 9	204 人	181 人	88%	100%	100%	86%	73%	93%
R4. 10	202 人	188 人	93%	100%	100%	86%	86%	96%
R4. 11	201 人	182 人	90%	100%	100%	81%	83%	94%
R4. 12	205 人	185 人	90%	100%	100%	82%	72%	95%
R5. 1	204 人	188 人	92%	100%	100%	87%	86%	95%
R5. 2	202 人	183 人	90%	100%	100%	86%	75%	95%
R5. 3	205 人	184 人	88%	100%	100%	85%	68%	95%
平均	201 人	183 人	91%	100%	100%	85%	81%	95%

※ R4. 11 は夜間想定訓練です。

13 苦情及びお問い合わせの対応

苦情：0 件

お問い合わせ：19 件

（芙蓉会 8 件、ひまわり園 6 件、ひろみ 1 件、みどり園 6 件、みぎわ園 1 件）

日 付	お問い合わせ先	内 容
R4. 4. 19	みどり園	みどり園の新卒採用の件についてお伺いしたく、問い合わせさせて頂きました。現在、来年度のみどり園での保育士としての就職を検討しています。5 月末から 6 月初旬にかけて実習があり、実習終了後、就職活動を行ないたいと考えています。試験日時が随時となっていますが、6 月下旬以降の応募でも試験が間に合うかお聞きしたいです。お忙しいところ申し訳ありませんがご返信いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

R4. 4. 21	ひまわり園	はじめまして。2023 年度の新卒採用の項目に書かれていた Zoom での施設概要説明を行っていただきたくお問い合わせさせていただきました。お忙しい中恐れ入りますが、お時間ある際にご返信いただけますと幸いです。
R4. 4. 25	ひまわり園	乳児院の抱っこボランティアができないかどうか検索していたところ、芙蓉会さんに行き当たりました。「ひまわり園」と「ひろみ」での学習ボランティアに興味があります。週 1～2 回ほどにはなりますが、活動させていただく事は可能でしょうか？現在 37 歳で 1 歳になる息子がおります。また学生時代には小学生と中学生の家庭教師をしておりました。それらの経験を活かすことも出来そうです。お手数をおかけしますがご返信を頂けると幸いです。よろしくお願いいたします。
R4. 5. 12	芙蓉会 ひまわり園 みどり園 ひろみ	私は電子書籍・デジタルコンテンツのショッピングモールを運営しております。社会の変化に対応していく中で、新型コロナウイルス感染拡大や世界情勢の不安定化を受け、社として社会貢献活動に取り組むことといたしました。今後、児童養護施設、寡婦支援団体、障害者施設、乳児院等、社会福祉活動に精力的に取り組まれる団体の支援を行なう予定です。つきましては、微力ではございますが、貴団体に寄付の申出を行ないたくご連絡させていただきました。ご検討のうえ、寄附の受け入れにご賛同いただけたら、下記担当宛てご連絡くださるようお願いいたします。
R4. 5. 20	みどり園	indeed で求人情報を見たのですが、夜勤を希望してしまして夜勤のみの求人募集はありますでしょうか？
R4. 5. 22	芙蓉会	はじめまして。小学 5 年生の右四肢麻痺、知的障害のある娘の母をしています。色々な困難があり、限界を感じて預けられる先があるか探しています。お電話で色々伺えたらと思いますがよろしいでしょうか。

R4. 5. 23	ひまわり園	こんにちは。新品の絵本とすごろくを寄贈したいのですがいかがでしょうか。人生の不思議について低学年の子どもたちから大人も一緒になって考える内容となっています。お子様たちのより健やかなご成長をお祈りして寄贈させていただきたいと思います。ご検討くださいますようお願いいたします。
R4. 5. 24	ひまわり園	公益財団法人児童育成協会総務部の沼田と申します。2022 年度児童養護施設等サポート事業のご案内を送り致します。SMBC コンシューマーファイナンス様からの寄付金を主な財源とし、児童養護施設等を退所した児童等への自立のための支援を行う事業です。ホームページより実施要領・申請様式をご確認ください。
R4. 5. 27	みどり園	現在大学 4 年で 6/13～6/23 まで実習があるのですが、その後も面接をしていただけますでしょうか？
R4. 6. 3	みどり園	現在乳児院への就職を考えております。調べていく中で、みどり園様の事を知り、見学・自主実習をさせていただきたく、ご連絡させていただきました。日程のご相談をさせていただきたいです。よろしくお願いいたします。
R4. 6. 9	芙蓉会	お世話になっております。スポーツ映像サービス DAZN 株式会社久保と申します。DAZN は圧倒的な種類のスポーツコンテンツを年間 10,000 試合以上、ライブ中継&見逃し配信を楽しめるスポーツ映像サービスです。本日は DAZN を貴施設で放映し集客にご利用いただける商業利用プランのご案内です。

R4. 6. 15	みどり園	昨年の9月の実習では大変お世話になりました。この度は貴園にて見学をさせていただきたくご連絡させていただきました。先日貴園のホームページにて新卒の募集がかけられていることを拝見させていただきました。貴園の就職を希望しているのですが、見学をさせていただく中で新たに職員の方々や子供たちの様子を学ばせていただきたいと考えております。ご多用中恐れ入りますが、ご検討いただければと存じます。
R4. 6. 29	芙蓉会	お世話になります。TheFOCUS メディア担当の逢坂と申します。この度貴社のお取り組みや経営理念、HP の情報等を拝見し、代表へ取材を兼ねて一度お会いしたいと思いご連絡させていただきました。
R4. 6. 29	芙蓉会	初めてご連絡させていただきます。この度は「保育園向けの献立付き給食食材宅配サービス」をご案内させていただきたくご連絡差し上げました。弊社は実際に保育園を運営していた経験もございます。そのため給食作りにまつわる業務の煩雑さや、届く食材の質もよく存じております。全ては子どもの笑顔を第一に考え、新鮮な食材の提供と調理・発注の手間の削減を誠心誠意サポートさせて頂けたらと存じます。何卒宜しくお願い致します。
R4. 7. 6	ひまわり園	私は大学の授業で社会的養護について学び、児童養護施設での就職を考えるようになりました。施設や子供たちの様子を少しでも知りたいと思い、学習支援ボランティアをやりたいと考えています。返信よろしくお願い致します。
R5. 3. 17	芙蓉会	少額ですがお役立てください。15日に振込いたしました。
R5. 3. 17	ふようデイ	ボランティア募集見ました。入浴・食介・見守り等募集していますか？介護経験あります。

R5.3.27	芙蓉会	お弁当デリの事務局でございます。もし少しでもご興味ございましたらお気軽に以下よりご連絡下さいませ。
R5.3.28	芙蓉会	弊社では商品やサービスの YouTube 動画を制作し、Google や Yahoo の検索結果の 1 ページ目の上位に表示させて集客をする今一番人気で効果的なサービスを提供しております。もしご興味がございましたら一度ご案内させて頂けたらと思いますが、いかがでしょうか？

※ メール受信文転記

※ お問い合わせいただきましたメールは、各施設において速やかにご返答しております。

事業報告附属明細書

特にありません。

令和4年度 買い物送迎プロジェクトについて

令和4年度も今泉地区4地区で買い物送迎プロジェクトを実施しました。

令和4年中に5名の新規利用登録があり、現在の利用登録者は4地区で35名となりました。年間の開催回数は84回、参加者総数は423名、参加スタッフ547名、使用車両は5車種で延べ190台、開催日によっては3台の公用車で送迎しています。



令和4年度は法人内でコロナウィルスの施設内感染が発生していましたので、感染対策中の施設職員は送迎スタッフには参加させないためスタッフの手配に苦慮したり、感染者の通院に使用した車両が送迎用に使用できない状況が発生し、急遽使用していない公用車の手配に奔走するなどの対応に迫られました。

令和4年度 上半期 買い物送迎プロジェクトに関する登録者・実施回数などの内訳

地 区	登録者数	開催回数	参加人数	平均参加者数	登 録 者 数
依田橋地区	13	10	71	7.1	令和4年度より1名増、13名
上和田 緑ヶ丘地区	8	10	39	3.9	令和4年度より1名増、8名
駿河台地区	6	11	44	4.0	
鍛冶町地区	7	11	54	4.9	9/8より2名増、7名
合 計	34	42	208	5.0	令和3年度より4名増



買い物送迎プロジェクト開催に関する年次推移

平成30年 9月～ 試行開催

地 区	登録者	開催回数	参加人数	平均参加者数	備 考
駿河台地区	7	4	19	4.8	※駿河台2丁目・3丁目

平成31年度・令和元年度 ※実施初年度：各地区 月1回開催

地 区	登録者	開催回数	参加人数	平均参加者数	備 考
駿河台地区	8	7	36	5.1	
依田橋地区	10	7	32	4.6	
鍛冶町地区	7	6	30	5.0	※5月より開始
集計欄	25	20	98	4.9	

令和2年度 月2回：隔週で開催

地 区	登録者	開催回数	参加人数	平均参加者数	備 考
駿河台地区	18	18	72	4.0	※3丁目のサロンと重複し、登録者が11名減る
依田橋地区	10	17	89	5.2	
鍛冶町地区	6	18	86	4.8	
上和田・緑ヶ丘地区	6	7	34	4.9	※12月より運行開始
集計欄	40	60	281	4.7	

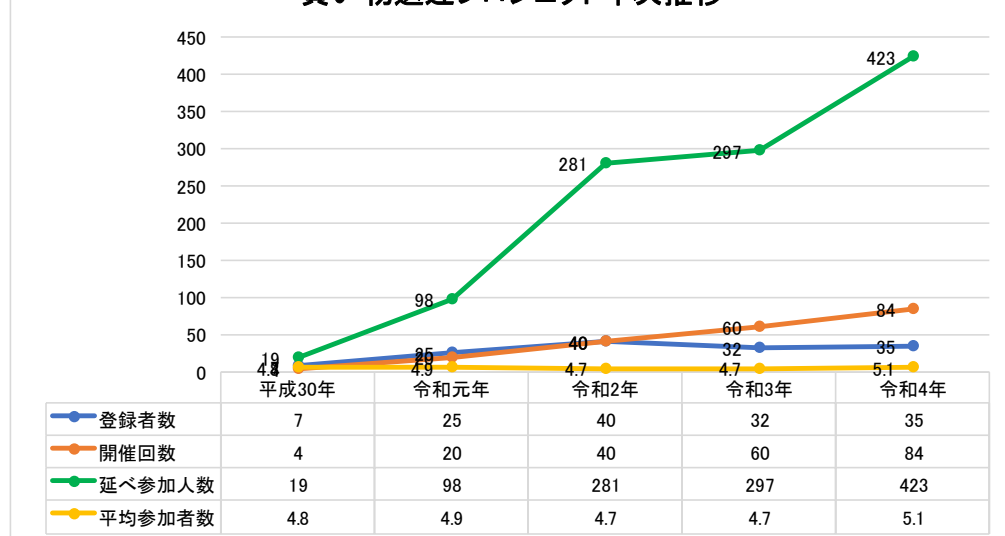
令和3年度 月2回：隔週で開催

地 区	登録者	開催回数	参加人数	平均参加者数	備 考
駿河台地区	7	17	63	3.7	
依田橋地区	12	16	89	5.6	
鍛冶町地区	6	16	73	4.6	
上和田・緑ヶ丘地区	7	14	72	5.1	
集計欄	32	63	297	4.7	

令和4年度 月2回：隔週で開催

地 区	登録者	開催回数	参加人数	平均参加者数	備 考
駿河台地区	6	22	78	3.5	
依田橋地区	13	20	138	6.9	
鍛冶町地区	7	22	118	5.4	
上和田・緑ヶ丘地区	9	20	89	4.5	※7/5は参加者0名だったので開催中止
集計欄	35	84	423	5.1	

買い物送迎プロジェクト年次推移



実施回数	地区・その他	実施日	参加者数	参加スタッフ数						スタッフ 合計	実行委員 市議	公用車使用					備 考
				みどり園	みぎわ園	地域包括	ひまわり園	法人				キャラバン	ステップワゴン	デッキパン	包括7人R	アイシス	
1	鏡治町	4月14日	4	1	3	1	0	0		5	0		○	○			
2	駿河台	4月14日	2	1	3	1	0	0		5	0		○	○			
3	依田橋	4月19日	8	1	2	1	2	0		6	0		○	○	○	○	※公用車他1台：ひまわり園アイシス使用
4	上和田	4月19日	6	1	2	1	2	0		6	0		○	○	○	○	※公用車他1台：ひまわり園アイシス使用
5	鏡治町	4月28日	5	1	3	1	1	0		6	0		○	○	○	○	
6	駿河台	4月28日	5	1	3	1	1	0		6	0		○	○	○	○	
7	鏡治町	5月12日	5	3	1	1	1	0		6	0	○		○			
8	駿河台	5月12日	4	3	1	1	1	0		6	0	○		○			
9	依田橋	5月17日	6	2	1	1	2	0		6	0	○	○				
10	上和田	5月17日	5	2	1	1	2	0		6	0	○	○				
11	鏡治町	5月26日	5	3	0	0	1	0		4	0	○		○			
12	駿河台	5月26日	5	3	0	0	1	0		4	0	○		○			
13	依田橋	6月7日	9	3	2	1	1	0		7	0	○	○				
14	上和田	6月7日	6	3	2	1	1	0		7	0	○	○				
15	鏡治町	6月9日	5	3	3	1	1	0		8	0	○	○	○	○		
16	駿河台	6月9日	4	3	3	1	1	0		8	0	○	○	○	○		
17	依田橋	6月21日	5	4	2	1	1	0		8	0	○	○	○	○		
18	上和田	6月21日	5	4	2	1	1	0		8	0	○	○	○	○		
19	鏡治町	6月23日	5	3	3	0	2	0		8	0	○	○	○	○		
20	駿河台	6月23日	5	3	3	0	2	0		8	0	○	○	○	○		
21	依田橋	7月5日	9	3	2	1	1	0		7	0	○	○				
22	上和田	7月5日	0	—	—	—	—	0		0	0						※悪天候のため参加者辞退連絡があり中止
23	鏡治町	7月14日	4	4	3	1	1	0		9	0	○	○	○	○		
24	駿河台	7月14日	5	4	3	1	1	0		9	0	○	○	○	○		
25	依田橋	7月19日	8	4	3	1	0	0		8	0	○	○	○	○		
26	上和田	7月19日	4	4	3	1	0	0		8	0	○	○	○	○		
27	鏡治町	7月28日	4	3	2	1	0	0		6	0	○	○	○	○		
28	駿河台	7月28日	2	3	2	1	0	0		6	0	○	○	○	○		
29	依田橋	8月2日	7	3	2	0	0	0		5	0	○	○	○	○		
30	上和田	8月2日	2	3	2	0	0	0		5	0	○	○	○	○		
31	依田橋	8月16日	4	3	3	0	0	0		6	0	○	○	○	○		
32	上和田	8月16日	3	3	3	0	0	0		6	0	○	○	○	○		
33	鏡治町	8月25日	4	4	2	0	0	0		6	0	○	○	○	○		
34	駿河台	8月25日	5	4	2	0	0	0		6	0	○	○	○	○		
35	依田橋	9月6日	8	4	3	1	1	0		9	0	○	○	○	○		
36	上和田	9月6日	4	4	3	1	1	0		9	0	○	○	○	○		
37	鏡治町	9月8日	6	4	2	1	0	0		7	0	○	○	○	○		
38	駿河台	9月8日	2	4	2	1	0	0		7	0	○	○	○	○		
39	依田橋	9月20日	7	3	3	0	2	0		8	0	○	○	○	○		
40	上和田	9月20日	4	3	3	0	2	0		8	0	○	○	○	○		
41	鏡治町	9月22日	7	4	1	0	2	0		7	0	○	○	○	○		
42	駿河台	9月22日	5	4	1	0	2	0		7	0	○	○	○	○		
43	依田橋	10月4日	7	4	2	1	0	0		7	0	○	○	○	○		
44	上和田	10月4日	4	4	2	1	0	0		7	0	○	○	○	○		
45	鏡治町	10月13日	6	3	2	0	1	0		6	0	○	○	○	○		
46	駿河台	10月13日	4	3	2	0	1	0		6	0	○	○	○	○		
47	依田橋	10月18日	7	4	1	0	1	0		6	0	○	○	○	○		
48	上和田	10月18日	5	4	1	0	1	0		6	0	○	○	○	○		
49	鏡治町	10月27日	7	4	1	0	2	0		7	0		○	○		○	※公用車他1台：ひまわり園アイシス使用
50	駿河台	10月27日	1	4	1	0	2	0		7	0		○	○			
51	依田橋	11月1日	4	3	2	0	1	0		6	0	○		○			
52	上和田	11月1日	3	3	2	0	1	0		6	0	○		○			
53	鏡治町	11月10日	7	3	2	0	1	0		6	0	○	○				
54	駿河台	11月10日	3	3	2	0	1	0		6	0	○	○	○			
55	依田橋	11月15日	9	4	2	0	0	0		6	0	○	○	○			
56	上和田	11月15日	6	4	2	0	0	0		6	0	○	○	○			
57	鏡治町	11月24日	7	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
58	駿河台	11月24日	4	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
59	依田橋	12月6日	8	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
60	上和田	12月6日	6	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
61	鏡治町	12月8日	6	4	2	0	2	0		8	0	○	○	○			
62	駿河台	12月8日	3	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
63	依田橋	12月20日	5	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
64	上和田	12月20日	4	4	2	0	0	0		6	0	○	○				
65	鏡治町	12月22日	5	3	2	0	2	0		7	0	○	○				
66	駿河台	12月22日	2	3	2	0	2	0		7	0	○	○				
67	鏡治町	1月12日	6	0	2	2	1	0		5	0	○	○				
68	駿河台	1月12日	2	0	2	2	1	0		5	0	○	○				
69	依田橋	1月17日	5	0	3	2	1	0		6	0	○	○				みぎわ園：加藤光課長
70	上和田	1月17日	5	0	3	2	1	0		6	0	○	○				みぎわ園：加藤光課長
71	鏡治町	1月26日	6	0	3	1	2	0		6	0	○		○			西部包括：井出さん
72	駿河台	1月26日	2	0	3	1	2	0		6	0	○		○			西部包括：井出さん
73	依田橋	2月7日	7	4	2	1	1	0		8	0	○	○	○			西部包括：井出さん
74	上和田	2月7日	7	4	2	1	1	0		8	0	○	○	○			西部包括：井出さん
75	鏡治町	2月9日	5	3	2	1	2	0		8	0	○	○				
76	駿河台	2月9日	4	3	2	1	2	0		8	0	○	○				
77	依田橋	2月21日	9	3	2	1	1	0		7	0	○	○		○		
78	上和田	2月21日	6	3	2	1	1	0		7	0	○	○		○		
79	依田橋	3月7日	6	3	2	1	1	0		7	0	○	○				加藤光課長、井出さん参加
80	上和田	3月7日	4	3	2	1	1	0		7	0	○	○				加藤光課長、井出さん参加
81	鏡治町	3月9日	4	4	1	0	1	0		6	0	○	○				
82	駿河台	3月9日	4	4	1	0	1	0		6	0	○	○				
83	鏡治町	3月23日	6	3	3	0	0	0		6	0	○	○				
84	駿河台	3月23日	4	3	3	0	0	0		6	0	○	○				みぎわ園：加藤光課長
合 計			423	251	174	47	75	0		547	0	75	73	33	6	3	

令和4年度 ひまわり園事業報告（案）

【主要事業報告】

令和4年度は、新たに小規模グループケア「もみの木」（定員6人）を敷地内別棟にて開設しました。

ひまわり園は平成13年度に地域小規模児童養護施設「ひろみ」（定員6人）、平成19年度に本体施設において小規模グループケア（定員8人）を開設しましたが、その後は新たな申請ができない時期が続きました。小規模グループケア設置の条件

件として新たに「独立した玄関を設置すること」が条件に加えられたため本体施設での開設は困難となり、平成2年に建設した高校生寮を改築して小規模グループケアとする申請を県に提出し、補助金を得て改築工事をおこない4月に事業を開始しました。

4年度は平成7年度に建て替えた本体施設の老朽化に伴い、大規模修繕を国、県に申請し、「次世代育成支援対策施設整備交付金」の補助金の認可が下りたため改修しました。

この改修で、従前から懸念されていた老朽化による外壁タイル落下防止対策、空調設備更新工事をはじめ、児童居室のトイレの洋式化、居室のクロス張り替え、ホールの床張り換え、キッチン更新工事等をおこないました。当初は自己資金40,000,000円、総工事費160,000,000円で計画しましたが、外壁工事は仮設足場を設置した打診調査が必要であったため予算が立てづらく、また申請経過において1階デイサービスセンター部分の外壁や足場設置費用は補助対象外であるという指摘を受け、結果的には自己資金が足りない状態になり、またその他の必要工事も生じたため、理事会の承認を得て人件費積立金8,000,000円を取り崩して施設整備費に充てました。自己資金が潤沢ではない中、外壁改修費用と空調設備改修工事が大きなウェイトを占めたため、内装工事に関しては十分とは言えず今後も補修必要箇所が残るため少しずつ改善していこうと考えています。

国は施設の小規模かつ地域分散化を進めていますが、ひまわり園は定員90名で建設した本体施設の今後の在り方が大きな課題となっています。小規模グループケアの申請条件には「ユニット定員6名」「ユニット内で生活が完結する設備（トイレ、浴室、キッチン、児童居室）があること」「居間、食堂など交流スペースがあること」「独立した玄関があること」があり、ひまわり園の場合は5階建てという建物構造で、独立した玄関設置が最も大きな課題です。ベランダ側に玄関を設置するにしてもベランダからの落下防止対策を図る必要があり、大規模修繕の補助対象外となる改築が必要となるため予算確保が困難で、今後の課題です。また、本体施設の6ユニット全てを小規模化する場合「定員6名×6ユニット＝36名」となるため、現状の児童数より10名近く減員としなければならないこと、同時に職員は増員しなければならないことなど、入所数の制限による収入減の中でのコントロールが難しい状況にあります。

一方で地域小規模児童養護施設「ひろみ」（定員6名）は、5名の児童で4年度事業を開始しましたが、4年度末には児童数が3名となるため児童数の調整を図る必要ができました。候補となる児童を定め児童相談所との協議の上、児童の意志確認をおこないましたが、児童が拒否したため意見を尊重する形で計画を断念することになりました。その後



【ひまわり園全景】

小学校への新入学児童 1 人が本人の了解の下、ひろみに措置変更しました。ひろみは本体施設と学区が異なり移動に関して小学生以上は転校を伴うため、定員割れを起こした場合の対応の難しさが浮き彫りになりました。建物の老朽化という問題もあり課題となっています。

【令和 4 年度入退所等状況】

1 入所児童 7 人

内訳：幼児 6 人 小学生 1 人

入所経路：みどり園からの措置変更 6 人 家庭から 1 人

保護理由：身体的虐待 3 人 ネグレクト 1 人 養育困難 2 人 保護者の精神障害 1 人

2 退所児童 9 人

内訳：幼児 1 人 小学生 3 人 中学生 1 人 高校生 3 人 その他 1 人

退所理由：就職 4 人 家庭引取 4 人 措置変更 1 人

3 一時保護 12 人

内訳：幼児 1 人 小学生 6 人 中学生 3 人 高校生 1 人 その他 1 人

保護理由：身体的虐待 2 人 心理的虐待 2 人 ネグレクト 2 人 親子関係不調 2 人
保護者への暴力 1 人 その他 2 人

解除理由：家庭復帰 7 人 一時保護所移動 3 人 元施設へ戻り 2 人

4 ショートステイ 6 人＋親子 1 組

内訳：中学生 3 人 小学生 3 人…2 人兄弟 3 回 母親と幼児 1 組

利用理由：育児ストレス 6 人 親族からの性的嫌がらせ 1 組

解除理由：家庭復帰 6 人 住居確保 1 組

5 里親のレスパイト 1 人

内訳：中学生 1 人

利用理由：育児ストレス 1 人

解除理由：里親宅へ復帰



【小規模グループケアもみの木】

【重要事項報告】

1 小規模グループケア 1 か所開設

本園北側に位置する「集会室・高校生寮」の 2 階部分を「社会的養護入所者環境改善事業費補助金」（8,000,000 円）を受けて改修し、令和 4 年 4 月 1 日より開始しました。

2 本体施設の大規模修繕工事

「次世代育成支援対策施設整備交付金」の補助を受けて実施しました。令和 5 年 4 月に支払清算しました。（補助額 109,185,000 円（国：72,790,000 円 県：36,395,000 円）

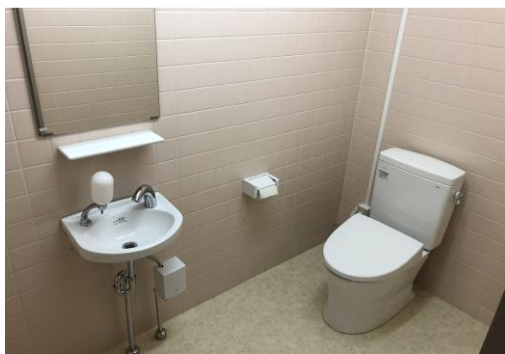
項 目	金 額 (税込)
基本設計料	4 9 5 , 0 0 0 円
実施設計料	2 , 6 6 2 , 0 0 0 円
工事監理料	3 , 7 1 8 , 0 0 0 円
本体工事費	1 4 7 , 9 5 0 , 0 0 0 円
計	1 5 4 , 8 2 5 , 0 0 0 円



【ユニットホール床の張り替え】



【ユニットキッチンの更新】



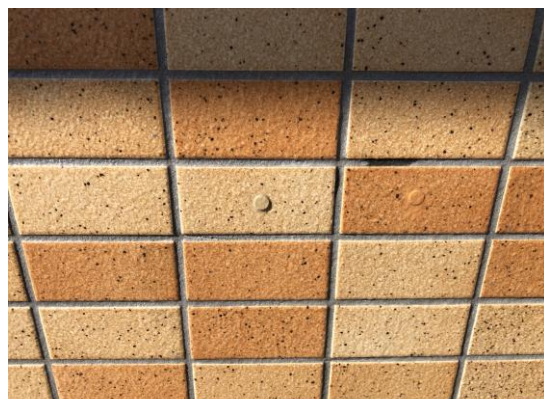
【ユニットトイレ】



【児童居室クロスの張替】



【エアコン室外機更新工事】



【外壁補修工事】

3 本体施設への不審者侵入

12月5日(月)午前1時50分頃、5階銀河に不審者が侵入する騒ぎがありました。大規模修繕の最中で外部足場がかかっている状態でしたので外部からの侵入か内部によるものか判断ができず警察に通報しました。現段階では進展はありませんが、児童や職員の安全を守るためセキュリティシステムを導入することにしました。令和5年度の予算で対応します。

4 新型コロナウイルス感染症の発症について

令和4年度の新型コロナウイルス感染症の罹患状況は以下の通りです。全員重症化することなく快復しました。予防措置、感染拡大防止措置に努めましたが、感染した職員はほとんどが感染児童の対応に入らないうちで発症しました。ユニット職員全員が感染してしまったところもありましたが、職員全員の努力で乗り越えました。

<ひまわり園>

- ①7月16日～8月3日 児童13名 職員4名
- ②8月16日～9月9日 児童5名
- ③9月25日～10月15日 児童6名 職員2名
- ④11月13日～12月1日 児童2名 職員2名

<ひろみ>

- ①1月15日～1月23日 児童1名 職員1名
- ②2月2日～2月10日 職員1名

5 新型コロナウイルス感染症対策の補助金による感染予防対策（添付資料参照）

4年度も新型コロナウイルス感染症対策補助金で以下の施設整備、購入等をおこないました。

- ①4階職業指導室トイレ・バスユニット 1,550,000円（補助額1,500,000円）
- ②換気設備 IHI製 空気清浄機 349,800円（補助額 349,800円）
- ③感染対策備品購入 168,407円（補助額168,407円）

6 保護単価改正に伴う補正予算について

令和4年度末の保護単価改正に伴い、補正をおこないました。また当初予算では暫定定員56名での予算を組みましたが、新型コロナ感染症の影響を鑑みた国からの通達で定員59名に戻ることになり修正しました。

7 社会的養護処遇改善加算について

令和4年度の民間給与改善費及び処遇改善加算、社会的養護従事者処遇改善加算の支給額の概算が出たので、職員に対して年度末に支給しました。



【職業指導室トイレ・バス】

8 「被措置児童虐待防止ガイドライン」に基づく聴き取り調査

2月2日(木)に県庁こども家庭課による聴き取り調査がありました。内容は幼児の怪我に関するものでした。施設内では事故報告書が提出されており虐待に当たるものではないと認識していることを報告しました。3月15日(水)に課長代理が来園し説明を受け、結

果は「施設内虐待」には該当しないというものでした。施設としては子どもの権利養護に対しては定期的に自己チェックを行い、また小学校４年生以上に対して毎年「生活アンケート」も実施していますが、今後も子どもの安全と安心を守るべく努力します。

9 静岡県指導監査について

7月1日(金)に静岡県指導監査を受けました。今年度も「改善指導事項」「助言指導事項」共にありませんでした。

10 第三者評価受審について

11月15日(水)に第三者評価を受審しました。評価内容については別紙の通りです。

11 事故、ヒヤリハット報告

①事故報告

種類	怪我	交通事故	器物破損	誤飲・誤薬	食事	その他	合計
件数	66	5	3	5	1	2	81

<怪我>

- ・病院受診したもの7件

<交通事故>

- ・児童送迎中に信号待ちで追突された。
- ・面談に行く途中に細い路地を左折したところで公用車左後方をブロックでこすった。
- ・一時停止していたところ対向車にミラーをぶつけられた。
- ・児童と買い物に出かけ商業施設の駐車場で柱に公用車をぶつけてしまった。
- ・幼稚園の送迎時に左折した路地でポールに当ててしまった。

<器物破損>

- ・児童が不注意に公用車のドアを開けて隣の車にぶつけてしまった。
- ・子どもとのトラブルで反抗的な態度を取った中学生を引き留めようとして居室の棚のガラス扉に当たってしまい割れてしまった。
- ・子ども同士の喧嘩でユニット入口のガラスを押して割れてしまった。

<誤飲・誤薬>

- ・他児の薬を服薬させてしまった(2件)。
- ・低学年が使用している塗布薬を新任職員が中学生に預けて塗ってもらった
- ・幼児が塗布薬を髪の毛に塗ってしまった(美容院でしてもらったワックスに見立てて)
- ・職員の勘違いで薬を2回飲ませてしまった。

<食事>

- ・幼児が100円玉サイズの飴をなめながら他児に話しかけたときに飲み込んでしまった。

<その他>

- ・幼児が目に入ったゴミを取ろうと手指消毒用アルコールをティッシュ

②ヒヤリハット

種類	怪我	交通事故	誤飲・誤薬	自傷	その他	合計
件数	8	2	3	1	15	29

1 2 苦情および要望報告

①要望 1 件（保護者からの要望）

②苦情 2 件（近隣からの苦情 1 件、県庁子ども家庭課への訴え 1 件）

1 3 地域貢献事業

法人として取り組んでいる「買物送迎プロジェクト」による地域の高齢者の買物支援に職員 2 名が参加しました。

1 4 施設整備について

①固定資産の取得棄

【取得】

種別	名称	取得年月日	金額
車輛及び運搬具	ダイハツ タント	R4.8.25	1,023,720 円
工具 器具及び備品	厨房インバーター縦型冷凍庫	R4.6.30	660,000 円
器具及び備品	勤怠管理システムピットタッチ	R4.11.7	140,250 円
機械及び装置	給水ユニット取替工事	R5.3.31	1,250,000 円
器具及び備品	ガス遮断機コントロールボックス	R4.11.30	212,850 円
器具及び備品	Wi-Fi 環境整備（もみの木）	R4.11.30	203,500 円
建物付属設備	4 階職業指導室トイレ・バスユニット	R5.3.13	1,302,243 円
器具及び備品	4 階職業指導室トイレ・バスユニットガス給湯器	R5.3.13	229,757 円
器具及び備品	厨房エアコン	R5.3.31	2,409,000 円
器具及び備品	ユニットキッチン給湯システム	R5.3.31	1,320,000 円
器具及び備品	IHI 製オゾン清浄機	R4.11.27	349,800 円
（大規模修繕関係）			
建物	ユニットキッチン（さくら）	R5.3.14	1,262,080 円
建物	ユニットキッチン（りんどう）	R5.3.14	1,107,080 円
建物	ユニットキッチン（かえで）	R5.3.14	1,262,080 円
建物	ユニットキッチン（けやき）	R5.3.14	1,295,080 円
建物	ユニットキッチン（銀河）	R5.3.14	1,262,080 円
建物	ユニットキッチン（大地）	R5.3.14	1,262,080 円
建物付属設備	トイレブース設置工事	R5.3.14	8,810,683 円
建物付属設備	電灯コンセント設備工事	R5.3.14	1,716,280 円
建物付属設備	2 階洋風便器 2 台	R5.3.14	425,200 円
建物付属設備	3 階～5 階洋風便器 3 台×6 ユニット	R5.3.14	3,434,533 円
建物付属設備	3 階～5 階トイレ洗面台 3 台×6 ユニット	R5.3.14	2,527,669 円
建物付属設備	空調設備工事一式	R5.3.14	53,393,101 円
什器備品	消防補助水栓	R5.3.14 1	1,499,280 円

【廃棄】

	名称	廃棄年月日	帳簿価格
02055	グラビノーバ	R5.3.17	1
02056	グラビノーバ	R5.3.17	1
02057	グラビノーバ	R5.3.17	1
02062	デジタルビデオ	R5.3.31	1
02078	カーナビ（キャラバン）	R5.3.31	1
02709	FAX	R5.3.31	1

②修繕（10 万円以上）

修 繕 内 容	費 用
厨房エアコン室外配管修理	316,250 円
さくら入口ドアガラス修理	193,600 円
厨房食洗機修理	210,694 円
照明取替工事	130,020 円
消防設備取替	133,100 円
大規模修繕に関する修繕費	
直接仮設	14,305,634 円
防水改修工事（屋上）	6,027,322 円
外壁改修工事（タイル補修、ピンニング、塗布）	21,781,938 円
内部改修工事（撤去）	3,216,161 円
キッチン改修工事	12,804,476 円
塗装改修工事	6,133,322 円
トイレ改修工事（間仕切り撤去）3～5 階	1,788,080 円
廃棄物処理	1,104,080 円
キッチン改修工事（既存物撤去）	2,046,080 円
トイレ改修工事（旧便器撤去）2 階	209,800 円
トイレ改修工事（旧便器撤去）3～5 階	2,971,481 円
消防補助水栓更新工事（既存タンク撤去）	117,000 円



【公用車 ダイハツ タント】



【厨房エアコン】



【IHI 製オゾン清浄機】



【厨房インバーター縦型冷凍庫】

基本目標 1

ひまわり園における養育のあり方と職員の勤務のあり方について検討を進めます。

今年度途中から「勤怠管理システム」を法人で導入しました。職員の健康管理、労働管理を目的として始めたもので、必要性を理解しながらも実際に運用する中で「子どもと起居を共にする」という想いを大切にしてきた現場では、賛否両論あり、「特殊業務手当」の定義、「超過勤務」の捉え方など検討していますが、ひまわり園が大切にしてきた縦割りユニット制の「子どもの生活の場」の考え方との狭間でなかなか整理が出来なかった一年でした。養育の質を落とすことなく勤務体制を整備していく取組を引き続き検討します。

「第三者評価の結果を受け、取り組むべき課題の整理をおこなうよう現場に投げかけ、5年度に検討していくこととしました。

基本目標 2

「新しい社会的養育ビジョン」と施設環境整備の計画について検討を進めます。

建設から 25 年が経過していた本体施設の老朽化対策として「次世代育成支援対策施設整備交付金」の補助金を受けて 150,000,000 円規模の大規模修繕をおこないました。基本設計、実施設計、工事監理を「株式会社ゆたか建築設計事務所」、工事は「井上建設株式会社」と契約して 9 月 23 日より工事が開始され、3 月 17 日に引渡しが完了しました。支払いに関しては、件からの補助金が交付され次第支払うことになっています。今回の改修では主に外壁、空調、ユニット等の床張り換え、トイレ改修、居室等のクロス張替が主なものです。子どもたちが生活しながらの改修でかなり苦労がありましたが事故もなく改修できました。

「施設の小規模かつ地域分散化」という国の施策において、ひまわり園では本体施設の今後の在り方が大きな課題となっています。「ケアニーズが非常に高い子ども」を受け入れるという国の方針は「養育」ではなく「治療」が中心となり、本来の児童養護施設とはかけ離れたものです。大規模修繕が終わったことでハード面での大きな課題に一段落したの

で、今後は中身の充実に向けて検討を深めていきたいと考えます。

基本目標 3

子どもの意見表明権の保障と権利擁護に努めます。

子どもたちには「生活意識アンケート」を実施して、日々の生活に関する意識調査をおこないました。職員に対しては全国児童養護施設協議会による「人権擁護チェックリスト」を年4回実施して、自己の振り返りをおこないました。

また、今年度は3年ごとに義務づけられた第三者評価を受審し、課題について会議内で検討しました。

基本目標 4

子どもの早期家庭復帰に努めます。

個別の児童自立支援計画に基づき、早期家庭復帰とアフターフォローに努めました。年間を通して面会80件、外泊31件、家庭訪問は5件でした。しかし児童割合では外泊できた子どもは21.2%(11人)で、逆に保護者との交流が持てなかった子どもも21.2%(11人)でした。居所が掴めない保護者、関わりを拒否する保護者、関わることで子どもに不利益をもたらす心配がある保護者など様々なケースがあり、児童相談所と協働で問題改善に努めました。

また、近年は家庭引取り後のフォローにも職員は努力しています。家庭に戻った後に再び破綻することがないように保護者や子どもにアプローチしながら家庭復帰後の生活の安定を目指しています。

里親対応では、里親制度の啓蒙、啓発に里親支援専門相談員が関係機関と連携しながら積極的に活動し、ショートルフランの調整にも努めました。また、ひまわり園から長期委託した児童や里親からの相談や家庭訪問も行い、委託後のフォローや里親と児童家庭支援センターや児童相談所との橋渡しの役割を担いました。

基本目標 5

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

社会的養護児童自立支援事業委託業者（東海道シグマ）、児童家庭支援センターなど関係機関との連携のみならず、地域の事業主さんからの支援の申し出に対して積極的に連携を図り、就労先の決定に結びつけたり、就職して障がい者のグループホームを利用する児童に対しては退所後に関わる支援機関との連携や支援方針を定めるところまで主体的に働きかけ、子どもが安心して支援を受けられる体制づくりに努めました。



【富士豪傑フォーラム様 自立支援金】

企業や地域の篤志家による自立支援金を定期的に頂くなど、社会的養護の子どもたちへの応援も広がってきており、そうした方々の想いを子どもたちに伝えていくことも職員の重要な役割であると考えています。

基本目標 6

人材確保対策を図ると共に職員のスキルアップを目指します。

令和4年度は、ひまわり園8人（児童指導員・保育士6人、調理員1人、非常勤事務員

1人)、ひろみ1人(児童指導員)を採用しました。ひまわり園は直接処遇職員の平均勤続年数が8年1ヶ月、勤続15年以上が42.9%でベテラン職員が多いことが児童養育の強みではありますが新任職員が急激に増えたことで組織としての養育力が低下しないよう努めました、課題が散見されました。

職員のスキルアップを図るため園内研修(年8回)、園内新任研修(年5回)を開催し、外部研修(年47回 延べ80人)に職員を派遣しました。



【県養協 新任研修会】

基本目標7

ひまわり園の中長期計画を定期的に見直しながら現実的な計画策定をおこないます。

県内では児童養護施設入所児童が減少しており、各施設とも定員削減や地域分散化を進めています。ひまわり園の最も大きな課題は本体施設の在り方です。5階建てという建物構造が小規模グループケア化の条件整備の課題となっています。親子生活訓練やショートステイ、一時保護の受入なども計画していますが、情勢に応じて柔軟に対応できるよう今後も継続課題としていきます。

基本目標8

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを大切にして、地域住民としての自覚が育つように支援します。

入所児童が減少している中、ひまわり園で運営しているボーイスカウト富士一団、芙蓉会フットボールクラブも団員が少なく、活動自体が縮小傾向にあることは否めません。併せて指導者である職員の確保と勤務との兼ね合いが非常に難しい時代になっています。それでも戸巻俊一先生や内藤順敬先生、戸巻裕美夫先生が始めた活動ですので、何とか継続できるように努めています。



【芙蓉会フットボールクラブ】

子ども会活動では、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小化しており、子どもたちが活躍する場を失っていくのが残念な一年でした。

基本目標9

子どもの健康に配慮し、健康的な生活を維持できるよう努めます。

全国的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい施設内でも感染が拡大しました。子どもたちは幼稚園や学校に通っているので施設内へのウイルスの侵入を防ぐことができず、同じユニットの児童や感染者の対応をしなければならない担当職



【コロナ禍の夕食の様子】

員にも感染が広がり、連日泊まり込みでサポートしてくれる職員に非常に救われました。

近年は食物アレルギーを持つ子どもが増えてきており、栄養士が献立を作るにあたりアレルギー除去食の工夫や負荷テストを計画的におこなうなど、安全な食事提供に努めました。新型コロナ感染症対策として食堂での食事をやめて、ユニットごとの食事にして、更には子ども同士も距離を取りながら黙食するという対応をおこないました。「家庭的な団らん」という風景ではないのは残念ですが、徐々に日常に戻していけることを願っています。調理員は幼児のお弁当づくりに工夫を凝らして、楽しみながら食事をとることができるよう努めました。

健康診断とインフルエンザなどの予防接種を計画的におこない、子どもたちの健康管理に努めました。

基本目標 10

職員、子ども共に防災・防犯意識を高めるよう努めます。

毎月、避難訓練および消火訓練を実施して防災意識の定着に努めました。また DWAT 研修を受け、熱海市の土砂災害支援にも参加してきた職員の提案で就職自立する子どもたちに「100 均で揃えることができる防災グッズセット」を提供し、1 人暮らしに向けた防災教育をおこないました。

大規模修繕の只中の 12 月に「不審者侵入事件」が発生し、子どもたちや職員に不安を与えてしまうことになりました。報告を受けた職員がすぐに見回り、警察署への通報、園長への連絡など迅速に対応しましたが、残念ながら外部からの侵入かどうかも含め、詳細はわかりませんでした。ただ、こうした事態が発生した場合の子どもと職員の安全確保について課題があることが明確になりました。また防犯カメラが 1 台故障していたことも判明し、あらためて防犯意識の甘さが露呈しました。この反省を踏まえ、令和 5 年度からは SECOM 株式会社と契約してセキュリティの強化を図ることとしました。



【避難訓練】

基本目標 11

実習生の受入れを通して児童養護施設に対する理解を広げ、後進の指導に努力します。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、実習生の受入れは例年より少なく、37 人を受け入れました。その中から実際にひまわり園での就職に繋がった学生もいました。ただ、職業選択が基準が「やりがい」や「使命感」が第一ではない学生が増えている印象も年々強まっているので、職員確保には繋がりづらくもなっています。

ひまわり園 附属明細書

- 1 (資料1) 各月初日在籍児童数と在籍日数
- 2 (資料2) 理由別入退所児童数
- 3 (資料3) 入所児童現況(令和5年3月1日) 含：ひろみ
- 4 (資料4) 事故・ヒヤリハット報告
- 5 (資料5) 苦情・要望受付状況
- 6 (資料6) 出張記録
- 7 (資料7) 研修記録
- 8 (資料8) ひまわりの種(児童会)実施報告
- 9 (資料9) 児童処遇について
- 1 0 (資料10) 家庭支援・里親支援等の実施状況
- 1 1 (資料11) 地域社会活動
- 1 2 (資料12) 行事の実施状況
- 1 3 (資料13) 幼稚園・学校・地域との連携
- 1 4 (資料14) 児童の健康管理
- 1 5 (資料15) 令和4年度 行事食の献立
- 1 6 (資料16) 防災訓練実施報告
- 1 7 (資料17) 実習生受入状況
- 1 8 (資料18) 設備保守・安全点検

(資料1) 各月初日在籍児童数と在籍日数

定員 (75人)		実 人 員 (初日在籍)			充足率	延 人 数		
月 別	暫定59人	男	女	合計	%	男	女	合計
令和3年 4月	44	27	17	44	100.0%	810	527	1,337
令和3年 5月	45	27	18	45	100.0%	838	558	1,396
令和3年 6月	46	28	18	46	100.0%	869	540	1,409
令和3年 7月	49	30	19	49	100.0%	930	589	1,519
令和3年 8月	49	30	19	49	100.0%	920	589	1,509
令和3年 9月	48	29	19	48	100.0%	845	570	1,415
令和3年 10月	47	28	19	47	100.0%	868	589	1,457
令和3年 11月	47	28	19	47	100.0%	840	570	1,410
令和3年 12月	47	28	19	47	100.0%	868	589	1,457
令和4年 1月	47	28	19	47	100.0%	868	589	1,457
令和4年 2月	47	28	19	47	100.0%	784	529	1,313
令和4年 3月	48	29	19	48	100.0%	937	585	1,522
合 計	564	340	224	564	100.0%	10,377	6,824	17,201

月平均 28.3 18.7 47.0



【七五三】



【ハロウィン】

(資料1) ひろみ 各月初日在籍児童数と在籍日数

定員6人		実 人 員 (初日在籍)			充足率	延 人 数		
月 別		男	女	合計	%	男	女	合計
令和3年 4月	6		5	5	83.3%	0	150	150
令和3年 5月	6		5	5	83.3%	0	155	155
令和3年 6月	6		5	5	83.3%	0	150	150
令和3年 7月	6		5	5	83.3%	0	155	155
令和3年 8月	6		5	5	83.3%	0	155	155
令和3年 9月	6		5	5	83.3%	0	150	150
令和3年 10月	6		5	5	83.3%	0	155	155
令和3年 11月	6		5	5	83.3%	0	150	150
令和3年 12月	6		5	5	83.3%	0	155	155
令和4年 1月	6		5	5	83.3%	0	155	155
令和4年 2月	6		5	5	83.3%	0	140	140
令和4年 3月	6		5	5	83.3%	0	145	145
合 計	72	0	60	60	83.3%	0	1,815	1,815

月平均 5



【太陽と海と子どもたち】



【キッズニア】

(資料2)理由別入退所児童数

①-1入退所児童一覧(措置入所)

入所児童				退所児童(退所日はカウントしない)			
氏 名	入所日	性別	入 所 理 由	氏 名	退所日	性別	退 所 理 由
1 S. M	4月14日	女	みどり園から措置変更	S. R	8月22日	男	家庭引取
2 K. R	5月31日	男	みどり園から措置変更	K. N	9月6日	男	家庭引取
3 K. R	6月3日	男	みどり園から措置変更	H. K	3月27日	男	家庭引取
4 T. R	6月30日	男	みどり園から措置変更	M. K	3月28日	女	就職、GH
5 S. A	7月1日	女	身体的虐待	S. S	3月30日	女	ふじやま学園措置変更
6 K. R	3月7日	男	みどり園から措置変更	S. D	3月31日	男	就職
7 T. H	3月10日	男	みどり園から措置変更	M. Y	3月31日	男	家庭引取
8				S. J	3月31日	男	就職
9				N. K	3月31日	男	就職、GH
入所		男	5名	退所		男	7名
		女	2名			女	2名
		合計	7名			合計	9名

①-2 ひろみ 入退所児童一覧(措置入所)

入所児童				退所児童(退所日はカウントしない)			
氏 名	入所日	性別	入 所 理 由	氏 名	退所日	性別	退 所 理 由
O. K	4月1日	女	実父の精神疾患	E. A	3月23日	女	家庭引取
				K. A	3月31日	女	就職
入所			1名	退所			2名

②一時保護児童一覧

氏 名	性別	年齢	学年	開始日	解除日	日数	保 護 理 由	解 除 理 由
1 K. N	女	13	中2	5月6日	5月11日	6	親子関係不調	家庭復帰
2 S. M	女	7	小2	5月19日	5月23日	5	心理的虐待	一時保護所移動
3 S. A	女	6	小1	6月6日	6月30日	25	心理的虐待	入所措置
4 M. R	男	16	無職	6月7日	6月7日	1	ネグレクト	家庭復帰
5 T. N	女	12	中1	7月11日	7月20日	10	母子関係トラブル	家庭復帰
6 Y. R	女	5	年長	9月10日	9月14日	5	ネグレクト	家庭復帰
7 A. D	男	15	高1	12月6日	12月9日	4	母子関係トラブル	家庭復帰
8 K. K	女	12	小6	12月28日	1月2日	6	その他	元施設へ戻り
9 S. D	男	12	小6	1月30日	1月31日	2	身体的虐待	一時保護所移動
10 S. A	女	9	小3	3月10日	3月27日	18	身体的虐待	家庭復帰
11 A. Y	男	12	中1	3月20日	4月に継続	12	実母への暴力	一時保護所移動
12 K. K	女	12	小6	3月30日	4月に継続	2	その他	元施設へ戻り
男子 3人		女子 8人		計 11人		延べ 96 日		

③ショートステイ事業受入児童一覧

氏 名	性別	年齢	学年	委託日	解除日	日数	保 護 理 由
1 K. S	男	12	中1	4月1日	4月5日	5	実母の精神的不安定
2 K. T	男	10	小5	4月1日	4月5日	5	実母の精神的不安定
3 K. S	男	12	中1	6月23日	6月29日	7	実母の精神的不安定
4 K. T	男	10	小5	6月23日	6月29日	7	実母の精神的不安定
5 K. S	男	12	中1	12月9日	12月15日	7	実母の精神的不安定
6 K. T	男	10	小5	12月9日	12月15日	7	実母の精神的不安定
男子 人		女子 人		計 人		延べ 38 日	

③-1 親子ショートステイ

氏 名	性別	年齢	学年	委託日	解除日	日数	保 護 理 由
O. M	女	30	母	7月1日	7月4日	4	義父による性的嫌がらせ
O. Y	男	2	幼児	7月1日	7月4日	4	

④里親のレスパイト

氏 名	性別	年齢	学年	委託日	解除日	日数	理 由
Y. K	女	12	中1	7月1日	7月3日	3	里親業の休息

(資料3) 入所児童現況(令和5年3月1日) 含：ひろみ

①性別

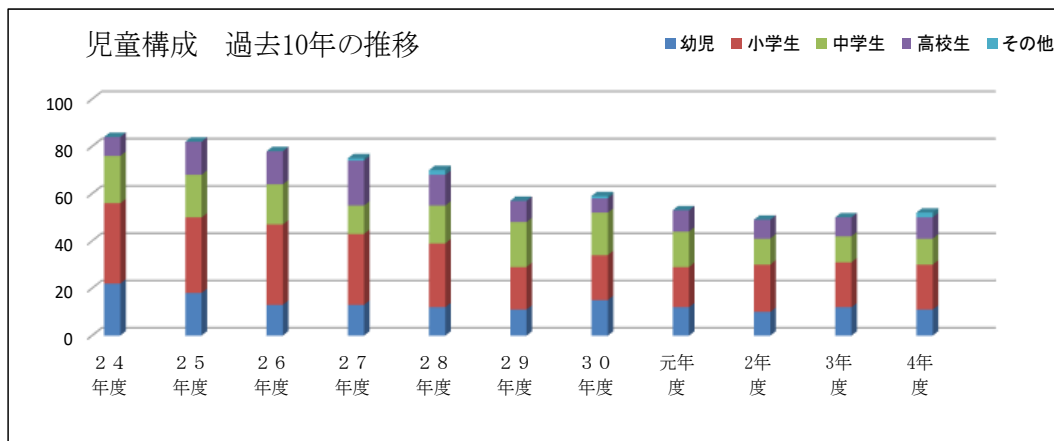
男	女	合計
28	24	52
53.8%	46.2%	100.0%

②年代別児童数

幼児	小学生	中学生	高校等	その他	計
11	19	11	9	2	52
21.2%	36.5%	21.2%	17.3%	3.8%	100.0%

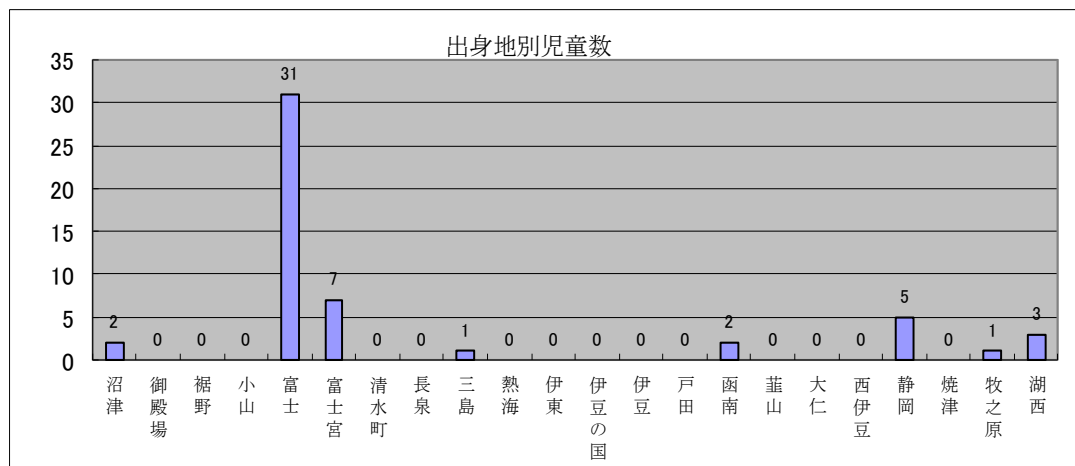
③児童構成 過去10年の推移(3月1日在籍数)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
幼児	22	18	13	13	12	11	15	12	10	12	11
小学生	34	32	34	30	27	18	19	17	20	19	19
中学生	20	18	17	12	16	19	18	15	11	11	11
高校生	8	14	14	19	13	9	6	9	8	8	9
その他	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	2
合計	84	82	78	75	70	57	59	53	49	50	52



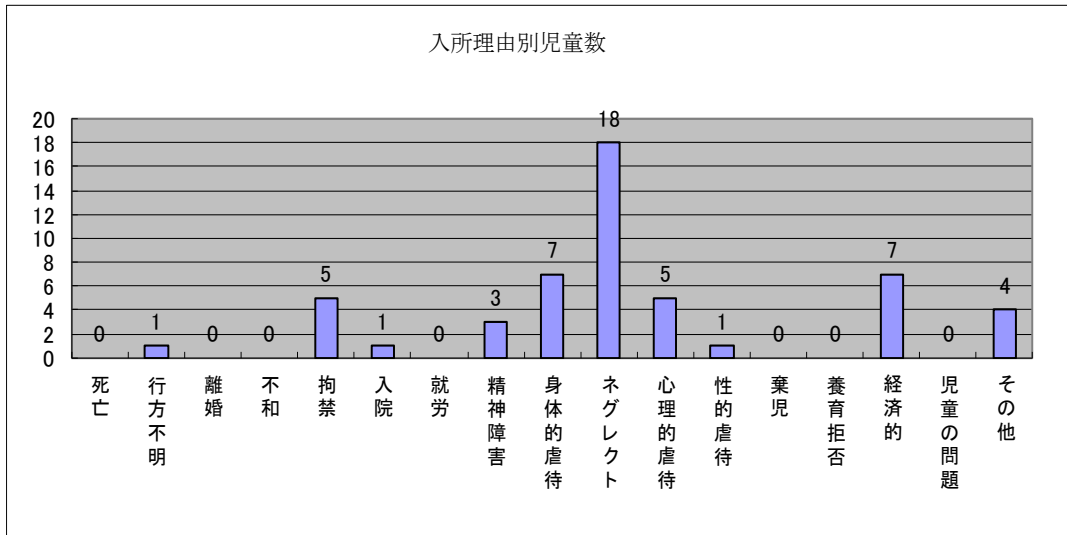
④出身地別入所数

沼津	御殿場	裾野	小山	富士	富士宮	清水町	長泉	三島	熱海	伊東	伊豆の国	伊豆	戸田	函南	韮山	大仁	西伊豆	静岡	焼津	牧之原	湖西	合計
2	0	0	0	31	7	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	1	3	52
3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	59.6%	13.5%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.6%	0.0%	1.9%	5.8%	100.0%



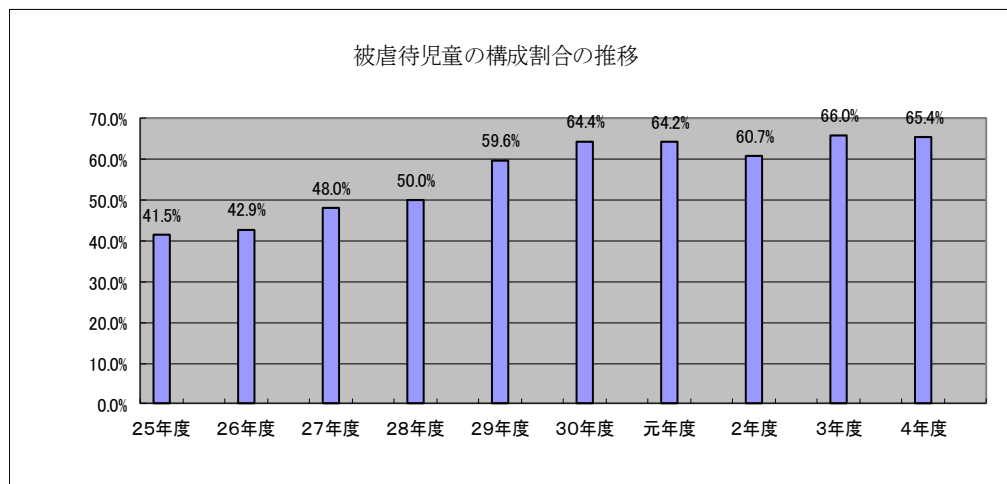
⑤入所理由別児童数(主訴)

死亡	行方不明	離婚	不和	拘禁	入院	就労	精神障害	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	棄児	養育拒否	経済的	児童の問題	その他	合計
0	1	0	0	5	1	0	3	7	18	5	1	0	0	7	0	4	52
0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	9.6%	1.9%	0.0%	5.8%	13.5%	34.6%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%	13.5%	0.0%	7.7%	100.0%



⑥入所前に虐待またはその疑いがある児童数の推移

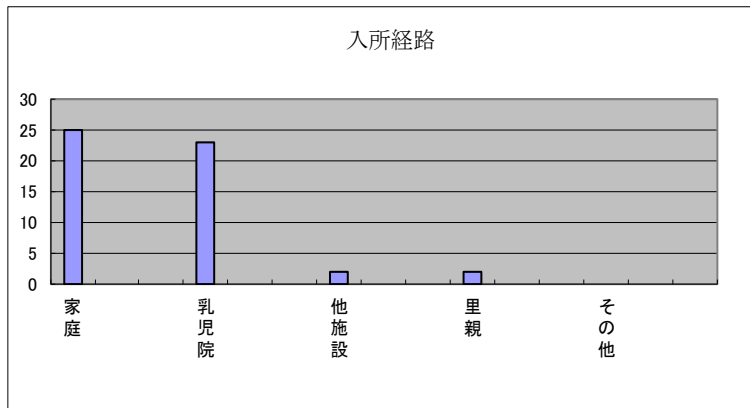
年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
被虐待児	34	33	36	35	34	38	34	34	33	34
入所数	82	77	75	70	57	59	53	56	50	52
構成割合	41.5%	42.9%	48.0%	50.0%	59.6%	64.4%	64.2%	60.7%	66.0%	65.4%



被虐待経験のある児童は全体の約6割である。

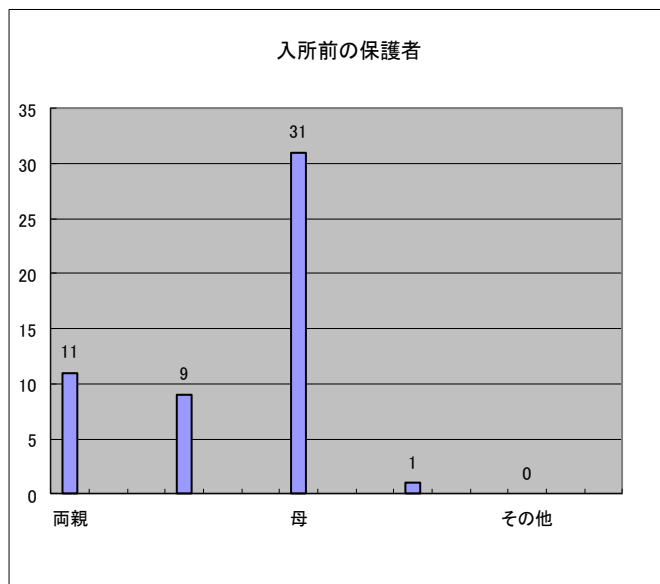
⑦入所経路

家庭	乳児院	他施設	里親	その他	合計
25	23	2	2	0	52
48.1%	44.2%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%



⑧入所前の保護者

両親	父	母	両親なし	その他	合計
11	9	31	1	0	52
21.2%	17.3%	59.6%	1.9%	0.0%	100.0%

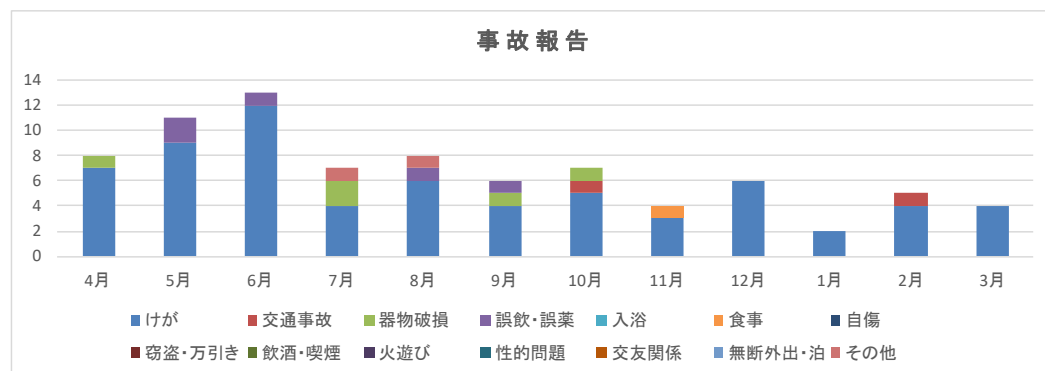


入所児童の保護者の約6割が「実母」である。
両親が揃っているにもかかわらず入所するケースも増加傾向にある。

(資料4) 事故・ヒヤリハット報告

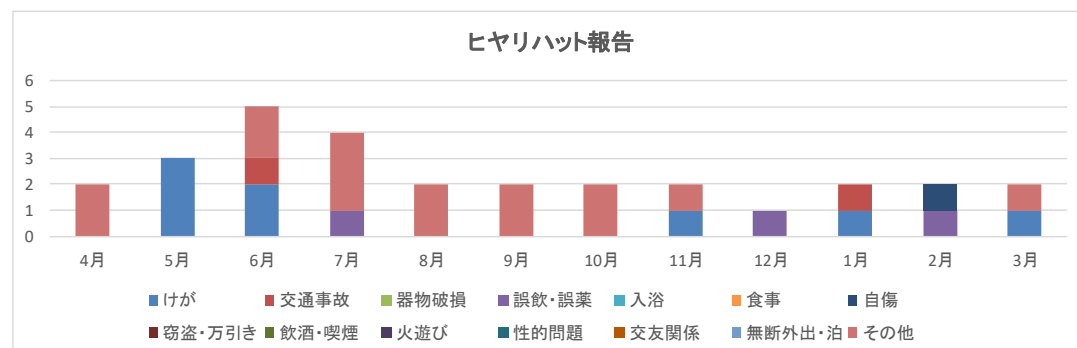
①事故報告

No	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	けが	7	9	12	4	6	4	5	3	6	2	4	4	66
2	交通事故	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
3	器物破損	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	5
4	誤飲・誤薬	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5
5	入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	食事	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
7	自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	窃盗・万引き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	飲酒・喫煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	性的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	交友関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	無断外出・泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	8	11	13	7	8	6	7	4	6	2	5	4	81



②ヒヤリハット報告

No	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	けが	0	3	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	8
2	交通事故	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
3	器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	誤飲・誤薬	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
5	入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	食事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
8	窃盗・万引き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	飲酒・喫煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	性的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	交友関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	無断外出・泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	2	0	2	3	2	2	2	1	0	0	0	1	15
	計	2	3	5	4	2	2	2	2	1	2	2	2	29



(資料5) 苦情・要望受付状況

番号	期日	申し出人	分類	内 容	処理経過
1	5月24日	保護者	要望	子どもの授業参観に参加したい。	従来は入園・卒園式、入学・卒業式、運動会には保護者の希望で参加を認めているが授業参観に関しては学校の理解、他児への配慮の点から許可していない。個別ケースの状況として家庭引取が近いことから要望に応えた。
2	6月3日	匿名	苦情	登校中の児童が通学路で転倒し手を痛めて痛がっているという連絡を頂き、職員が迎えに行ったが、連絡して下さった方への職員の態度が冷たかったとの苦情を頂いた。	職員は、その場でお礼を申し上げたとのことだが、簡単なお礼で済ませてしまったと反省。あらためてお礼の連絡をするなど事後対応への配慮が足りなかった。
3	8月1日	県庁子ども家庭課	苦情	県庁子ども家庭課より「被措置児童虐待防止ガイドライン」に沿った調査をおこなうとの連絡。	8月以降、入所児童全員からの聴き取り調査を児童相談所が実施。2月2日居室担当職員及びユニットリーダー、園長からの聴き取りを実施。3月15日に「児童虐待の事実なし」との回答を得た。



【芋掘り】



【高橋姉ありがとうの会】



【夕食風景】



【節分の豆まき】

(資料6)出張記録

施設長

①全国児童養護施設協議会

5月20日	全国児童養護施設協議会 協議員総会	オンライン
3月3日	全国児童養護施設協議会 協議員総会	灘尾ホール

②関東ブロック児童養護施設協議会

6月1日～2日	関東ブロック運営委員会との合同研修	おおとり荘
7月6日～7日	第56回関東ブロック児童養護施設研究協議会	さいたま市

③静岡県児童養護施設協議会

4月21日	5月19日	6月16日	7月15日	9月15日	10月20日
11月17日	12月15日	1月19日	2月16日	3月16日	

④東部児童福祉施設長連絡会

12月7日	3月14日				
-------	-------	--	--	--	--

⑤富士圏域社会福祉施設長連絡会

役員会	4月14日	9月6日	12月19日	2月8日	
連絡会	5月23日	7月12日	11月14日	3月10日	

⑥富士市民間社会福祉施設長連絡会

市長との懇談会	9月5日
富士市議との懇談会	10月19日

⑦第11回児童虐待防止静岡の集い実行委員会

5月19日	6月17日	7月11日	9月26日		
-------	-------	-------	-------	--	--

⑧その他

5月8日	絵画展表彰	清明寮
6月7日	静岡県児童福祉司講習(講師)	あざれあ
10月18日	県立吉原林間学園第三者委員会	吉原林間学園
10月26日	二県一市野球大会	富士球場
11月8日	自民党静岡県連への意見要望(静岡県児童養護施設協議会)	もくせい会館
11月10日	富士市要保護児童対策地域協議会	富士市役所

職員

①県養協 指導員保育士部会代表者会(手川)

4月28日	6月14日	9月22日	10月27日	1月26日	2月17日
-------	-------	-------	--------	-------	-------

②県養協 福祉研究会(田中)

4月19日	5月15日	7月19日	9月20日	10月25日	12月20日
1月17日	2月21日				

③県養協 家庭支援専門相談員部会(持田 金森)

5月26日	7月17日	9月29日	11月24日	1月12日	
-------	-------	-------	--------	-------	--

④県養協 里親支援専門相談員部会(田中美香)

5月13日	7月1日	9月2日	11月4日	2月3日	
-------	------	------	-------	------	--

⑤県養協 心理職員部会(近藤)

5月12日	9月9日	12月12日	2月10日		
-------	------	--------	-------	--	--

⑥県養協 栄養士調理員部会(秋山)

5月11日	10月19日	1月11日			
-------	--------	-------	--	--	--

⑦県養協 事務職員部会(山本)

6月28日	10月20日	1月31日			
-------	--------	-------	--	--	--

⑧その他

	令和4年度ふじ虹の会通常総会	フィランセ
7月5日	ショートルプラン調整会議	富士児童相談所
	ショートルプラン調整会議	富士児童相談所
12月7日	安全運転管理者講習	ふじさんめっせ
12月18日	パラソルスキルアップ研修(補助)	ひまわり園
1月24日	令和4年度静岡DWAT登録前養成研修	ZOOM参加
2月15日	令和5年度静岡DWAT登録前養成研修	札の辻クロスホール

(資料7) 研修記録

① 外部研修

期 日	内 容	会 場	人数
4月27日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修・中堅職員コース	シズウェル	2
5月18日	～5月19日 福祉職員キャリアパス対応生涯研修・中堅職員コース	シズウェル	2
5月22日	日本箱庭療法学会第1回オンライン研修会	ZOOM研修	1
6月1日	～6月2日 関ブロ運営委員会との合同研修	おおとり荘	1
6月3日	面接スキルトレーニング	富士児童相談所	1
6月14日	県養協・乳児協 新任職員研修	シズウェル	7
6月20日	衛生・栄養管理講習会	富士総合庁舎	1
6月21日	心理オフィスK「様々な領域における児童虐待への対応とケア	ZOOM研修	1
6月30日	児童養護施設における性教育	ZOOM研修	
7月1日	面接スキルトレーニング研修	富士児童相談所	1
7月6日	～7月7日 関ブロ研究協議会	ソニックシティ（さいたま市）	1
7月12日	社会的養護Ⅱにおける自立支援について	ZOOM研修	2
7月17日	日本箱庭学会第1回全国研修会	ZOOM研修	1
8月17日	～9月7日 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座	オンデマンド視聴	2
8月29日	社会福祉施設人事・労務管理研修会	オンデマンド視聴	1
8月31日	～9月1日 第33回家庭養育機能子育てワークショップ	ZOOM研修	1
9月6日	福祉現場における改正個人情報保護法への対応	オンデマンド視聴	1
9月16日	～9月29日 社会福祉法人決算実務講座	オンデマンド視聴	2
10月5日	関東ブロック児童養護施設職員研修	ZOOM研修	3
10月5日	施設の小規模化・家庭的養護でできること	ZOOM研修	1
10月11日	地域小規模児童養護施設の現状と課題	ZOOM研修	3
10月14日	面接スキルトレーニング研修	富士児童相談所	1
10月15日	里親月間記念講演会	YouTube配信	3
10月18日	～10月30日 社会福祉法人会計実務専門講座		2
10月23日	フォスターセッション	安藤記念ホール	1
11月1日	静岡DWAT登録員スキルアップ研修	三島市民会館	1
11月1日	～11月30日 第14回児童虐待防止静岡の集い講演会	YouTube配信	5
11月4日	面接スキルトレーニング研修	富士児童相談所	1
11月12日	障害児養育勉強会	ふじやま学園	1
11月21日	衛生講習会	富士総合庁舎	1
11月18日	～11月28日 発達特性のある子どもの自尊感情を高める性に関する指導	オンデマンド視聴	1
11月22日	～11月30日 発達特性のある子どもの自尊感情を高める性に関する指導	オンデマンド視聴	1
11月25日	発達特性のある子どもの自尊感情を高める性に関する指導	オンデマンド視聴	1
12月3日	令和4年度児童相談所性教育講演会	オンデマンド視聴	2
12月7日	安全運転管理者講習	ふじさんめっせ	1
12月8日	令和4年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	オンデマンド視聴	1
12月12日	指導員保育士部会 支援者のためのメンタルヘルス	シズウェル	4
12月13日	県養協 権利擁護研修	ZOOM研修	1
1月12日	富士児童相談所管内児童福祉施設職員研修会	富士児童相談所	1
1月19日	第12回静岡県児童権利擁護推進研修会	ZOOM研修	1
1月24日	静岡DWAT登録前養成研修	ZOOM研修	1
2月9日	令和4年度調理技術研修会	ふじさんエコトピア	1
2月11日	社会的養護Ⅱにおける「育ち」「育て」を考える研究会	国立武蔵野学院	1
2月11日	～2月12日 ファミリーソーシャルワーカー研修会	ロフォス湘南	1
2月15日	静岡DWAT登録前養成研修	札の辻クロスホール	1
2月19日	第2回日本箱庭療法学会全国研修会	ZOOM研修	1
2月20日	静岡県社会福祉研修会	ZOOM研修	6
3月12日	静岡第629回 ボーイスカウト講習会	富士教育プラザ	1
3月15日	CCAP子ども虐待防止セミナー	オンデマンド視聴	2

延べ人数 80

②園内職員研修会

期 日	研 修 内 容	担当・発題
5月24日	ひまわり園における「生活の場」とはどんなところ？	田中美・近藤
6月28日	情緒的な発達と成長 感情のコントロールと自信	中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）
9月30日	対談形式による養育の振り返り	中垣真通氏・田中美
10月24日	知能検査	富士児相 堤心理司
11月16日	県立こども病院巡回相談	県立こども病院 渥美Dr.
1月23日	中堅職員による養育に関する発表	鈴木 植之原
2月22日	新任職員による1年間の振り返り	宮里 高田 遠藤 堀 久保田 山室 森野

③園内新任職員研修

期 日	研 修 内 容	担当
4月7日	新任職員研修	種田
4月17日	新任職員研修	秋山有・田中美・近藤
9月9日	新任職員研修	金森
10月17日	新任職員研修	秋山有・田中美・近藤
11月22日	新任職員研修	田中美・近藤



【須津川 川遊び】



【富士急ハイランド】



【クリスマスパーティ】



【調理実習】



【ピアノ発表会】



【ピアノ発表会】

(資料8) ひまわりの種

①【小学生の部】

期 日	テーマ（議題）	内 容
5月7日	第1回 「メンバー確認」	5部屋から1名以上のメンバーが種会に参加。 ・各部屋から計7名のメンバー。6年生2名、5年生1名、4年生2名、3年生2名。
	「今年度話し合いたい議題」	話し合いたい議題を考える。 ・今年度話し合いたい内容を出してもらう。 ①イベント事を多くやりたい。 ②外掃除をする。（毎週日曜日 8:45 集合）
5月13日	第2回 「畑に何を植えるか」	希望の聞き取り&水やり当番決め ・栽培したい野菜の希望を出してもらう。 →ピーマン、きゅうり、ナス、じゃがいも、えだまめ、ミニトマト、いちご、 ししとう、キャベツ、スイカ、メロン、パプリカ 月：瑠伽くん 火：煌雅くん 水：梨乃さん 木：彩乃さん 金：晴空君 土：愛美さん 日：こうき君 →水やり当番
5月21日	第3回 「交通マナー・ルールを守って登下校しよう」	登下校時の様子を伝えてもらう ①種の会メンバーも意識が低い。（斜め横断や信号無視等）②通学路違反をしている
	「ベルマーク集め」	どのように集めるか ①各部屋にポスターを張る。②ベルマークを集めるための箱作り。
3月25日	第10回（最終回） 「新メンバーとの顔合わせ兼説明」	新メンバーとの顔合わせ兼説明 ・新しく小学3年女子が加入してくれた。その子への説明と来園度はどんなことをやるのかの確認目的で、種会がやっている事を説明。
	「ベルマーク点数の集計」	小学6年男子2人が最後という事もあり、新メンバーも合わせて全員で集計。 【集計結果】:1508.6点 小学4年女子が学校に持って行ってくれる事になった。

②【中高生の部】

期 日	テーマ（議題）	内 容
4月13日	役員選出 高校入学時における携帯電話所持について①	会長、副会長、各ユニット代表者を選出 高校入学時に携帯電話を持つ為の案を考えた。
5月12日	高校入学時における携帯電話所持について②	高校入学時に無条件で携帯電話を持つに当たっての問題点について。施設長からあげられた問題点について、どうすれば解決していけるのかを考えた。解決案を会長が施設長に持って行くことになる。
7月1日	高校入学時における携帯電話所持について③	園長から示された諸問題の解決案を会長が園長に上げた。その際の園長と会長の話し合いについて、会長から報告があった。園長からは新しいルールを作る必要性を指摘されたので、それを考えた。
9月14日	高校入学時における携帯電話所持について④	携帯電話所持の為の新しいルールを考えた。
10月20日	高校入学時における携帯電話所持について⑤	携帯電話料金について、機種代金込みの上限をいくらにすべきかを話し合った。
11月21日	収穫祭	中高生が開墾した畑からさつまいもが収穫できたので、それで焼き芋会を実施した。
12月24日	学習会準備	高校生になる子は、無条件で携帯電話を所持するに当たり、種の会メンバーが新しく高校生になる子に対して、種の会で携帯電話について話し合ってきた経緯や携帯電話が持つリスクについて学習会をすることになったので、その資料作りをおこなった。
3月12日	学習会	種の会現メンバーが講師となり、新しく高校生になる中学3年生の子どもたちに携帯電話についての学習会を実施した。
3月19日	来年度の役員決め	来年度に向けての体制を決めた。会長、副会長、各ユニットの代表者を決めた。
3月30日	携帯電話代の財源についての説明会	高校生の携帯電話料金を、来年度から措置費で負担することになったので、それについての説明会をおこなった。

(資料9) 児童処遇について

①性教育学習会実施状況

対 象	期 日	テーマ	目 的 ・ 内 容
幼児	7月	男女の身体の違い プライベートゾーン	男女の身体の違いを学ぶ。それぞれのプライベートゾーンを確認する。自分の身体が守るべき大切なものである事を学ぶ。
中学生男子への個別学習	9月～12月	性問題を起こした 当事者への個別 指導	自分の衝動と、今後どう向き合いコントロールしていくかを学ぶ。被害者保護のために別室対応になった当事者が日常を回復していく過程で何度も面接を繰り返す。自分の問題と向き合い、相手や相手を大切に思う人たちの気持ちを理解する。
高校生男子への個別学習	9月～12月	性問題を起こした 当事者への個別 指導	人と適切な距離を保ち、今後は人を傷つけないようにする。日常を取り戻していく過程で何度も面接をする。人を軽く扱うところを改める。相手や相手を大切に思う人たちの気持ちを理解する。
中学生女子への個別学習	9月～12月	性問題を起こした 当事者への個別 指導	自分を守る。関係性と距離の相関関係学ぶ。性的自己決定の大切さを学ぶ。自分が傷つくだけでは済まないことも伝えていく。

②セカンドステップ

グループ	対象人数	実施回数
A	6	8

③個別心理対応

氏名	年齢	実施回数
H.Y	年長	41
T.T	小1	38
R.K	小3	28
S.M	中1	39
R.I	中1	26
M.T	中1	28

④心理ケア事業

グループ	実施回数
小学校2.3年生女子3名	6



【心理ケア事業】



【心理ケア事業】



【心理ケア事業】

(資料10) 家庭支援・里親支援等の実施状況

(1) 家庭支援

①児童と保護者の連絡状況

状況	一時帰省	一時外出	面会	電話のみ	手紙のみ	連絡なし
人数	11	4	24	1	1	11
割合	21.2%	7.7%	46.2%	1.9%	1.9%	21.2%

合計
52

②面会実施状況

月	面会件数	月	面会件数
4月	4	10月	12
5月	5	11月	8
6月	8	12月	6
7月	6	1月	8
8月	7	2月	6
9月	5	3月	5

合計
80 件

③一時外泊状況

月	外泊件数	月	外泊件数
4月		10月	1
5月		11月	
6月		12月	13
7月		1月	2
8月	14	2月	
9月	1	3月	

合計
31 件

④家庭訪問件数

月	件数	月	件数
4月		10月	1
5月		11月	
6月	1	12月	
7月	1	1月	
8月		2月	2
9月		3月	

合計
5 件

(2) 里親支援

①ショートルフラン（短期里親委託事業）状況

	期間	人数	備考
夏季	8月13日～18日	1	富士
	8月10日～11日	1	富士
	8月13日～15日	2	東部
冬季	12月28日～1月3日	1	富士
	12月29日～1月3日	1	富士
	12月29日～1月3日	1	東部
	1月1日～1月3日	1	東部

②週末里親委託状況（富士：4名 東部：2名 静岡市：1名）

月	委託人数	月	委託人数
4月	5	10月	5
5月	5	11月	5
6月	3	12月	5
7月	3	1月	2
8月	1	2月	3
9月	3	3月	



【里親さんとレジン制作】

③新規ショートルランマッチング

児童	関係機関と話し合い	里親との面会	外出等
高2男児	2回	2回	1回
小5男児	2回	2回	1回

④里親施設実習

令和2年度後期分（コロナで延期分）		
実習1日目	実習2日目	人数
R3. 1. 23	R4. 6. 10	2
R4. 5. 21	R4. 6. 18	2
R3. 1. 23	R4. 6. 10	2
4月13日	4月14日	2

令和3年度前期分		
実習1日目	実習2日目	人数
R4. 7. 2	R4. 9. 18	4
R4. 7. 3	R4. 9. 18	4

④里親支援専門相談員の活動

期 日	活 動 内 容
4月	・里親施設実習受入れ(2名)
	・ショートルラン調整・実施(小4女児・高3男児)
	・パラソル話し合い
	・ふじ虹の会総会
5月	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・N里親宅訪問
	・里親施設実習受入れ(4名)
	・里親サロン
	・ショートルラン調整・実施(小4女児・高3男児・中1女児)
6月	・富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・里親施設実習受入れ(6名)
	・ショートルラン調整・実施(小4女児・高3男児・中1女児)
	・園内里親委託児童の検討
	・ショートルランマッチング
	・レスパイト
	・S里親宅訪問
7月	・里親施設実習受入れ(8名)
	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・ショートルラン調整会議
	・富士児相、パラソル、里専との話し合い
	・静岡市児相レスパイト児童話し合い
	・K里親来園、関係機関と話し合い
	・ショートルラン調整・実施(小4女児)
8月	・K里親ケース関係者会議(複数回)
	・里親サロン企画・運営
	・ショートルラン(小4女児・専門男児・高3男児・小6男児・小3男児・小4女児)
	・富士圏域里親支援専門相談員話し合い

9月	・里親支援専門相談員部会
	・S里親宅訪問
	・富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・パラソル話し合い
	・ショートルフラン(小4女兒・小6男児・小3男児・小4女兒)
	・里親施設実習受入れ(4名)
10月	・スキルアップ研修
	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・川奈啓発活動見学
	・静岡県里親月間事業
	・里親相談会
	・K里親ケース対応
	・レスパイト対応
	・ショートルフラン(小4女兒・小3男児小4女兒・高3男児・小6男児)
11月	里親支援専門相談員部会
	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・障害児教育勉強会
	・ショートルフラン懇談会
	・スキルアップ研修
	・Kきょうだい里親委託会議
	・K里親ケース対応
12月	・未委託里親と施設職員との交流
	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・K里親ケース 振り返り会議
	・EPO×ふじ虹の会
	・スキルアップ研修
	・ショートルフラン(小4女兒・小3男児小4女兒・高3男児・小6男児)
1月	・ショートルフラン懇談会・里親担当者会議
	・未委託里親と施設職員との交流(2回)
	・F里親来園/会議
	・富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・スキルアップ研修
	・ショートルフラン(小4女兒・小6男児)
2月	・O里親宅訪問
	・Kケース里親委託 関係者会議
	・F里親宅訪問
	・S里親来園
	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・ショートルフラン(小4女兒・小3男児小4女兒)
3月	・ショートルフラン調整会議
	・里親サロン
	・パラソル、富士圏域里親支援専門相談員話し合い
	・EPO×ふじ虹の会
	・F里親来園/会議
	・ショートルフラン(小4女兒・小3男児小4女兒)
	・新規ショートルフランについて児相ケース会議
その他の活動	里親委託可能ケース・ショートルフラン希望児童についての整理
	施設職員へ里親活動の報告・啓発
	資料: 子供たちの成長のお手伝い作成

(資料11) 地域社会活動

①ボーイスカウト活動(富士一団) 登録人数4名

期 日	活 動 内 容	活 動 場 所
4月28日	富士一団指導者会議	芙蓉会ひまわり園
6月26日	セーフフロムハーム研修	富士北まちづくりセンター
7月17日	ハイキング	御殿山
7月27日	ボーイスカウト総長基調講演(中止)	交流プラザ
10月30日	富士地区カブ集会	中央公園
2月19日	富士地区B-P祭	大淵第二小学校体育館

②吉原小学校子ども会活動

期 日	活 動 内 容	結 果・備 考
	新型コロナウイルス感染症まん延のため中止	

③芙蓉会フットボールクラブ(通称:F F C) 登録選手9名

期 日	活 動 内 容	結 果・備 考
10月22日	富士サッカーフェスティバル	
11月5日	U10サッカー交流戦	

④地域貢献活動(買物支援プロジェクト)



【富士地区 BP 祭】



【サッカー交流戦】



【日本平動物園】



【お昼寝中】

(資料12) 行事の実施状況

①静岡県児童養護施設協議会行事

期日	実施行事	結 果
5月7日	児童文化奨励絵画展表彰式（中止）	銀賞1 銅賞1 特別奨励賞1 佳作4
11月19日	秋季スポーツ交流会（ボーリング大会）	児童3名、職員1名参加
11月26日	オセロ大会（中止）	
1月15日	冬季スポーツ交流会（サッカー）中止	

②園内行事

	期日	実施行事	部屋名	参加児童数	引率職員数
1	4月29日	白尾山公園	かえで	8	4
2	4月30日	バーベキュー	さくら	10	4
3	5月1日	GWの思い出づくり（富士宮イオン）	けやき	9	4
4	5月3日	バーベキュー	大地	9	5
5	5月7日	バーベキュー（須津川キャンプ場）	もみの木	8	5
6	6月5日	絵画展受賞者日本平動物園	受賞者	7	3
7	6月12日	サッカー観戦	かえで	3	1
8	6月13日	富士西公園	大地	3	1
9	8月4日	川遊び	けやき	10	3
10	8月19日	マリンプール	大地	9	4
11	8月16日	川遊び	かえで	7	4
12	10月9日	映画鑑賞	もみの木	8	3
13	11月3日	越前岳登山	希望者	12	8
14	11月20日	明治安田生命Jリーグウォーキング&市営観戦	希望者	8	4
15	2月23日	富士急ハイランド	大地	9	4
16	3月4日	キッザニア	けやき	10	4
17	3月11日	カラオケ	さくら	11	4
18	3月25日	思い出を作ろう	けやき	10	3

③招待行事

	期日	実施行事	部屋名	参加児童数	引率職員数
1	10月2日	バスケットボール試合観戦（ベルテックス静岡）	大地	5	1
2	10月22日	バスケットボール試合観戦（ベルテックス静岡）	けやき	5	1
3	11月20日	東京ディズニーシー招待（株式会社Nattoku）	けやき	9	6
4	12月4日	東京ディズニーシー招待（株式会社Nattoku）	大地	9	5
5	12月4日	東京ディズニーシー招待（株式会社Nattoku）	ひろみ	4	2
6	12月27日	東京ディズニーシー招待（株式会社Nattoku）	もみの木	8	5
7	2月12日	東京ディズニーシー招待（株式会社Nattoku）	さくら	10	5
8	2月26日	東京ディズニーシー招待（株式会社Nattoku）	かえで	9	4



【越前岳】



【富士急ハイランド】



【さわやかで食事】

(資料13) 幼稚園・学校・地域との連携

①学校等との連携

期 日	関 係 機 関	内 容
4月27日	吉原第一中学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
4月28日	吉原小学校との連絡会	施設概要説明と個別面談
11月2日	吉原第一中学校との連絡会②	情報交換と個別面談

②園への招待行事

期 日	内 容
8月20日	芙蓉会夏祭り 理事、評議員、ボランティア等を招待 中止
12月25日	ひまわり園クリスマス会 招待は中止（新型コロナウイルス感染症の影響）

③地域防災訓練への参加

9月1日	地域防災訓練（園内にて実施）
------	----------------

④地域交流

7月9日	天王祭（グラウンド開放、御神輿で町内練り歩き）中止
------	---------------------------

⑤ボランティア協力

- ・学習ボランティア 赤渕成彦様
- ・散髪 サントゴエイト様・Bela Hair Design様
- ・サッカー 小西徳三様
- ・ピアノ 中村由実子様
- ・慰問 ADEKA労組様、フロンティアジャパン様
- ・クリスマスプレゼント
山田様、富士中央ライオンズクラブ様、ワールドメイト様
- ・バレンタイン 山清倉庫様
- ・自立支援金 ABC基金様 富士豪傑フォーラム様 富士中央ライオンズクラブ様
- ・その他、寄付金や寄付物品などを多くの皆様よりいただきました（詳細はHP参照）

⑥施設開放

期 日	団 体	内 容	施設
4月18日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
5月23日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
6月13日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
7月18日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
8月22日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
9月14日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
10月10日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
11月14日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
12月12日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	学習室
1月16日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	食堂
2月13日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	食堂
3月13日	サッカー協会4種委員会	指導者会議	食堂

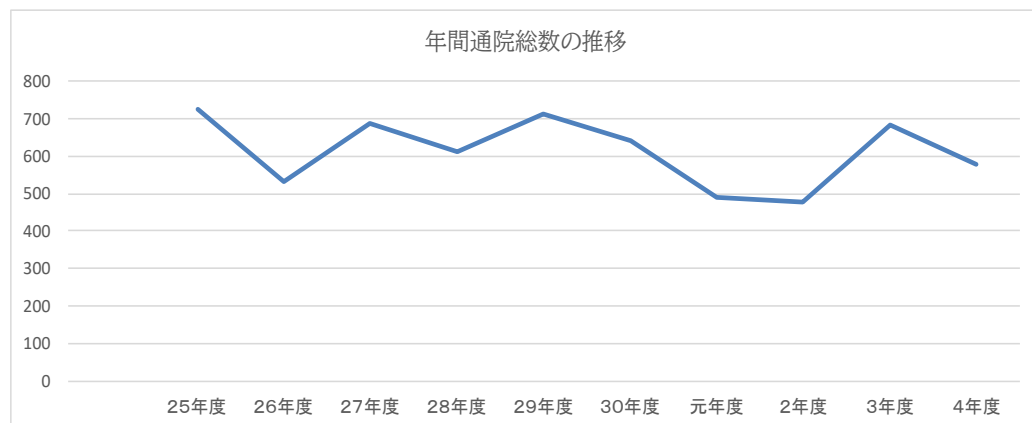
(資料14)児童の健康管理

①令和3年度 受診集計

No	診療科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	小児科	17	18	13	26	22	25	20	25	30	16	17	15	244
2	内科	1	0	0	6	0	0	1	0	0	2	0	0	10
3	外科	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
4	整形外科	0	3	0	1	0	0	2	8	4	1	2	1	22
5	歯科	8	9	10	0	5	4	6	2	2	2	1	6	55
6	耳鼻咽喉科	4	2	1	1	3	1	6	5	7	6	10	14	60
7	精神科	9	6	6	5	6	6	5	5	6	2	4	3	63
8	眼科	1	1	9	1	4	1	4	1	0	3	1	1	27
9	泌尿器科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10	婦人科	0	0	0	1	2	0	3	1	1	0	0	1	9
11	皮膚科	4	5	6	6	4	4	2	3	2	1	1	0	38
12	心療内科	0	3	2	3	4	1	1	1	2	1	1	0	19
13	その他	4	0	3	4	6	1	1	2	2	2	1	2	28
	計	49	48	51	54	56	44	51	54	56	36	38	43	580

②年間通院件数の推移

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
件 数	724	534	686	611	712	643	490	476	683	580



③健康診断

10月12日	33人
10月26日	16人

④ひまわり幼稚園

健康診断	2人
歯科検診	2人

⑤予防接種記録

No	予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	四種混合Ⅰ期初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	四種混合Ⅰ期追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	三種混合Ⅰ期初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	三種混合Ⅰ期追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	二種混合Ⅱ期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	生ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	不活化ポリオ初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	不活化ポリオ追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	麻しん風しん	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
10	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	風しん	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	BCG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日本脳炎Ⅰ期初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	日本脳炎Ⅰ期追加	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
15	日本脳炎Ⅱ期	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	6
16	肺炎球菌初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	肺炎球菌追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	ヒブ初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	ヒブ追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	子宮頸がん	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	0	1	8
21	B型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	ロタウイルス(1価)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	ロタウイルス(5価)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	おたふくかぜ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
27	新型インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	13
28	新型コロナウイルス	2	0	0	4	9	2	0	0	2	5	1	0	25
	計	3	1	1	4	10	3	18	0	9	5	1	5	60

(資料15) 令和四年度 行事食の献立

① 季節ごとの行事食

月日	行事名	献立
4月3日(日)	お花見	おにぎり・鶏の唐揚げ・厚焼き玉子・アメリカンドック・サニーレタス・ミニトマト・フルーツカップ
5月5日(水)	こどもの日	お赤飯・イタリア風ロースカツ・サニーレタス・大根とハムのサラダ・カルピススムース・そうめん汁
6月10日(金)	芙蓉会創立記念日	お赤飯・鶏の唐揚げ・サニーレタス・ポテトサラダ・カルピススムース・すまし汁
7月7日(木)	七夕	七夕そうめん・鶏の唐揚げ・レタス・千切り野菜の塩昆布和え・七夕ゼリー
9月10日(土)	十五夜	ご飯・焼き栗コロッケ・キャベツ・ひじきのデリ風サラダ・お月見ポンチ・とろろ昆布汁
9月23日(金)	秋分の日	おやつ:おはぎ
10月31日(月)	ハロウィン	おやつ:お菓子詰め合わせ
11月28日(月)	七五三	お赤飯・クリームコロッケ・キャベツ・小エビのカクテルサラダ・うさぎりんご・すまし汁
12月25日(日)	クリスマス	寿司・洋風オードブル・サンドイッチ・フルーツ盛り合わせ・クリスマスプリン・ジュース
1月1日(日)	おせち料理	ご飯・八幡巻き・日の出えび・吹き寄せ煮・昆布巻き・栗きんとん・かずのこ 伊達巻・紅白かまぼこ・紅白なます・黒豆・田作り・いちご
2月3日(金)	節分	恵方巻・鶏肉のレモンニンニク焼き・サニーレタス・ヨーグルト・つみれ汁
3月3日(水)	ひなまつり	ひなちらし寿司・鶏肉のチューリップ揚げ・サニーレタス・ミニトマト・ゆかり和え・いちごミルク・すまし汁
3月20日(土)	卒業・旅たちを祝う会	寿司・サンドイッチ・オードブル・フルーツカップ・ジュース・ミニケーキアラカルト



【 お花見弁当 】



【 おせち料理 】



【 卒業旅たちを祝う会 】



【 ひなまつり 】

②誕生会献立

月日	献立
4月23日(土)	寿司・やきとり・ミニアメリカンドック・チップスサラダ・プリン
5月28日(土)	ピザ・シャカシャカポテト・ミニアメリカンドック・ミモザサラダ・フルーチェ
6月25日(土)	バターロール・マカロニグラタン・チップスサラダ・フルーツカップ・ハムと野菜のスープ
7月23日(土)	焼きカレードリア・ミニアメリカンドック・グリーンサラダ・ピーチフロマージュ・しめじとハムのスープ
8月27日(土)	ピザ・やきとり・シャカシャカポテト・グリーンサラダ・巨峰
9月24日(土)	カラフルピラフ・エビフライ・付け合わせサラダ・スパゲティナポリタン・巨峰・スープ
10月22日(土)	サラダ巻き・エビフライ・キャベツ・ポテトサラダ・フルーチェ・かき玉汁
11月26日(土)	オムライス・鶏肉のチュリップ揚げ・グリーンサラダ・ピーチフロマージュ・かぶとベーコンのスープ
12月3日(土)	えびピラフ・煮込みハンバーグ・彩サラダ・白玉フルーツポンチ
1月22日(土)	カラフルピラフ・ポットパイ・ミモザサラダ・カルピスマース
2月26日(土)	ピザ・ミニアメリカンドック・シャカシャカポテト・グリーンサラダ・メントスフルーツポンチ
3月26日(土)	パンングラタン・ミモザサラダ・シャカシャカポテト・カラフルフルーツゼリー・白菜とコーンのスープ



【 5月誕生会 】



【 6月誕生会 】



【 7月誕生会 】



【 1月誕生会 】

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
4月6日	15	女	ピーチフロマージュ	ご飯・魚のアーモンドフライ・サニーレタス・イタリアンサラダ・ピーチフロマージュ・ほうれん草のスープ
	12	男	コロロ	おやつ→コロロ
4月12日	4	女	ハンバーグ	ご飯・ハンバーグ・ブロッコリー・人参・キャベツのマリネ・グレープフルーツ・豆乳コンスープ
4月15日	7	男	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
4月21日	4	男	バナナアイス	おやつ→バナナアイス
4月18日	18	男	メロンパン	メロンパン・バターロール・ジャーマンポテト・みかん缶・牛乳
5月9日	13	女	鉄火丼	鉄火丼・厚揚げとレタスの煮びたし・小松菜とじゃこのゆかり和え・オレンジ・すまし汁
5月29日	16	男	ソフトクリームアイス	おやつ→ソフトクリームアイス
6月1日	13	女	チョコモナカジャンボ	おやつ→チョコモナカジャンボ
6月11日	18	男	とろろ温玉うどん	とろろ温玉うどん・手作りコロッケ・キャベツ・パイナップル
6月22日	12	男	天ぷらうどん	天ぷらうどん・里芋のそぼろ煮・もやしのお浸し・メロン
6月24日	13	男	鉄火丼	鉄火丼・厚揚げと青菜の卵とじ・浅漬け・パイナップル・そうめん汁
7月7日	14	男	鶏の唐揚げ	七タそうめん・鶏の唐揚げ・レタス・千切り野菜の塩昆布和え・七タゼリー
7月22日	16	男	タコライス	タコライス・マセドアンサラダ・メロン・ジョア
7月29日	9	女	すいかアイス	おやつ→すいかアイス
7月31日	9	男	しょうゆラーメン	しょうゆラーメン・にら饅頭・サラダ菜・すいか
8月16日	8	男	ガリガリ君	おやつ→ガリガリ君
8月17日	11	女	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
9月13日	18	女	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
10月8日	7	男	メロンパン	メロンパン・バターロール・豚肉とほうれん草のコーンバター炒め・チーズ・牛乳
10月11日	17	男	味噌カツ	ご飯・味噌カツ・キャベツ・いかと胡瓜の酢の物・オレンジ・とろろ昆布汁
10月25日	10	女	ピーマンの肉詰め	ご飯・ピーマンの肉詰め・サニーレタス・チップスサラダ・オレンジ・味噌汁
10月28日	6	女	みかんムース	カレーうどん・水菜と春雨のサラダ・みかんムース
11月2日	6	女	たらこ入りスバゲティータン	たらこ入りスバゲティータン・彩サラダ・りんご・具だくさんスープ
11月25日	9	女	味噌ラーメン	味噌ラーメン・にら饅頭・サラダ菜・パイナップル
12月25日	15	女	チーズタッカルビ	ご飯・チーズタッカルビ・ナムル・杏仁豆腐・卵とわかめのとろみスープ
12月28日	10	女	なすとトマトのミートソースドリア	なすとトマトのミートソースドリア・彩サラダ・りんご・かぶとしめじのスープ
1月11日	9	男	ピザまん	おやつ→ピザまん
1月16日	15	女	生クリーム大福	おやつ→生クリーム大福
1月19日	7	男	キャラメル	おやつ→キャラメル
2月1日	13	男	豚キムチチャーハン	豚キムチチャーハン・大学芋・青菜のなめたけ和え・りんご・ワンタンスープ
2月3日	14	男	抹茶アイス	おやつ→スーパーカップ(抹茶)
2月5日	9	男	ハンバーガー	ハンバーガー・フライドポテト・コーンサラダ・アップルティー
	7	男	牛丼	牛丼・ひじきのデリ風サラダ・いちご・味噌汁
2月17日	6	男	焼きそば	焼きそば・星のコロッケ・キャベツ・りんごコンポートアイス添え・わかめスープ
3月17日	6	男	チョコパン	チョココルネ・バターロール・目玉焼き・レタス・ジュリアンスープ

3月19日	8	女	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス
月 日	年齢	性別	リクエスト	献立
3月23日	5	男	チョコアイス	おやつ→スーパーカップ(チョコ)
3月24日	9	男	豚キムチチャーハン	豚キムチチャーハン・シュウマイ・サラダ菜・いちごミルク・トマトとえのきのさっぱりスープ
3月28日	15	男	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス



【 小3男子リクエスト:醤油ラーメン 】



【 小3男子リクエスト:ピザまん 】



【 中1女子リクエスト:鉄火丼 】



【 高1男子リクエスト:ソフトクリームアイス 】



【 幼児男子リクエスト:焼きそば 】



【 小3男子リクエスト:ハンバーガー 】

④調理実習献立

月日	献立
4月24日(日)	・ペッパーランチ ・シーザーサラダ ・フルーチェ
大地	
5月15日(日)	・サンドイッチ ・コーンサラダ ・野菜ジュース
もみの木	
6月26日(日)	・焼きおにぎり ・キャベツの塩昆布和え ・ゼリー ・豚汁
かえで	
7月17日(日)	・チャーハン ・スパゲティーサラダ ・クリームソーダ
さくら	
8月13日(土)～15日(月)	規制期間中の為、各部屋で調理実習
各部屋	
9月18日(日)	・カレー ・サラダ
けやき	
10月16日(日)	・鍋(各部屋希望) ・バニラアイス
大地	
11月20日(日)	・ホットドッグ ・ジュース
もみの木	
12月31日(土)～1月2日(月)	規制期間中の為、各部屋で調理実習
各部屋	
2月12日(日)	バレンタインチョコ作り
各部屋	
3月8日(日)	・ごはん ・チーズハンバーグ ・オニオンチップサラダ ・タピオカミルクティー
かえで	



【 11月調理実習 】



【 7月調理実習 】

(資料16) 防災訓練実施報告

月 日	訓 練 内 容	参加児童数	参加職員数
4月16日	火災発生想定避難訓練	40	8
5月28日	地震発生想定避難訓練	36	8
6月12日	土砂災害対策避難訓練	38	8
7月10日	地震発生想定避難訓練	37	6
8月3日	火災発生想定避難訓練（夜間訓練）	47	11
9月1日	富士市総合防災訓練→地震発生想定避難訓練	4	7
10月10日	火災発生想定避難訓練	30	7
11月6日	施設防災訓練（地震）	41	8
12月11日	火災発生想定避難訓練（地域防災訓練は中止）	43	8
1月22日	火災発生想定避難訓練	38	6
2月5日	火災発生想定避難訓練	44	11
3月25日	地震発生想定避難訓練	45	8



【テント設営訓練】



【避難訓練】

(資料17) 実習生受入状況

①保育士実習

	期 間	養 成 校	人数
1	4月25日 ～ 5月8日	静岡産業技術専門学校	10
2	4月25日 ～ 5月8日	静岡産業技術専門学校	10
3	4月25日 ～ 5月8日	静岡産業技術専門学校	10
4	5月9日 ～ 5月19日	聖隷クリストファー大学	10
5	5月23日 ～ 6月4日	静岡県立大学短期大学部	12
6	5月25日 ～ 6月4日	常葉大学	10
7	5月25日 ～ 6月4日	常葉大学	10
8	6月20日 ～ 6月30日	横浜こども専門学校	10
9	6月20日 ～ 6月30日	横浜こども専門学校	10
10	7月4日 ～ 7月16日	浜松学院短期大学部	12
11	7月4日 ～ 7月16日	浜松学院短期大学部	12
12	8月1日 ～ 8月12日	鶴見大学短期大学部	11
13	8月6日 ～ 8月16日	常葉大学	10
14	8月6日 ～ 8月16日	常葉大学	10
15	8月6日 ～ 8月16日	常葉大学	10
16	8月17日 ～ 8月27日	小田原短期大学	11
17	8月17日 ～ 8月27日	小田原短期大学	11
18	8月21日 ～ 8月31日	常葉短期大学	10
19	8月21日 ～ 8月31日	常葉短期大学	10
20	8月21日 ～ 8月31日	常葉短期大学	10
21	8月29日 ～ 9月10日	白梅学園大学	12
22	8月29日 ～ 9月10日	白梅学園大学	12
23	9月5日 ～ 9月17日	浜松学院短期大学部	12
24	9月5日 ～ 9月17日	浜松学院短期大学部	12
25	9月20日 ～ 9月30日	常葉短期大学	10
26	9月20日 ～ 9月30日	常葉短期大学	10
27	9月20日 ～ 9月30日	常葉短期大学	10
28	10月3日 ～ 10月14日	鎌倉女子短大	11
29	10月3日 ～ 10月13日	常葉大学浜松キャンパス	11
30	10月3日 ～ 10月13日	常葉大学浜松キャンパス	11
31	10月11日 ～ 10月25日	沼津情報ビジネス専門学校	10
32	10月11日 ～ 10月25日	沼津情報ビジネス専門学校	10
33	10月24日 ～ 11月3日	横浜こども専門学校	10
34	10月24日 ～ 11月3日	横浜こども専門学校	10
35	11月14日 ～ 11月24日	常葉短期大学	10
36	11月14日 ～ 11月24日	常葉短期大学	10
37	11月14日 ～ 11月25日	鎌倉女子短大	11

延べ日数 391

(資料18) 設備保守・安全点検

点検項目	業者名	点検年月日		備考
電気設備	関東電気保安協会	5月16日		年6回
		7月6日		
		9月6日		
		11月21日		
		1月20日		
		3月10日		
消防設備	サンコー防災（消防設備）	5月6日		年2回
		10月31日・11月16日		
	富士消防用品商会(消火器)	5月26日		年2回
		11月16日		
消防立ち入り検査	富士市消防本部	9月16日		年1回
厨房リフト	(株) 一厨 法定点検	3月4日		年1回
	(株) 一厨	4月4日	10月3日	月1回
		5月16日	11月9日	
		6月9日	12月7日	
		7月15日	1月17日	
		8月22日	2月13日	
		9月6日	3月3日	
建築設備		大規模修繕のため 令和5年度8月までに実施		年1回
特殊建物等定期検査				2年に1回
児童遊具点検	(株) 友愛スポーツ	－		2年に1回
害虫駆除（厨房）	(株) 大富士ダズシンターミック	5月13日		年2回
		11月29日		
害虫駆除（居室）		7月4日	12月7日	年1回
害虫駆除（もみの木）		7月4日	12月7日	
害虫駆除（ひまわり幼稚園）		7月4日	12月7日	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	11月15日		年1回
貯水槽清掃	(株) 富士クリーンサービス	3月18日		年1回

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

令和４年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日：令和４年４月１日）、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

令和４年度は、小学生１名、中学生１名、高校生２名、専門学校生１名の５名でスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。

また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、法人や本体施設の感染防止対策に沿って、助言や指示を頂きながら、感染予防に努めました。年度内で子ども１名、職員２名が感染しましたが、感染が施設内で拡大するに至りませんでした。

昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域の行事や活動はほとんど出来ませんでした。職員子ども共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切に、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。



重要事項報告

居室担当職員として新任職員を２名がひろみに配属され、ひろみとして初めて４人体制での運営になりましたが、地域小規模施設の特性上、未だ単独で勤務する時間は多くある状態です。こういった勤務体制で児童を養育していくのが良いのか、未だ定まっておらず、事業を進めながら、より良い養育環境、勤務体制を整えている状況です。

年度末に児童２名が退所する予定であった為、本園から２名の児童（姉妹）を移行する候補に定め、話を進めましたが、本人たちの意向もあり、移行するには至りませんでした。その後、違う児童が１名、ひろみに移行することになりました。



現在の社会的養護において、児童の意見を尊重することが最重要となっており、本園からひろみへの移行となると、転校や担当職員が変わるなどの問題があり、移行には困難が生じます。これらの問題に対しては、縦割りのユニットでの養育、担当制を重視している当園においては、容易に解決出来る問題ではなく、施設の移転等を含め、園全体で対応策の検討が必要です。

基本目標1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心・安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料2. 6）

日常生活において、個々が意見を言いやすい環境や雰囲気を作ること意識して支援しました。

子どもへの支援では児童相談所や学校と連携することに努めました。担当の児童福祉司、心理司に定期的な面接をお願いし、全員の児童が定期的に参加出来ていました。学校生活において課題がある子どもに対しては、定期的に学校で関係者会議を実施し、情報共有に努めました。

外部研修への参加は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、リモート研修が多かったです。リモート研修ですと参加しやすいこともあり、例年に比べ、多くの研修に参加することが出来ました。

基本目標2

生活を営む主役は子どもであり、日常生活において主体的に考え、取り組むことができるように支援します。（資料3. 4）

「キンモクセイの会」（児童会）の充実を図り、個々の意思を尊重すると共に、自らの意見や行動でひろみの生活を改善、向上することを促しました。行事については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、子どもが希望する行事は満足に実施出来ませんでした。また子ども達には一般的な生活における経済観念を養う為に、毎月の電気、水道、ガスなどの料金の掲示を行い、予算を意識して実施出来るように支援してきました。

基本目標3

子どもが、地域を含めてひろみを「故郷」と思えるような施設を目指します。職員、子ども共に地域との関わりを深め、地域住民と良好な関係が築けるように配慮します。また地域小規模児童養護施設が地域において理解されるよう努めていきます。（資料5）

日常生活の中で近隣住民との関わりを大切に、良好な関係をもてるよう努めました。小学生は子ども会に入会し、近隣住民との交流を深め、職員が子ども会の運営に携わりました。例年実施している地域の行事や活動などは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響でほとんど中止になりました。そういった非常時においても、日常の中での交流を大切に、地域で支え合う意識を持つよう努めました。そういった日常の関りの中で、地域において施設や子どもへの理解が広がっていることを実感することが多くありました。



【子ども会行事に参加】

基本目標4

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

専門学校に進学した児童については、静岡市にある学生寮に入寮し、措置を延長して支援してきました。入寮後すぐに、本人の問題により退寮することになり、本園のステップルームに生活に移しました。自立支援担当職員と連携し、支援してきましたが、自主退学するに至りました。その後、社会的養護自立支援事業の支援を受けて就職活動をしました。本人のやる気の問題もありましたが、しっかりとした指導や支援が出来ず、内定をもらうのに、時間を要しました。

自立後、生活が落ち着かない卒園生がおり、対応する機会が多くありました。そういった卒園生に対しては、社会的養護自立支援事業が県から委託されている児童家庭支援センターパラソルと連携してアフターケアを行っておりますが、問題が深刻化してから対応になってしまい、予防的な支援が出来ていないのが大きな課題であります。

基本目標5

家族再統合のための保護者との関係強化および児童相談所、学校、施設など社会的養護の連携に努めます。（資料6）

面会や外泊が実施出来るケースにつきましては、定期的の実施できるよう支援しました。家族再統合が見込めるケースがありましたので、児童相談所と連携して家庭支援を行い、年度末に家庭引き取りに至りました。

児童相談所との連携が不十分で、進展していないケースもありますので、そういったケースにつきましては家庭支援の見直しが必要です。

基本目標6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。（資料7，8）

子どもの健康に配慮し年1回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。新型コロナウイルスワクチンにつきましても、保護者の同意を得て、全児童に接種しました。

防災訓練を月1回実施し、児童ならびに職員の防災意識の向上に努めました。また非常時に必用な物品を確認し、不足している物を揃えました。

ひろみ職員が地域の防災倉庫の定期点検、整理に携わらせて頂き、近隣住民と災害時の地域の連携について話をしています。近隣住民は高齢の方が多いので、ひろみ職員を頼りにしている現状があります。地域の中にある福祉施設が、地域防災や福祉にどう関わっていくのか職員で考えています。

基本目標7

実習生の受入を検討して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。（資料9）

長期休みに保育実習生を2名、受け入れました。実習が終わってからも、ひろみに関わって下さる方がおります。

地域小規模児童養護施設 ひろみ 添 付 資 料

資料 1 月別児童在所状況

資料 2 研修報告

資料 3 児童会「キンモクセイの会」の実施状況

資料 4 行事報告

資料 5 地域活動の状況について

資料 6 家庭支援、児童相談所、学校との連携、心理的対応等について

資料 7 児童の健康管理

資料 8 防災訓練報告

資料 9 実習生受入状況

資料 10 事故・ヒヤリハット報告

資料 11 苦情要望報告

資料1 入退所状況

① 令和4年度 月別児童在所状況 (初日在籍)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5

②理由別入退所児童一覧

入 所 児 童				
氏 名	性別	学年	入所日	入 所 理 由
O. K	女	中1	4月1日	親の精神疾患
退 所 児 童				
氏 名	性別	学年	退所日	退 所 理 由
K. A	女	専1 (中退)	3月31日	就職自立
K. A	女	小4	3月23日	家庭引き取り (措置変更:親族里親)

資料2 外部研修報告

年月日	主催者	研修内容	参加 人数
6月14日	静岡県児童養護施設協議会 静岡県乳児院協議会	令和4年度新任職員研修	3
7月12日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	7月定例研修会 「社会的養護における自立支援について」 ※オンライン開催	1
10月5日	関東ブロック児童養護施設協議会 (福) 東京都社会福祉協議会児童部会	関東ブロック児童養護施設職員研修会 ※オンライン開催	1
10月5日	NPO 法人チャイボラ	社会的養護施設職員向け研修会 「施設の小規模化・家庭的養護で出来ること これからの個別ケアについて考える」 ※オンライン開催	1
10月11日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	10月定例研修会 地域小規模児童養護施設の現状と課題 ※オンライン開催	2
10月15日	静岡県社会福祉協議会 静岡県里親連合会	里親月間記念講演会『里親の魅力』 ※オンライン開催	2

11月1日～ 11月30日	児童虐待防止静岡の集い実行委員会	第14回児童虐待防止 静岡の集い 「あの夜、君が泣いたわけ～自閉症の子とともに生きて～」 ※オンライン開催	1
11月21日	静岡県給食協会富士支部	令和4年度 衛生講習会 ノロウイルス対策と衛生管理	1
11月22日 ～11月30日	静岡県中央児童相談所	令和4年度児童相談所性教育講演会 「発達特性のある子どもの自尊心を高める性に関する指導」 ※オンライン開催	2
12月12日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	12月定例研修会※中堅職員研修 支援者のためのメンタルヘルス	2
2月15日～ 3月15日	(福) 子どもの虐待防止センター事務局	日常の支援に活かすアタッチメント理論 ※動画視聴型研修	1
3月6日～ 3月15日	(福) 全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会	R4年度全国児童養護施設中堅職員研修会 ※動画視聴型研修	1

資料3 児童会「キンモクセイの会」の実施状況

日 付	主 な 内 容
4月30日	生活の振り返り
6月7日	生活の振り返り
6月26日	生活の振り返り 夏休みの行事、調理実習について
7月25日	生活の振り返り
8月28日	生活の振り返り 夏休みの振り返り
9月24日	生活の振り返り
10月22日	生活の振り返り 外出ノートの活用について
11月26日	生活の振り返り カイロの使い方、大掃除、アドベント礼拝について
1月28日	生活の振り返り 今年の目標、電気代節約のためにできることについて
2月25日	生活の振り返り 職員歓送迎会時のDVD レンタルについて
3月25日	生活の振り返り 夕食後の片付け、GWの行事について

資料4 行事報告

①静岡県児童養護施設協議会行事

年 月 日	行 事 内 容	参加児童数	引率職員数
11 月 19 日	夏季球技大会（ボーリング大会）	1	1

②施設内行事

年 月 日	行 事 内 容	参加児童数	引率職員数
5 月 7 日	映画鑑賞	1	1
5 月 21 日	奇石博物館	1	1
6 月 26 日	プラネタリウム鑑賞	1	1
8 月 3 日	映画鑑賞	1	1
8 月 3 日	ボーリング、バッティングセンター	1	1
8 月 4 日	招待行事 バレエ鑑賞	4	1
11 月 3 日	登山ハイキング ※本園行事	2	2
11 月 20 日	招待行事 バスケットボール鑑賞	2	1
12 月 4 日	招待行事 ディズニーシー ※本園行事	4	2
1 月 4 日	外食	4	4
2 月 1 日	外食	4	3
3 月 19 日	卒業旅立ちを祝う会 ※本園行事	4	3

資料5 地域活動への参加状況について

日 付	内 容	参加児童数	職 員 数
4 月 11 日	集団登校引率（子ども会）	1	1
5 月 29 日	じゃがいも掘り（子ども会）	1	1
6 月 12 日	あおばあらんど参加	1	1
10 月 29 日	さつまいも掘り（子ども会）	1	1
11 月 19 日	子ども会及び PTA 役員選出		1
11 月 23 日	クリスマスプレゼント買い出し（子ども会）		1
11 月 26 日	こどもの国にてモデル子ども会参加	1	1
12 月 5 日	子ども会クリスマスプレゼント受け取り	1	1
12 月 4 日	地域防災訓練 安否確認	4	1
12 月 11 日	クリスマスプレゼント配布（子ども会）		1

2月17日	歓送迎会プレゼントラッピング（子ども会）		1
3月5日	歓送迎会、新1年生顔合わせ（子ども会）		1
3月18日	茶ノ木平町3組 会合		1

資料6 家庭支援、児童相談所、学校との連携、心理的対応等について

日 付	対象児童	内 容
4月14日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
5月6日	中1女子K	吉原二中にてアレルギー面談
5月13日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司と面接
5月16日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
5月18日	高1女子M	実父と面会 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
5月24日	中1女子K	二中にて関係者会議 富士児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
6月2日	高1女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
6月8日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司と面接
6月15日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
6月15日	専1女子A	富士児相 担当児童福祉司と面接
6月17日	中1女子K	実父と面会 富士児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
7月7日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司と面接
7月13日	高1女子M	ケース会議 富士児相 担当児童福祉司同席
7月13日	専1女子A	富士児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
7月20日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
8月4日	高1女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
8月12日	高1女子M	実父と外出 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
8月19日	中1女子K	二中にて関係者会議 富士児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席 その後、面接
8月24日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司と面接
8月25日	高1女子M	実母、兄と面会 富士児相 担当児童福祉司同席
9月14日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
9月21日	小4女子A	東部児相 担当児童心理司と面接
9月28日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
10月3日	高1女子M	静岡市児相 担当児童福祉司と面接
10月24日	高1女子M	富士児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接

10月28日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
10月31日	小4女子A	東部児相 担当児童心理司と面接
11月7日	中1女子K	二中にて関係者会議 富士児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
11月28日	高1女子M	実父と面会 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
11月28日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
12月6日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司と面接
12月15日	専1女子A	支援会議 富士児相 班長、担当児童福祉司、担当児童心理司 パラソル 東海道シグマ 同席
12月15日	中1女子K	実父と面会 富士児相 担当児童福祉司同席
12月26日	高1女子M	実父と外出 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
12月28日	高1女子M	実母、兄と面会 富士児相 担当児童福祉司同席
1月13日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
1月13日	高1女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
1月19日	小4女子A	修善寺小学校へケース説明 東部児相 担当児童福祉司参加
1月24日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司と面接
2月6日	専1女子A	ケース会議 富士児相 班長、担当児童福祉司 東海道シグマ同席
2月14日	中1女子K	二中にて関係者会議 富士児相 担当児童福祉司同席
2月17日	小4女子A	実母へ引き取りの説明 東部児相 担当児童福祉司同席
2月22日	小4女子A	東部児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
2月24日	高1女子M	実父と面会 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
3月9日	中1女子K	富士児相 担当児童福祉司と面接
3月16日	高1女子M	実父遺体と面会 静岡市児相 担当児童心理司同席
3月20日	中1女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
3月20日	高1女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
3月23日	小4女子A	退所 担当児童福祉司、担当児童心理司同席

資料7 児童の健康管理

① 受診状況（治療・検査）

医療機関 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
朝岡眼科		1	1										2
コスモ歯科												1	1
長谷川耳鼻咽喉科												1	1
柳沢クリニック	1	1											2
米本皮膚科							1						1
小川小児科								2		1			3
長谷川産婦人科				1	1		3	1	1			1	8
土屋医院	3		2						1	1			7
ロゼにじいろクリニック	1	1											2
聖隷富士病院		1											1
富士市立中央病院			1	1	3								5
大富士病院			1	1	1	3							6
前田整形外科							1		1			1	3
合 計	5	4	5	3	5	3	5	3	3	2	0	4	42

② 健康診断

10月12日 全児童 実施。（土屋医院）

③ 予防接種

インフルエンザ予防接種	1回目 5名 2回目 1名
新型コロナウイルスワクチン	1回目 2名 2回目 2名 3回目 2名
風疹ワクチン	1名
日本脳炎ワクチン	第2期 2名

資料8 防災訓練報告

項目 年月日	訓 練 内 容						参加人数	
	避難訓練	夜間	火災	地震	消火訓練	自主点検	児童	職員
4月3日	○			○	○	○	4	1
5月1日	○		○		○	○	4	1
6月5日	○		○		○	○	3	1
7月3日	○			○	○	○	3	1
8月7日	○	○		○	○	○	3	1
9月4日	○		○		○	○	4	1
10月2日	○		○		○	○	4	1
11月6日	○			○	○	○	4	1
12月11日	○			○	○	○	4	1
1月2日	○		○		○	○	3	1
2月5日	○			○	○	○	4	1
3月5日	○		○		○	○	4	1

資料9 実習生の受け入れ状況

常葉大学保育学部 1名	期間：8月6日～8月16日 10日
常葉大学短期大学部保育科 1名	期間：8月22日～9月1日 10日

資料10 事故・ヒヤリハット報告

事故報告 1 件

日 付	児 童	内 容
3月28日	職員	駐車場から後進で出る際、柱に公用車をぶつける

資料11 苦情・要望報告

※R4年度はありませんでした。

恩賜記念みどり園



主要事業報告

令和4年度は定員を25名に変更して運営を行いました。年度当初は3月から続くコロナウィルスの施設内感染による隔離対策が継続している状態での始まりでした。

5月以降は入所児童のコロナウィルスの感染は防げておりましたが、令和5年に入り、職員家族の陽性者が増加し、1月11日より再び施設内で入所児への感染が始まり、2月初旬には一旦終息したのですが、2月24日に入所児の1名が発熱し、医療機関で抗原検査の結果陽性と診断され、4度目の施設内感染となりました。その後発熱した子どもがいますが、医療機関で検査して貰っても陰性判定が出て、コロナ感染ではないという診断がでているため、4度目の感染者は幼児1名でした。マスクが使用できない乳幼児が対象の施設ですので、感染対策の脆弱性は否めませんので、コロナウィルス感染症が第5類に分類されて巷の感染対策が緩和されてもマスクができず、言葉によるコミュニケーションが不十分な乳幼児は、感染後の後遺症の把握が難しいことなどから、今後も継続した感染防止対策を徹底してまいります。

令和4年度の入所児童は2名、一時保護児童は14名（内6名は措置に変更）昨年からの継続一時保護児童が3名おり、一時保護の延べ日数は793日、一人当たりの平均在籍日数は49.6日になりますが、コロナウィルスの施設内感染が複数回あったので、入所依頼を全て受けることができませんでした。

退所児童は13名、家庭引取1名・里親委託2名・施設変更10名（児童養護7名・障害児施設2名・他乳児院1名）13名中9名は3歳以上年少児で、全退所児童の平均在籍日数は1,044日（2.86年）でしたが、3歳以

上 9 名の平均在籍日数は 1,231 日（3.37 年）で前年度と変わらない状況です。

また、富士市から依頼を受けたショートステイは 5 件、乳児 5 名を 34 日間預かっておりますが、やはり施設内感染のためお断りをしたケースも 2 件ほどありました。

令和 4 年度も年度当初に 3 歳以上の年少児が 9 名在籍しておりましたので、今年度も原田幼稚園への通園対応を行いました。子どもの年齢や発達状況に即したより良い養育環境の構築と、措置費の減収という相反する課題に加え、年齢別保護単価の関係で、3 歳以上の子どもが退所したことで 3 歳児単価から 0～1 歳児単価への変更や、常勤的非常勤職員を常勤の職員として換算して貰えない事態が起こり、子どもが減っているのに、職員数が足りない状況が発生し、令和 4 年 10 月より、職員配置が、0～1 歳児は子ども 1.3 名に対して職員 1 名の配置から 1.6:1 の配置に、3 歳以上児は子ども 3 名に職員 1 名の配置から 4:1 の配置に修正されてしまい、年度末に約 550 万円の事務費の返還を行いました。

4 月 1 日現在の在籍児童は、入所児童は 12 名、一時保護児童 3 名の 15 名ですが、5 月中旬迄に 2 歳以上の年少児 3 名が退所しますので、定員まで 13 名程空きがある状況ですが、お預かりする子ども達も発達が遅れている子どもや、身体機能に異常がありミルクの飲みが悪い子ども、自分で食べる意欲がみられない子どもなど、育てにくい手の掛かる子どもが増加しているため、多職種が連携して、多角的に子どもの状況を把握し、子ども達にとってより必要な支援の構築を目指す取組を心掛けています。

重要事項報告

1. 感染症について

（1）新型コロナウイルス感染症の施設内感染について

昨年度末より 4 回の新型コロナウイルス感染症の施設内感染がありました。感染経路が特定できたのは 2 回、いずれも職員の感染後に施設内発症しました。

その他の 2 回については入所児からの発症のため、正確な特定ができませんでした。いずれの場合も 37～39℃台の発熱及び、喉の赤みと鼻水程度の症状で、3 日以内に発熱も治まり重症化する子どもはいませんでした。

感染対策期間と陽性者数

感染対策期間	入所児童	職員	計
令和 4 年 3 月 13 日～4 月 1 日	5 名	4 名	9 名
令和 4 年 4 月 7 日～4 月 29 日	8 名	5 名	13 名
令和 5 年 1 月 11 日～2 月 3 日	11 名	7 名	18 名
令和 5 年 2 月 24 日～3 月 3 日	1 名	0 名	1 名

(2) ヒトメタニューモウイルス感染症の施設内感染について

夏の RS ウィルスといわれ、上気道炎から細気管支炎～肺炎の症状を引き起こすヒトメタニューモウイルス感染症の施設内感染がありました。通院時に感染したのではないかと考えられます。

【感染対策期間と感染者数】

令和4年8月5日～8月17日：14名感染（10ヵ月～3歳8ヵ月児）

2. 社会的養護関係施設第三者評価の受審について

令和4年度は恩賜記念みどり園の児童福祉法に定められている社会的養護関係施設第三者評価の受審年度でしたので、下記の業者と契約を締結し受審しました。

※評価結果について前回理事会で報告済

受審日時：令和4年11月18日（金）9時30分～16時30分

実施評価機関：株式会社中部評価センター 代表取締役 長谷部一夫

所在地：〒458-0825

愛知県名古屋市長区左京山104番地加福ビル左京山1F

TEL:052-623-7401 FAX:052-623-7400

受審費用：300,000円

3. 社会的養護入所者環境改善事業補助金等の交付決定について

社会的養護入所者環境改善事業補助金と、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、かかりまし経費の支出が認められ、補助金の交付を受けました。このため、感染症対策としてデュポン社製の防護服、足踏み式の手指消毒ディスペンサー、職員配布用の電子体温計等の購入を行いました。

(1) 交付決定補助金について

① 社会的養護入所者環境改善事業補助金交付決定額 170,000円

② コロナウイルス感染症かかりまし経費交付決定額 500,000円

(2) 購入物品について

① 社会的養護入所者環境改善事業補助金分：186,780円

物品	数量	金額
ニトリル手袋 S・M・L サイズ	40箱（4,000双）	33,220円
テルモ電子体温計	50本	110,000円
足踏み式手指消毒ディスペンサー	2台	43,560円

② コロナウィルス感染症かかりまし経費分：521,510 円

物品	数量	金額
防護服タイベックⅢ型 L・XL	200 着	235,400 円
シューズカバー	6,000 双	157,740 円
N95 マスク等	900 枚	128,370 円

4. 社会的養護処遇改善費の支給について

社会的養護処遇改善加算が本年度も補助金として支給されました。
本年度分の支給金額の概算が出ましたので、一時金として全職員を対象に支給しました。

支 給 日：令和 5 年 3 月 31 日(木)

支給総額：7,230,857 円

(補助金支給額内訳)

民間給与改善費の 3%：4,618,428 円

処遇改善加算Ⅰ～Ⅴ：2,563,380 円

施設負担支給調整額： 49,049 円

5. 夜間勤務職員の増員について

新型コロナウイルスの施設内感染時の隔離対応期間中に夜間勤務者を緊急配置しました。当時、新生児 2 名一時保護され安静隔離を行っている状況に加え、心臓中隔欠損の修復手術を行い、病院から退院直後の障害児もいたので、その子ども達の夜間の養育支援をする職員が不足していたので夜間勤務職員の増員を図りました。また、次年度に向けて勤務時間の変更と、宿直職員の配置を計画しています。

配置期間：令和 5 年 1 月 12 日～令和 5 年 2 月 3 日

勤務時間：20 時 00 分～翌朝 7 時 00 分迄（2 時間の超過勤務を含む）

6. 事故報告について

令和4度は一般事故が51件と、児童間の事故が323件ありました。

通院した児童は6名でした。通院した児童も軽傷か異常ないと診断されておりますが、より一層の注意を払いたいと思います。

① 一般事故 事故総数 51 件（対象児童 51 名） 通院児童 6 名

事故の内訳

No.	事故内容	件数	通院数	事故・通院状況・診断等
1	はさみこみ等	1	0	他児がドアを閉めて、ドアに指が挟まる
2	転落	1	1	避難車から転落する（通院）
3	衝突・転倒	26	4	走っていて転倒し、前歯から出血（通院） バランスを崩して頭を柵にぶつける（通院） プレイルームの柵にぶつかり出血等
4	創傷・裂傷	8	0	サランラップを手でつかんで出血等
5	誤飲・誤食	1	0	便からシールが出てくる
6	誤配食	0	0	
7	誤投薬	1	1	他児の内服薬を投薬する
8	不投薬	4	0	内服予定の薬を破棄する、投薬忘れ
9	その他	9	0	昼食のチーズのフィルム片が入っていた 児童が職員の付き添いなく階段を降りる等
合計		51	6	

② 児童間の事故 事故総数 323 件 通院児童 0 名

事故の内訳

No.	事故内容	件数	通院数	事故・通院状況・診断等
1	噛みつき	293	0	相手、状況不明の噛み傷多数
2	ひっかき(創傷) つねる	27	0	相手、状況不明のひっかき傷多数
3	自傷等	0	0	
4	その他	3	0	他児に玩具で叩かれる 他児が投げた玩具が当たる
合計		323	0	

7. 苦情・要望について

令和4年度は苦情3件要望を0件受けました。

苦情対応したものは保護者への連絡・報告についてと、寄附金の取り扱い（広報の公表漏れ）、入所児検診の検体の取り扱いについて、各1件の連絡があり苦情として対応させていただきました。

（内訳）

区分	内 容	件数
苦情	保護者への連絡・報告について	1
	寄附金の取り扱い（公表）について	1
	健康診断用検体の取り扱いについて	1

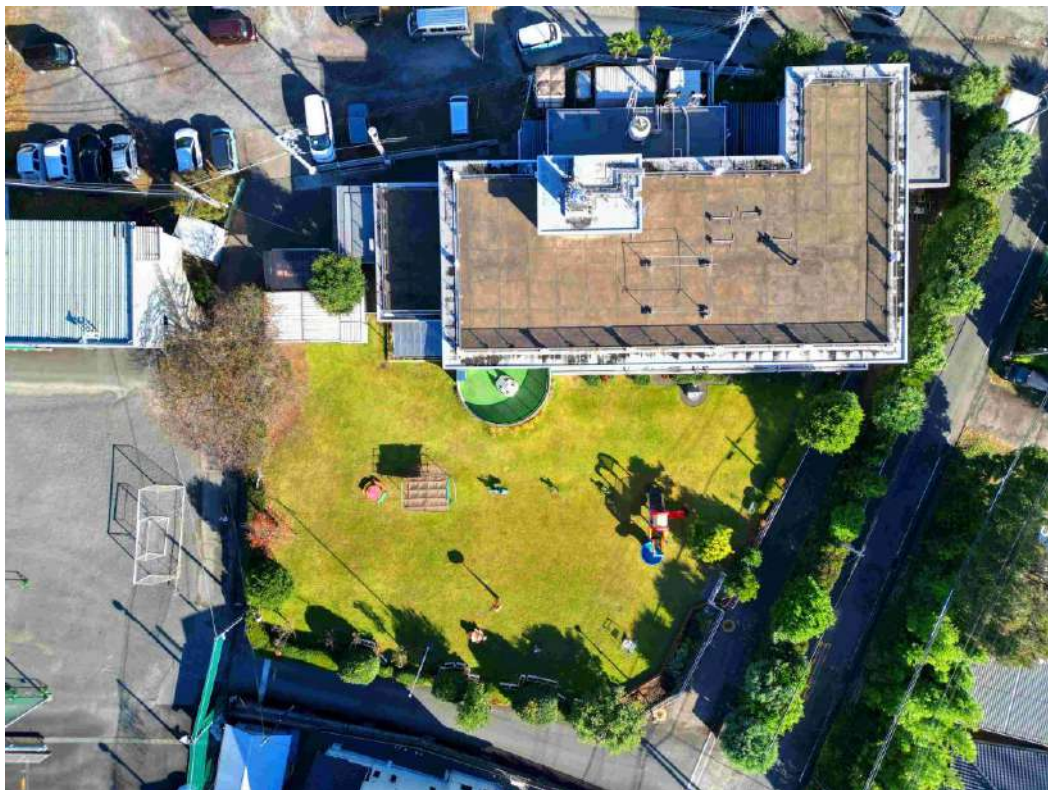
※詳細については附属明細書をご覧ください。

8. 固定資産の取得・廃棄について

（1）固定資産の取得

- ① 勤怠管理システム用ピットタッチ資機材・付属品 : 127,500 円
（ピットタッチ・端末設定作業費・接続費用）

（2）固定資産の廃棄 なし



基本目標の達成状況

1. 基本目標 1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りを心掛けた心身の発達支援を行います。また、より家庭的な養育環境構築のための施策を実施します。

(1) 小規模グループケアの実施について（基本目標 1 実施目標①）

2 歳～5 歳迄の幼児を対象に、1 グループ 4 名の小規模グループケアを園舎 2 階で実施しました。その他の子ども達についても分散保育を導入するなど、養育形態の小規模化に取り組みました。退所による子どもの入れ替えがありましたが、年間では 7 名の子どもが小規模グループケアを体験することができました。

(2) 小児精神科医師による診察とビデオカンファレンス (基本目標 1 実施目標②)

小児精神科医師によるカンファレンスを今年も開催することが来ました。

「社会的養護下の乳幼児の心理社会的発達の特徴」を研究されている講師 2 名を招き、子どもの視線の動きを可視化することで、その子どもの特徴等についての考察や情報共有を行うと共に、子どもの診察をしていただき、気になる行動についての助言を貰いました。

講 師：山崎知克 氏（浜松市こどもの心の診療所々長：小児精神科医師）

岩崎美奈子 氏（早稲田大学総合研究機構研究員：臨床心理士・公認心理師）

開催期日：令和 4 年 10 月 30 日 9:30～15:30

開催場所：恩賜記念みどり園 児童居室・応接室及び 2 階会議室



(3) 発達の遅れた乳幼児の支援の充実に関する取組について

(基本目標 1 実施目標③)

①整形外科医師による身体・発達等の診断

本年度から整形外科医師による入所児の身体発達の診察・評価を行い、適切な治療や支援が提供できるように、市内に開業されている田辺整形外科医院田邊登崇院長に診察・評価をしていただきました。この結果、外科的に経過をおっていく必要がある子どもが 4 名いることが分かり定期的な評価を受けることとなりました。

診察実施日と受診者数

日 時	対象児童	受診者数
8 月 10 日（水）14：00～	初診	6 名
10 月 12 日（水）14：00～	初診時と同一児童の経過観察	6 名
3 月 29 日（水）14：00～	同一児童 3 名、初診児 1 名	4 名
		計 16 名（延べ）

※初診児童のうち 2 名が年度途中で退所

診断と経過

日 時 児 童	8 月 10 日（水）	10 月 12 日（水）	3 月 29 日（水）
A（男）	初 診 運動機能障害の疑い。 抱っこで反張位になっ てしまう。病的な感じ はみられない。	経 過 整形外科的所見なく経 過良好と思われる。	延期
B（女）	初 診 体重増加不良。 優位な異常は感じられ ない。	経 過 四肢運動器異常は見ら れない。吸啜力の弱さ については吞気もある か。	R4.11.1 退所
C（女）	初 診 精神運動発達遅滞。 体幹は弱い表情も良 く、おもちゃで遊んで いる。	経 過 運動的には向上してい る。食事の摂取量が少 なく今後の課題。	経 過 体幹の動揺性はまだ 残存。つかまり立ち 等運動機能の向上が みられる。食事摂取 量も良好。
D（男）	初 診 両足指奇形・両手指奇形 右足趾術後簡易装具で 対応していく。	経 過 歩容良好。 現状では装具対応可 能。	経 過 足部変形や歩行に対 しては装具対応は有 効。
E（女）	初診 運動発達遅滞。 動作は緩慢 体幹は弱 く左下肢の筋緊張の亢 進はありそう。	経 過 体幹の安定性は増して いる。運動能力の向上 は著しい。	R4.11.21 退所
F（女）	初 診 運動発達遅滞。 歩行は安定している。 左右差はあまりない。 階段は 2 足 1 段で要介助。	経 過 体幹の不安定性に対し て機能向上が課題。	経 過 元気に遊んでおり運 動機能に関しては大 きな不安はない。
G（男）			延 期
H（女）			初 診 ダウン症候群。 腹臥位で頭部挙上も 比較的長時間可能。 四肢、体幹機能の向 上が目標。

② リトミック

平成 24 年の静岡県のモデル事業がきっかけで始めたリトミックも 11 年目を迎え、令和 4 年度も 1 回 60 分ずつ、幼児を対象に 15 回実施することができました。

施設内にコロナウィルス感染症が入ったこともあり、前年の 3 分の 2 の開催回数となりましたが、感染予防対策の徹底を依頼して実施しました。

開催期日と参加内訳 開催場所：みどり園 1 階プレイルーム

回数	開催日	開催時間	子ども人数	職員人数
1	令和 4 年 5 月 11 日(水)	9:30～10:45	14	11
2	令和 4 年 5 月 25 日(水)	9:30～10:45	12	9
3	令和 4 年 6 月 8 日(水)	9:30～10:45	15	7
4	令和 4 年 6 月 22 日(水)	9:30～10:45	17	9
5	令和 4 年 7 月 13 日(水)	9:30～10:45	16	8
6	令和 4 年 9 月 14 日(水)	9:30～10:45	14	9
7	令和 4 年 9 月 28 日(水)	9:30～10:45	15	9
8	令和 4 年 10 月 12 日(水)	9:30～10:45	14	8
9	令和 4 年 11 月 9 日(水)	9:30～10:45	17	10
10	令和 4 年 11 月 23 日(水)	9:30～10:45	15	12
11	令和 4 年 12 月 14 日(水)	9:30～10:45	14	12
12	令和 5 年 1 月 4 日(水)	9:30～10:45	14	8
13	令和 5 年 2 月 8 日(水)	9:30～10:45	14	12
14	令和 5 年 3 月 8 日(水)	9:30～10:45	14	8
15	令和 5 年 3 月 22 日(水)	9:30～10:45	7	4
合計(延人数)			213	136



③ プレイセラピー（心理療法・発達支援等）

平成 27 年から園独自の事業となったプレイセラピーを、常勤の心理療
法担当職員（公認心理師）を配置して発達に課題を持つ 12 名の幼児を対
象に、自己表現がスムーズにできるように、より良い関係作りを目標に週
1～2 回のセラピーを実施しました。

また、保護者との関係作りを目的とするオンライン面会を通じての保護
者支援を実施しました。

対象児童：12 名： 実施時間 20 分：延回数 155 回

オンライン面会による保護者支援：11 家族：延回数 26 回

（4）職員の養成に関する取組について （基本目標 1 実施目標④）

コロナウィルス感染症の影響も少しずつ緩和され、対面で行う研修会や、
対面とアーカイブ配信のハイブリット研修も増えてきました。例年では 1～2
名しか参加できない業界のブロックや全国研修会に多くの職員を参加させる
ことができました。外部研修 33 企画に延 59 名の職員、法人内研修には 7 企
画に 34 名、施設独自研修や勉強会については 12 の企画を開催し、86 名の
職員が参加して自己研鑽に努めました。

研修主催者・研修区分	企画数	参加人数
(1) 業界関連団体等主催の県外研修会	10	14
(2) その他の団体主催の県外研修会	5	11
(3) 県内研修会	18	34
(4) 法人内研修会	7	34
(5) 施設内研修会・勉強会	12	86
合 計	52	179

（詳細は別添資料参照）

（5）「わらべ唄を使った遊び」と小道具の使い方

（基本目標 1 実施目標⑤）

富士市の公立保育園の退職職員の方を講師に招き、「わらべ唄」を使っ
た遊びの展開方法や、手遊び等に使用する小道具の使用方を職員に学ば
せるための研修を児童養育中に同時開催しました。

講 師：田畑静代 氏、畔高京子 氏

開催場所：みどり園 1 階乳児室・プレイルーム

開催期日と参加内訳

回数	開催日	開催時間	子ども人数	職員人数
1	令和4年 5月26日(木)	9:30～10:45	16	11
2	令和4年 6月23日(木)	9:30～10:45	16	10
3	令和4年 10月25日(木)	9:30～10:45	17	10
4	令和4年 11月24日(木)	9:30～10:45	14	9
合 計 (延人数)			80	46



(6) 園外保育の実施について (基本目標1 実施目標⑤)

入所児と担当養育者の関係を深めることを目的とした日帰りの社会体験を令和4年度はコロナウィルス対策を考慮して、公用車で行ける範囲で買物体験や、お弁当を持って公園や動物園に出掛ける園外保育を8回、お楽しみ会以外の園庭等での娯楽行事を3回実施し、延べ78名児童が参加しました。

①園外保育の実績

年 月 日	行先・目的等	児童数	職員数	備 考
令和4年 5月31日	パ ン の 国	2	2	公用車使用
令和4年 6月 7日	江戸屋(富士宮パン屋)	6	6	公用車使用
令和4年 6月 7日	う宮～な・田貫湖	4	4	公用車使用
令和4年 6月28日	富士サファリパーク	6	6	公用車使用
令和4年 7月12日	今宮ふれあい公園	6	6	公用車使用
令和4年 9月 5日	花 火	13	10	園庭で実施
令和4年 10月17日	不二家でお買い物	10	10	公用車使用
令和4年 10月31日	ハ ロ ウ ィ ー ン	13	12	園内で実施
令和4年 11月22日	B B Q	10	21	園庭で実施
令和4年 11月29日	ドンキホーテ買物体験	6	6	公用車使用
令和5年 2月17日	ドンキホーテ買物体験	2	2	公用車使用
延べ人数		78	85	

富士サファリパーク（R4.6.28）



（7）ホームカミングデー（基本目標 1 実施目標⑥）

実施目標⑥に乳児院や児童養護施設を利用した子どもたちとの繋がりを継続するために、施設出身者や退職職員を招きホームカミングデーを開催する予定でしたが、コロナウィルス感染症の蔓延により、本年度も開催を中止しました。

開催予定日：令和 4 年 11 月 3 日（水）※中止

予定開催場所：恩賜記念みどり園芝生園庭

2. 基本目標 2

改正児童虐待防止法の趣旨を理解し、乳幼児の権利擁護について職員に徹底します。また、社会的養護関係施設第三者評価を受審し、充実した支援を心掛けます。

（1）全国乳児福祉協議会倫理綱領や、国が示した「体罰によらない子育て」等の活用等による養育の振り返りについて

（基本目標 2 実施目標①・②）

全国乳児福祉協議会が作成した「倫理綱領」や「より適切な関わりをするためのチェックリスト」を会議開始前に全員で読みながら確認を行い、職員各自の行動を振り返る機会を設け、子ども達の権利擁護に努めました。

裾野市のさくら保育園や、熊本乳児院の不適切な関わりについての報道を受け、月例会やケース会議時に、全国の乳児院や児童養護施設で起こっている施設内虐待や、養育不全状況についての事例を報告しながら、園内の養育について検証する時間を設けました。

(2) 自己評価・第三者評価委員会における、令和 4 年度の自己評価等の実施と社会的養護関係施設第三者評価の受審について

(基本目標 2 実施目標③)

令和 4 年度も自己評価・第三者評価委員会のメンバーを中心に自己評価を実施し、評価結果の集計行い、ユニット会議時に職員による状況の確認と、情報共有による見識の修正を行うと共に、前年度に作成した、短期目標や中長期目標の達成状況を確認し、令和 5 年度に向けた短期目標や中長期目標を作成しました。

また、児童福祉施設第三者評価を受審しました。

自己評価・第三者委員会開催回数：7 回(全体会＋ユニット会議共催)

社会的養護関係施設第三者評価受診日：令和 4 年 11 月 18 日(金)

評価機関：中部評価センター

(3) リスクマネジメント委員会の開催について

(基本目標 2 実施目標④)

代表者会議のメンバーで事故報告の検証や、インシデントレポートを確認し、事故防止への改善点について検討し、養育上や運営上での改善をはかり、ケース会議や月例会時に注意喚起や改善点の報告を行い、職員への徹底を図りました。

リスクマネジメント委員会開催回数：12 回

3. 基本目標 3

感染症発症時の対応及び、緊急事態等への対応の強化を図ります。

(1) 夜間勤務職員や朝夕の職員を増員しました。

(基本目標 3 実施目標①)

新型コロナウイルスの施設内感染時の隔離対応期間中に夜間勤務者を緊急配置しました。当時、新生児 2 名一時保護され安静隔離を行っている状況に加え、心臓中隔欠損の修復手術を行い、病院から退院直後の障害児もいたので、その子ども達の夜間の養育支援をする職員が不足していたので、夜間勤務職員の増員を図りました。

(2) 起床時や就寝時間帯の職員配置を増やしました。

(基本目標 3 実施目標①)

令和 5 年度新卒採用予定の学生をアルバイト採用し、起床時や就寝時の職員配置の増員を図り、子ども達の要望に応えられる体制の整備を図りました。これにより次年度から早番と遅番の各 2 名配置が可能になりました。

(3) 緊急一時保護の受入れや面会、ショートステイ事業の受入れについて関係機関と 協議して対応を図りました。(基本目標 3 実施目標③)

コロナウィルスの施設内感染が度重なったことから、施設内の感染対策を強化するため、各児童相談所に当園の感染症対策について報告し、面会の制限や緊急一時保護や、ショートステイ受け入れ時の家族アセスメントについて協力を求め、受け入れ体制協議しながら対応を図りました。

(4) 入所児の体調急変時の緊急対応や、感染症発症時の初期対策などができるよう、園内研修の反復練習を通して対応の強化を図りました。

(基本目標 3 実施目標⑤)

入所児童の体調急変時の対応やコロナウィルスの園内感染者発生を想定したゾーニングや、防護服の着脱等に関する勉強会や新任職員への講習を実施しました。

4. 基本目標 4

求められる乳児院の将来像を考慮し、地域ニーズに応えられるような新規事業や、園舎の建て替えに向けた準備を進めます。

(1) 本体施設改築計画に着手し、実施事業の選定や、園舎建設計画を検討しました(基本目標 4 実施目標①)

本体施設の改築が必要となったので、本体施設内の完全小規模化グループ化と、発達が遅れや、障がいを持つ子ども達への支援を充実させる治療養育ができる機能を持ち、合わせて母子の一時保護や母子のデイサービスなどの在宅支援を可能にする、乳幼児総合支援センター化への建設計画を作成中です。

現園舎の配管保温剤にはアスベストが使用されているため、慎重な解体作業が求められることから、単年度での改築は不可能と思われるので、令和 5 年度に申請し、令和 6 年度～令和 7 年度の複数年度で旧園舎の取り壊しと、改築実施の予定で計画を進めることで静岡県と協議を進めています。

(2) 地域ニーズに応えるべくショートステイ事業や、赤ちゃん 110 番の継続と、買い物送迎プロジェクトへ職員の派遣を行いました。

(基本目標 3 実施目標③)

富士市からのショートステイの依頼は、コロナウィルスの施設内感染や、緊急一時保護と日程が重なり、十分な受入れができずに、実際に受け入れた件数は 5 件でした。内訳は、乳児 5 名の緊急委託を受け入れました。受け入れ延べ日数は 34 日、対象者は延べ 34 名となります。

赤ちゃん 110 番は通話録音装置をつけた関係や、インターネットの無料相談などの普及からか、相談件数の減少傾向が続いており、残念ながら令和 4 年度は相談がありませんでした。

また、買い物送迎プロジェクトには開催回数 84 回のうち、施設内で新型コロナウイルス感染症が発症し、感染症対策実施期間以外の開催日に職員延べ 251 名と、車輛延べ 108 台を派遣しました。

5. 基本目標 5

小規模化や機能強化等に対応できる人材の獲得や養成をめざします。

(1) 保育を学ぶ大学生アルバイトの雇用について

富士市から他県の大学に進学し保育士を目指している学生を、長期休業時にアルバイト採用し、乳児院への理解を深めて貰いました。令和 3 年度から継続して雇用しています。

また、令和 5 年度 4 月 1 日付け採用予定の保育士養成校の学生 6 名を下半期アルバイト採用し乳児院の仕事への理解を深めて貰うべく早期教育に取り組みました。

(2) 人材獲得への取り組み（基本目標 5 実施目標②）

静岡県からの依頼による「児童福祉のしごと」の就職相談会や、静岡県社会福祉協議会人材センター主催の就職相談会への参加依頼がありました。令和 4 年 9 月には新卒採用予定者 6 名が決まっておりましたので、今回は参加を辞退しました。

(3) 保育士養成校実習生の受入れについて（基本目標 5 実施目標②）

未来の後継者を育成するべく保育士養成校の実習生の受入れを行いました。実習前 2 週間の健康調査と行動観察の他、養成校で実施する実習 2 日前の PCR 検査や、当園看護師による受け入れ直前の抗原検査の実施など、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら受け入れを行いました。県内・県外の養成校 5 校 20 名の受け入を行いました。

(4) 園内の職員研修の充実について（基本目標 5 実施目標②）

職員のスキルアップを目的とした園内研修や、勉強会を 12 回企画しました。特に新型コロナウイルス感染症対策や救急蘇生法には力を入れて、直接処遇職員や新任職員は全員受講できるように対応しました。

園内研修会・勉強会への参加人数は延べ 86 名になりました。

資料1 令和4年度入所実績表・入退所理由別表等

(1) 令和4年度入所実績表

定員25名

区分		実人員				初日 充足率	一時保護	途中入退所			総計	定員25名 充足率	暫定25名 充足率
月別	性別	男子	女子	計	初日 在籍 延べ数	%	延人数	延人数	内訳			%	%
	男子								女子				
令和4年	4月	10	7	17	510	68	3	13	60	34	526	70	70
	5月	11	6	17	527	68	2	-32	9	21	497	64	64
	6月	9	6	15	450	60	2	-29	9	40	423	56	56
	7月	7	6	13	403	52	3	5	69	52	411	53	53
	8月	8	7	15	465	60	2	0	31	10	467	60	60
	9月	8	7	15	450	60	1	0	58	25	451	60	60
	10月	9	8	17	527	68	1	0	31	0	528	68	68
	11月	9	7	16	480	64	1	-16	27	-10	465	62	62
	12月	8	6	14	434	56	2	0	63	0	436	56	56
令和5年	1月	8	6	14	434	56	2	1	83	1	437	56	56
	2月	9	7	16	448	64	2	0	52	8	450	64	64
	3月	10	7	17	527	68	2	-60	-28	30	469	61	61
計		106	80	186	5655		23	-118	464	211	5560	61	61

(注) 表中の充足率は暫定店員ではなく、定員25名で計算したものです。

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数です。

(注) 表中の途中入退所延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含みます。

暫定定員計算(算式1)

入所児童のみ $5,537 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 = 16.85$

一時保護含む $5,560 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 = 16.92$

暫定定員計算(算式5)

入所児童のみ $5,537 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.16 = 17.61$

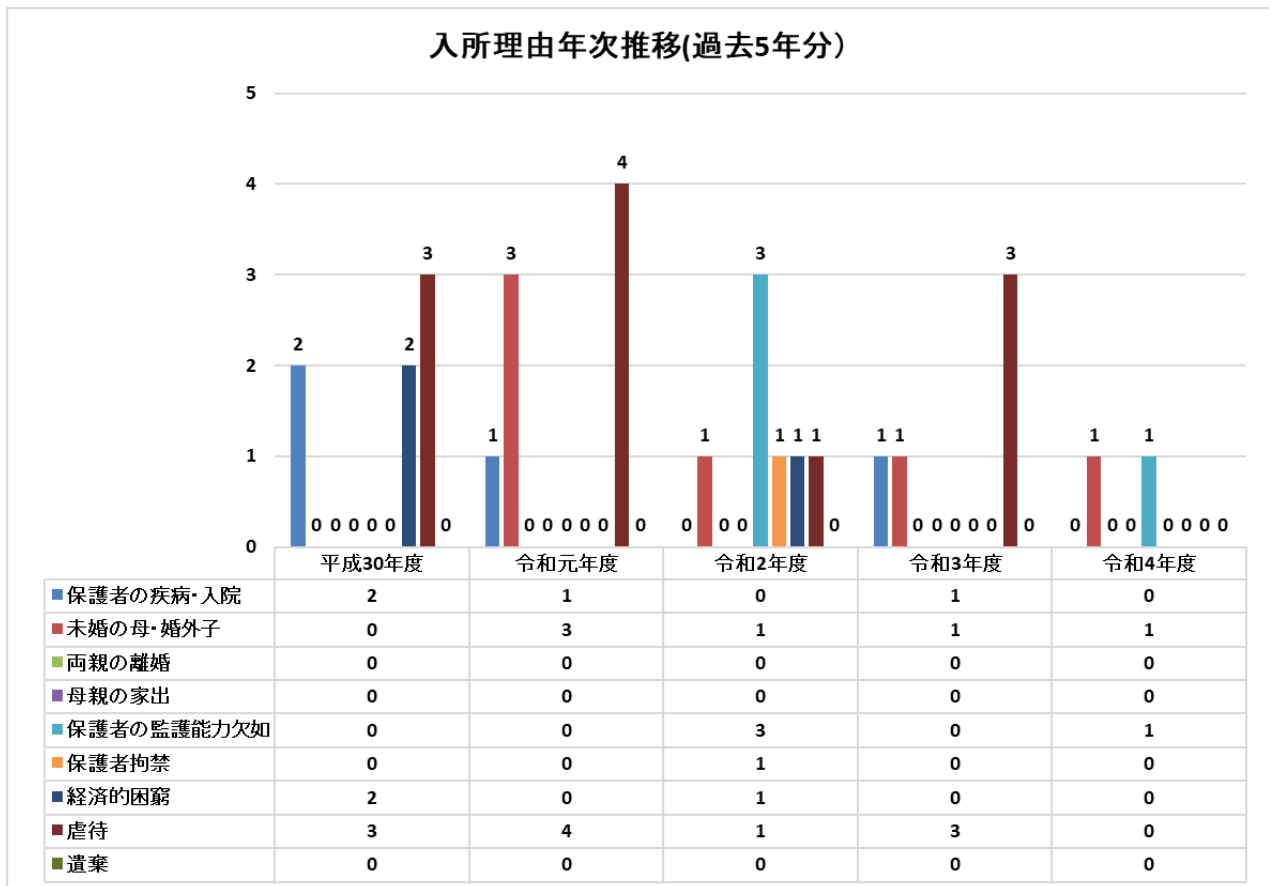
一時保護含む $5,560 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.16 = 17.68$

※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものです。

(2) 令和4年度 入退所理由別表

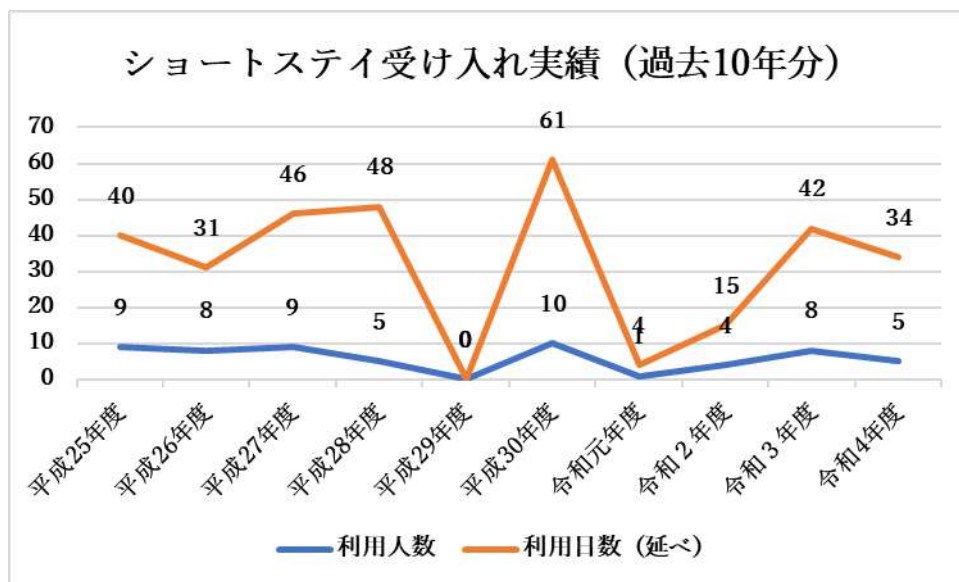
入 所 理 由	人数	退 所 理 由	人数
1.養育困難	2	1. 家庭引取	1
(1)保護者の疾病・入院	(0)	2. 里親・FH 委託	2
(2)未婚の母・婚外子	(1)	3. 他施設に措置変更 内訳	10
(3)両親離婚	(0)	(1)児童養護施設	(7)
(4)母の家出	(0)	(2)障害児施設	(2)
(5)保護者の養育能力欠如	(1)	(3)その他の施設	(1)
(6)保護者拘禁	(0)		
(7)経済的困窮	(0)		
2. 虐 待	0	4. その他	0
3. 遺 棄	0		
合 計	2	合 計	13
一時保護 (措置入所への切替6名含)	14	一時保護 解除(退所等) (家庭引取7名)	8

(2)－① 入所理由の年次推移

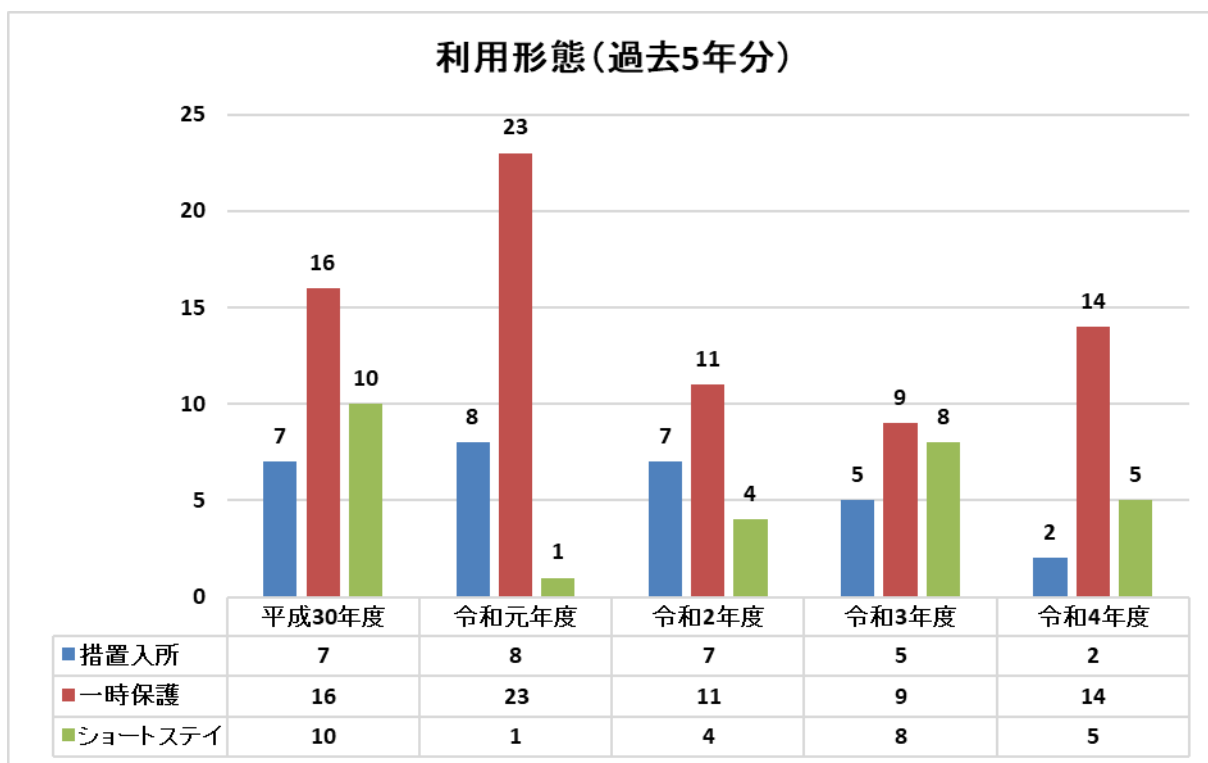


(2)－② 令和4年度 富士市ショートステイの利用状況

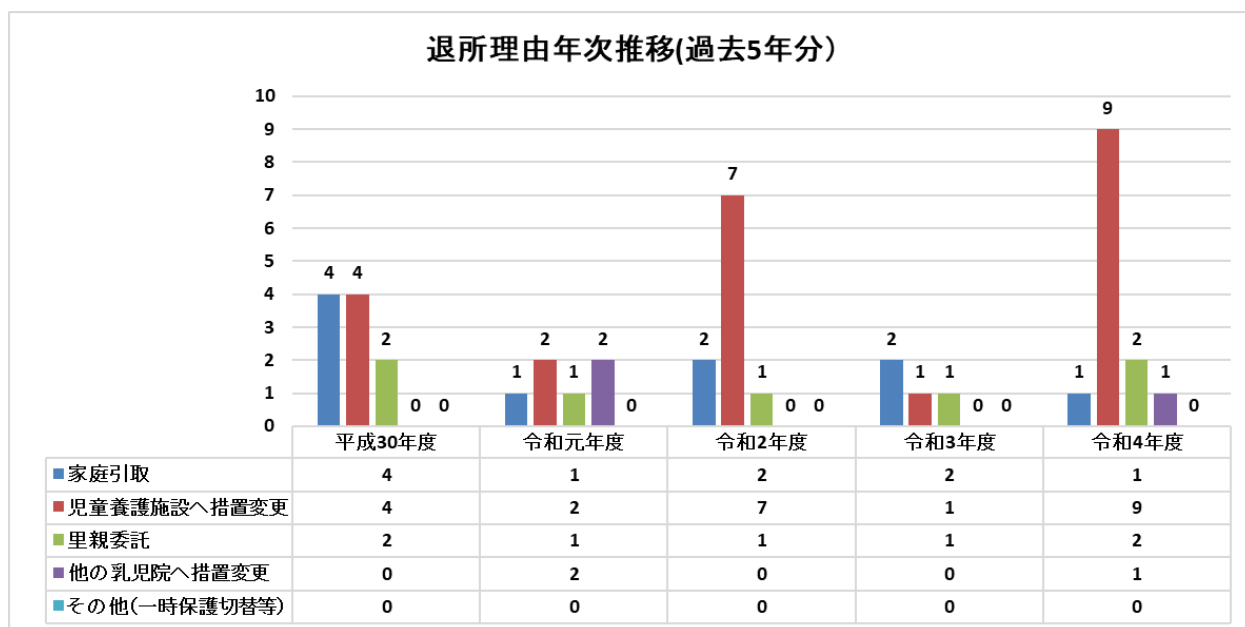
年 齢	利用人数	利用日数
2歳未満	5 人	34 日
2歳以上	0 人	0 日
合 計	5 人	34 日
母 親	0 人	0 日



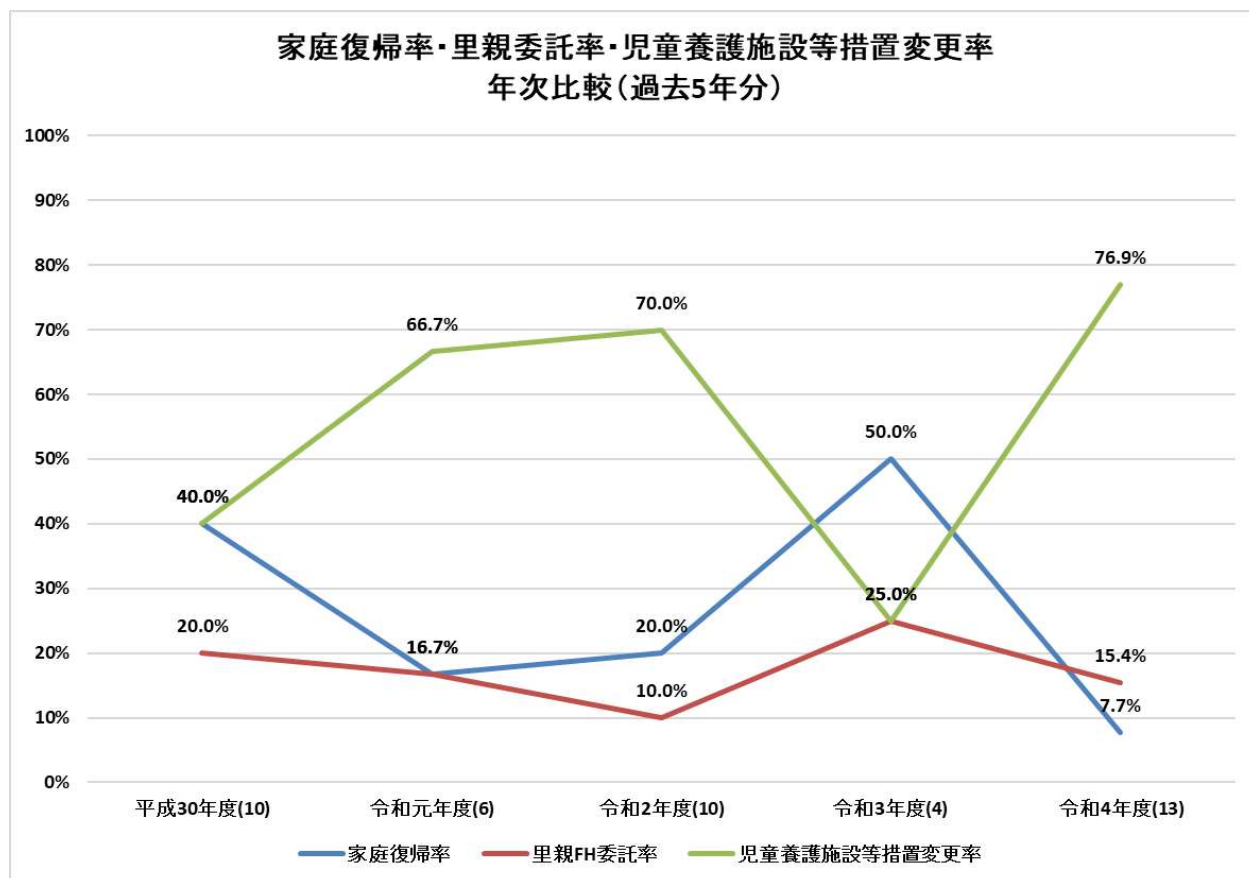
(2)－③ 利用形態の年次比較



(2)－④－1 退所理由年次比較



(2)－④－2 家庭復帰率・里親委託率・児童養護施設等への措置変更率の年次比較



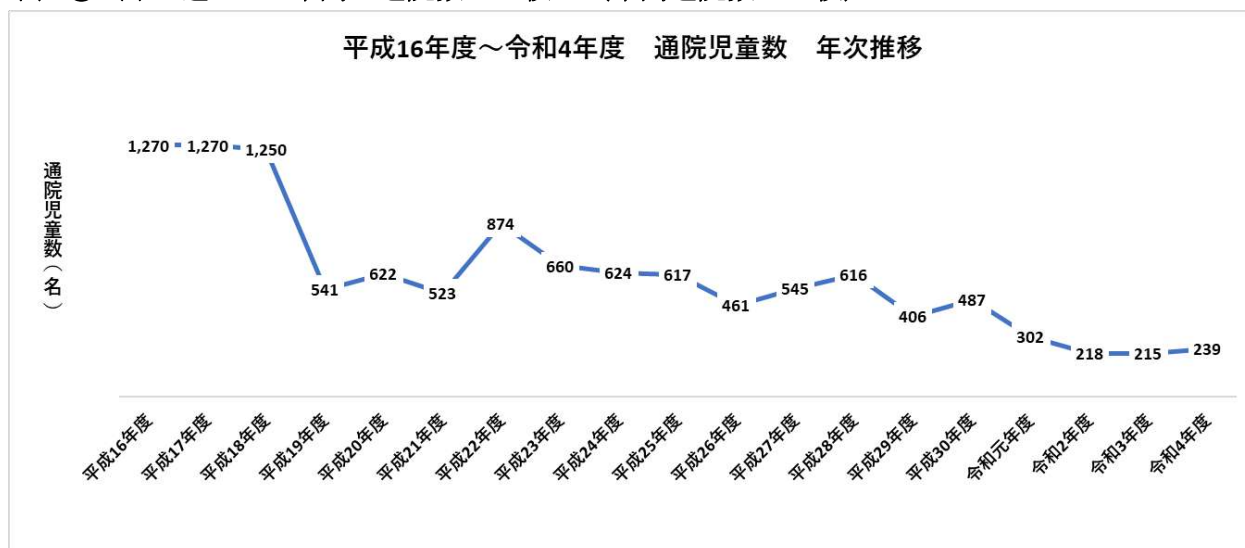
資料2 令和4年度 疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診件数 444 件

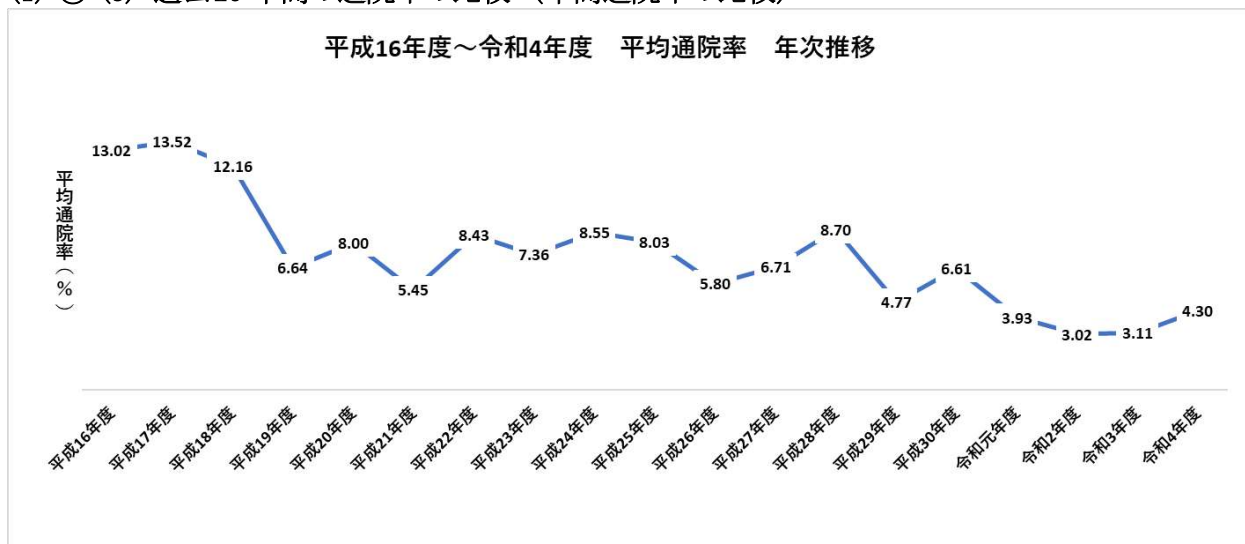
(1)-①-(1) 令和4年度月別通院児童数 (年間 239 件)

通院数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いいずみファミリークリニック	2	3	7	0	19	1	3	4	2	3	4	14	62 名
小川内科小児科医院	8	0	3	2	4	0	4	7	2	13	14	19	76 名
かみで耳鼻咽喉科	0	0	1	1	0	0	0	3	6	1	0	0	12 名
米本皮膚科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
海野皮膚科医院	1	2	0	0	4	0	0	0	0	0	2	2	11 名
片岡歯科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
小森眼科クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
瀬尾医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
土屋医院	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4 名
神田川クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
富士宮市立病院	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3 名
つちや耳鼻科医院	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4 名
谷口医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
静岡済生会病院	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 名
こどもの心の診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
前田整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
小田部産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
朝岡眼科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
花崎眼科	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 名
中山医院	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 名
フィランセ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
伊東市民病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
すずき耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
おおぶち歯科	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2 名
富士宮市保健センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
里和耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
みやかわ内科外科クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
聖隷富士病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
山本眼科クリニック	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3 名
県立総合病院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1 名
富士市立中央病院	1	1	0	0	0	1	3	0	0	1	0	3	10 名
(脳神経外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(整形外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(小児科)	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4 名
(皮膚科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(耳鼻咽喉科)	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3 名
(救急外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2 名
(形成外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(小児外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(眼科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
県立こども病院	2	7	4	3	2	2	4	7	3	2	2	4	42 名
(救急総合診療科)	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	6 名
(脳神経外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(循環器科)	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	1	5 名
(整形外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(耳鼻科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(小児外科)	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3 名
(眼科)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 名
(新生児科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(作業療法科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(理学療法科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(リハビリテーション)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(救急外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1 名
(麻酔科)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 名
(発達小児科)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1 名
(血液腫瘍科)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2 名
(神経科)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2 名
(遺伝染色体科)	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	5 名
(形成外科)	1	3	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	10 名
(免疫アレルギー科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(心臓血管外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4 名
富士市立救急医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1 名
富士市立こども療育センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
通院数合計①	18	13	22	8	32	4	15	27	15	20	23	42	239 名

(1)-①-(2) 過去19年間の通院数の比較 (年間通院数の比較)



(1)-①-(3) 過去19年間の通院率の比較 (年間通院率の比較)



(1)-② 令和4年度月別健康診断受診児童数 (年間76件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生後1週間健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
1-2ヶ月健診	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3名
3-4ヶ月健診	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2名
6-10ヶ月健診	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4名
1歳-1歳半健診	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	6名
2歳-3歳児健診	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4名
定期健診・歯科検診	0	1	0	0	0	15	0	0	0	0	31	0	47名
入所時健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
退所時健診(嘱託医)	2	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2	10名
健康診断合計②	3	6	2	1	1	18	3	5	0	2	33	2	76名

(1)-③ 令和4年度月別予防接種 児童数 (年間129件)

予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
BCG	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4名
ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
MRワクチン	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5名
ヒブワクチン	0	0	1	0	0	3	5	2	1	0	1	4	17名
小児肺炎球菌ワクチン	0	0	1	0	0	4	4	2	1	0	1	3	16名
シナジス(RSウイルス)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3名
ロタウィルス	0	0	0	0	0	3	4	1	1	0	1	3	13名
水痘	1	1	2	0	1	1	1	1	0	0	0	1	9名
B型肝炎	0	1	2	1	0	3	4	1	0	0	1	4	17名
4種混合(1~3期)	1	2	0	1	1	0	4	1	2	0	1	1	14名
日本脳炎	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	7名
季節性インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	14	10	0	0	0	0	24名
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
予防接種合計③	2	7	8	2	2	16	38	21	8	0	6	19	129名

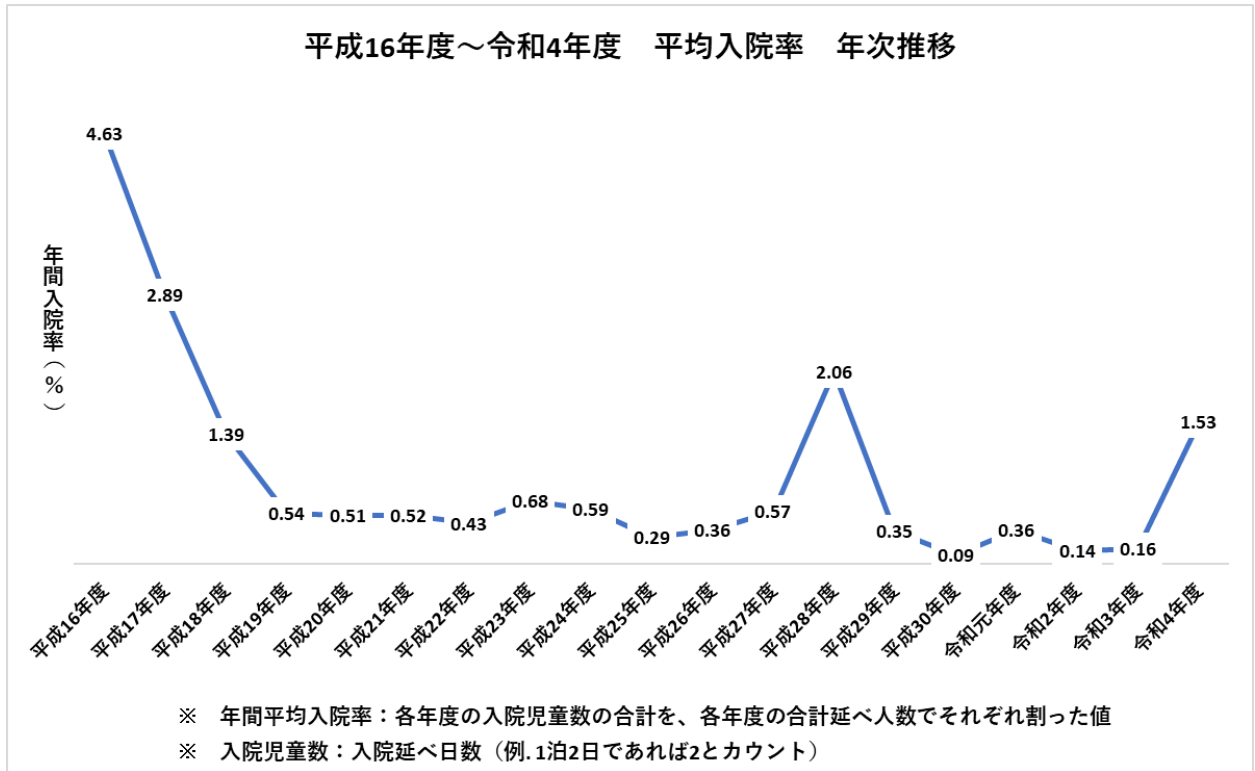
(2) 令和4年度 入院児童について(対象児4名・入院日数延85日)

氏名	性別	入院期間	病院名	病名	入院日数
K・G	男	5月18日~5月25日	県立こども病院	裂手裂足(左手、右足)	8
K・G	男	9月28日~10月5日	県立こども病院	裂手裂足(右手、左足)	8
K・H	女	11月11日~1月11日	県立こども病院	心室中隔欠損症、卵円孔開存、動脈管開存	62
H・W	女	12月16日~12月22日	県立こども病院	脱水、気道感染	7
入院者数		4名	延べ入院日数		85日

(2)-① 過去19年間の入院児童数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成16年度(28名延べ452日)	2	11	66	16	43	80	52	114	45	17	6	0	452名
平成17年度(27名延べ280日)	57	53	21	0	0	33	23	15	53	10	15	0	280名
平成18年度(13名延べ143日)	0	8	26	0	0	0	16	43	34	15	1	0	143名
平成19年度(4名延べ44日)	0	0	17	11	7	0	0	0	0	0	9	0	44名
平成20年度(6名延べ40日)	0	12	0	0	0	0	5	0	23	0	0	0	40名
平成21年度(7名延べ50日)	4	1	0	0	6	0	0	6	20	0	2	11	50名
平成22年度(7名延べ45日)	0	4	0	0	12	0	16	8	0	0	5	0	45名
平成23年度(3名延べ61日)	0	0	0	5	0	0	1	4	0	20	29	2	61名
平成24年度(6名延べ43日)	0	0	0	0	0	0	3	0	6	5	0	29	43名
平成25年度(2名延べ22日)	0	0	0	0	0	7	0	15	0	0	0	0	22名
平成26年度(4名延べ29日)	0	0	4	0	0	7	0	0	18	0	0	0	29名
平成27年度(5名延べ46日)	0	0	0	9	6	14	0	0	0	17	0	0	46名
平成28年度(15名延べ146日)	0	5	6	15	41	2	9	30	32	6	0	0	146名
平成29年度(5名延べ30日)	11	0	0	0	0	8	9	2	0	0	0	0	30名
平成30年度(3名延べ7日)	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7名
令和元年度(2名延べ28日)	0	0	0	3	23	0	0	0	2	0	0	0	28名
令和2年度(2名延べ10日)	0	0	0	0	2	0	0	8	0	0	0	0	10名
令和3年度(2名延べ10日)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	0	0	11名
令和4年度(4名延べ85日)	0	8	0	0	0	3	5	20	38	11	0	0	85名

(2)-① 過去19年間の入院率の比較



(3) 定期健康診断

(3)-① 入所児童定期健康診断

1) 内科検診(年2回): 嘱託医: 飯泉哲哉医師

実施日: 1回目: 令和4年9月27日・2回目: 令和5年2月10日

2) 歯科検診(年1回): 片岡歯科医院: 片岡俊夫医師

実施日: 令和5年2月14日

(3)-② 職員定期健康診断 (新富士病院)

1回目 : 令和4年9月2日・9月13日・9月14日

2回目 : 令和5年2月1日・2月3日・2月15日

(4) 感染症の記録

① コロナウィルス感染症

感染症対策期間: 令和4年3月14日～4月1日 (完全隔離期間)

コロナウィルス感染者数: 児童5名・職員3名 計8名

② コロナウィルス感染症

感染症対策期間: 令和4年4月7日～4月29日 (完全隔離期間)

コロナウィルス感染者数: 児童8名・職員5名 計13名

③ ヒトメタニューモウイルス感染症

感染症対策期間：令和4年8月5日～8月17日（完全隔離期間）

コロナウィルス感染者数：児童14名・職員0名 計14名

④ コロナウィルス感染症

感染症対策期間：令和5年1月11日～2月3日（完全隔離期間）

コロナウィルス感染者数：児童11名・職員7名 計18名

⑤ コロナウィルス感染症

感染症対策期間：令和5年2月24日～3月3日（完全隔離期間）

コロナウィルス感染者数：児童1名・職員0名 計1名

コロナ感染者数 令和4年3月14日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	令和4年3月14日	2	0	5	陽性確定：児童2名PCR
2	令和4年3月15日	1	1	1	陽性確定：児童1名・職員1名PCR
3	令和4年3月16日	0	0	0	
4	令和4年3月17日	1	0	2	陽性確定：児童1名PCR
5	令和4年3月18日	0	0	0	
6	令和4年3月19日	0	0	0	
7	令和4年3月20日	0	0	0	
8	令和4年3月21日	0	1	0	陽性確定：職員1名抗原検査
9	令和4年3月22日	1	0	1	陽性確定：児童1名PCR
10	令和4年3月23日	0	0	0	
11	令和4年3月24日	0	0	0	
12	令和4年3月25日	0	1	0	陽性確定：職員1名PCR
13	令和4年3月26日	0	0	0	
14	令和4年3月27日	0	0	0	
15	令和4年3月28日	0	0	0	
16	令和4年3月29日	0	0	0	
17	令和4年3月30日	0	0	0	
18	令和4年3月31日	0	0	0	
19	令和4年4月1日	0	0	0	

コロナ感染者数 令和4年4月7日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	令和4年4月7日	0	0	0	
2	令和4年4月8日	2	0	2	陽性確定：児童2名PCR
3	令和4年4月9日	0	1	0	陽性確定：職員1名
4	令和4年4月10日	0	0	0	
5	令和4年4月11日	0	0	3	
6	令和4年4月12日	3	1	0	陽性確定：児童3名PCR 職員1名抗原検査
7	令和4年4月13日	0	0	0	
8	令和4年4月14日	0	0	0	
9	令和4年4月15日	1	0	1	陽性確定：児童1名抗原検査
10	令和4年4月16日	1	1	1	陽性確定：児童1名・職員1名抗原検査
11	令和4年4月17日	0	0	0	
12	令和4年4月18日	1	2	0	陽性確定：児童1名抗原検査 職員2名PCR
13	令和4年4月19日	0	0	0	
14	令和4年4月20日	0	0	0	
15	令和4年4月21日	0	0	0	
16	令和4年4月22日	0	0	0	
17	令和4年4月23日	0	0	0	
18	令和4年4月24日	0	0	0	
19	令和4年4月25日	0	0	0	
20	令和4年4月26日	0	0	0	
21	令和4年4月27日	0	0	0	
22	令和4年4月28日	0	0	0	
23	令和4年4月29日	0	0	0	

※令和4年4月7日発熱者の隔離を開始したので感染対策初日とした。

ヒトメタニューモウイルス感染者数 令和4年8月5日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	令和4年8月5日	0	0	0	
2	令和4年8月6日	0	0	0	
3	令和4年8月7日	0	0	0	
4	令和4年8月8日	7	0	7	
5	令和4年8月9日	2	0	2	
6	令和4年8月10日	3	0	5	
7	令和4年8月11日	0	0	0	
8	令和4年8月12日	1	0	6	
9	令和4年8月13日	0	0	0	
10	令和4年8月14日	0	0	0	
11	令和4年8月15日	1	0	1	
12	令和4年8月16日	0	0	0	
13	令和4年8月17日	0	0	0	

※令和4年8月5日発熱者の隔離を開始したので感染対策初日とした。

コロナ感染者数 令和5年1月11日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	令和5年1月11日	1	0	1	陽性確定：児童1名抗原検査
2	令和5年1月12日	0	0	0	
3	令和5年1月13日	3	0	3	陽性確定：児童3名抗原検査
4	令和5年1月14日	0	1	0	陽性確定：職員1名抗原検査
5	令和5年1月15日	0	1	0	陽性確定：職員1名抗原検査
6	令和5年1月16日	0	1	1	陽性確定：職員1名抗原検査
7	令和5年1月17日	1	0	1	陽性確定：児童1名抗原検査
8	令和5年1月18日	0	1	0	陽性確定：職員1名抗原検査
9	令和5年1月19日	2	0	2	陽性確定：児童2名抗原検査
10	令和5年1月20日	0	0	0	
11	令和5年1月21日	4	2	7	陽性確定：児童4名抗原検査 職員2名抗原検査
12	令和5年1月22日	0	0	0	
13	令和5年1月23日	0	1	0	陽性確定：職員1名抗原検査
14	令和5年1月24日	0	0	0	
15	令和5年1月25日	0	0	0	
16	令和5年1月26日	0	0	0	
17	令和5年1月27日	0	0	0	
18	令和5年1月28日	0	0	0	
19	令和5年1月29日	0	0	0	
20	令和5年1月30日	0	0	0	
21	令和5年1月31日	0	0	0	
22	令和5年2月1日	0	0	0	
23	令和5年2月2日	0	0	0	
24	令和5年2月3日	0	0	0	

コロナ感染者数 令和5年1月24日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	令和5年2月24日	1	0	1	陽性確定：児童1名抗原検査
2	令和5年2月25日	0	0	0	
3	令和5年2月26日	0	0	0	
4	令和5年2月27日	0	0	0	
5	令和5年2月28日	0	0	0	
6	令和5年3月1日	0	0	0	
7	令和5年3月2日	0	0	0	
8	令和5年3月3日	0	0	0	

(5) 事故記録等

(5)-①事故の記録 総事故数 51 件 (対象児童 51 名) 通院児童 6 名

No.	事故内容	件数	通院数	事故・通院状況・診断等
1	はさみこみ等	1	0	他児がドアを閉めて、ドアに指が挟まる
2	転落	1	1	避難車から転落する(通院)
3	衝突・転倒	26	4	走っていて転倒し、前歯から出血(通院)、バランスを崩して頭を柵にぶつける(通院)等
4	創傷・裂傷	8	0	サランラップを手でつかんで出血等
5	誤飲・誤食	1	0	便からシールが出てくる
6	誤配食	0	0	
7	誤投薬	1	1	他児の内服薬を投薬する
8	不投薬	4	0	内服予定の薬を破棄する、投薬忘れ
9	その他	9	0	昼食のチーズのフィルム片が入っていた、児童が職員の付き添いなく階段を降りる等
合計		51	6	

(5)-②児童間の事故 総報告数 323 件 通院児童 0 名

No.	事故内容	件数	通院数	事故・通院状況・診断等
1	噛みつき	293	0	相手、状況不明の噛み傷多数
2	ひっかき(創傷)・つねる	27	0	相手、状況不明のひっかき傷多数
3	自傷等	0	0	
4	その他	3	0	他児に玩具で叩かれる、他児が投げた玩具が当たる
合計		323	0	

(5)-③インシデントレポート(ヒヤリハット) 総数 5 件

No.	年月日	発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応	備考
1	令和4年4月1日	乳児室	記載なし	児童がベッドに登ってしまうため椅子に座らせると自ら床を蹴り、椅子ごと倒れる。	直前で受け止めたため怪我はなし。	
2	令和4年4月25日	芝生	10:00	児童が砂場の端から緑のシートに向かってジャンプして入った際に滑って仰向けに転倒する。頭をぶつけることはなかったが、今後同様の事が起こり、子どもが頭部を強打する可能性がある。	副園長へ事後報告を行う。 後日砂場の枠をクッション性のある物に交換した。	
3	令和4年6月27日	乳児室	14:15	午後のおやつの際、他児のスナック菓子(本児はおこさませんべい)のお皿をテーブルに置いてしまい、乳児がスナック菓子を手に取ってしまう。	口に入れる前に気づき、ただしおやつを提供する。E総であり、1人でのおやつ介助であったため、確認が足りなかった。厨房でつけてくれている紙と本人確認をしっかりと行う必要がある。	
4	令和4年9月8日	プレイルーム	16:00	午後のおやつを食べ終わった後のプレイルームで、個人の玩具を出して遊んでいた所、入浴介助のために来た職員が床に落ちていたネジを発見する。	ネジの外れた玩具を見つけ、ドライバーで固定し直した。今後子どもの誤飲につながるために、玩具を出す際にはネジの緩みに注意を向けてから出すようにする。遊んでいる最中にも床に落下物がないか気を配るようにする。	
5	令和4年10月20日	廊下	10:20	芝生からプレイルームに入った際、プレイルームと廊下の間の柵と裏玄関と廊下の間の柵が開いており、児童が階段付近まで行く。	プレイルームに入る際、ベビーの職員がいたため、子どもたちをプレイルームに入るように促したが、一声掛けてから入室させる事、柵の確認も必ず行うように心がける。	

資料3 令和4年度 園外保育実施実績

令和4年度も、コロナウィルス感染症の対策を優先したため従来の園外保育は実施しませんでした。子ども達の息抜きを兼ねた、近場へのお出かけ程度の外出などを合計8回行いました。なお移動は、バスや電車などの公共の交通機関は使用せず、全て公用車や徒歩で行いました。

(1) -① 園外保育の実績

年月日	行き先・目的等	児童数	職員数	備考
令和4年5月31日	パンの国	2	2	公用車使用
令和4年6月7日	江戸屋(富士宮パン屋)	6	6	公用車使用
令和4年6月15日	・う宮〜な ・田貫湖	4	4	公用車使用
令和4年6月28日	富士サファリパーク	6	6	公用車使用
令和4年7月12日	・今宮ふれあい公園	6	6	公用車使用
令和4年10月17日	・広見公園 ・不二家レストラン ・ミニストップ	10	10	公用車使用
令和4年11月29日	・ドンキホーテ ・消防署 ・警察署	6	6	公用車使用
令和5年2月17日	・ドンキホーテ	2	2	公用車使用
延人数		42	42	

(1) -② 誕生会・お楽しみ会

- ① 誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ② お楽しみ会(月1回)…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。

○クリスマス：令和4年12月23日



資料4 令和4年度 お楽しみ会行事献立及び、年間給食数

(単位:人)

月	日	行事食献立	年間延人員、各月給食数	
			延在籍児数	延食数
4	8	お花のおにぎり、から揚げ、卵焼き、桜ピック野菜、アンパンマンポテト、ゼリー、野菜ジュース	526	1,796
5	5	チキンカレー、かぶと春巻き、ブロッコリーのホットサラダ、野菜ジュース、柏餅風白玉だんご	497	1,600
6	4	カエルのおにぎり、ハンバーグ、カタツムリ型サラダ、ポテト、フルーツポンチ	423	1,464
7	7	天の川そばろ井、コロッケ、星の餃子の皮ピザ、フレンチサラダ、そうめん汁、七夕ゼリー	411	1,565
8	9	焼きそば、ポテト、から揚げ、トマト、フランクフルト、とうもろこし、スイカ、チョコバナナ、らくがきせんべい、野菜ジュース	467	1,518
9	8	花型チャーハン、華シューマイ、アンパンマンポテト、春雨サラダ、野菜スープ、フルーツゼリー	451	1,583
10	11	サンドイッチ、から揚げ、かぼちのサラダ、トマト、アンパンマンポテト、野菜ジュース、スイートポテト	528	1,631
11	8	おにぎり、キッシュ、のり塩チキン、うずらのベーコン巻き、トマト、ブロッコリー、フルーツロール、野菜ジュース	465	1,425
12	23	アンパンマンのサンタクロースおにぎり、雪だるまのマッシュポテト、イルミネーションサラダ、ハンバーグ、星クルトン入りコーンスープ、リースドーナツ	436	1,441
1	5	ちらし寿司、照り焼きチキン、ポテトサラダ、だるまさん、チーズ竹輪・きゅうり竹輪、そうめん汁、クレープ	437	1,563
2	3	おにのパンツ柄恵方巻(ケチャップライス)、ポップコーンチキン、大豆とじゃこの甘辛煮、ブロッコリーの和風マヨ和え、赤ウインナーの金棒、野菜スープ、おにのプリン	450	1,517
3	3	桃の花サンド、白身魚のコンソメフライ、ニンジンバターコーンと和え、フライドポテト、パンプキンスープ(花クルトン)、三色白玉のフルーツパフェ	469	1,579
合計			5,560	18,682



資料5 令和4年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練(夜間想定訓練 2回) ※消火訓練は毎月実施した。

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	令和4年4月29日	9:00～	児童18名・職員16名	
2	令和4年7月7日	9:00～	児童16名・職員2名	夜間想定
3	令和5年1月5日	8:50～	児童13名・職員2名	夜間想定
4	令和5年3月9日	9:00～	児童14名・職員17名	

(2)火災想定避難訓練(夜間想定訓練 0回) ※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う。

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	令和4年5月12日	9:00～	児童14名・職員11名	通報訓練
2	令和4年8月4日	9:00～	児童14名・職員15名・実習生1名	通報訓練
3	令和4年6月3日	9:00～	児童15名・職員16名	通報訓練
4	令和4年10月6日	9:00～	児童14名・職員13名	通報訓練
5	令和4年12月1日	9:00～	児童12名・職員15名・実習生2名	通報訓練
6	令和5年2月2日	9:00～	児童5名・職員14名 ※コロナ隔離中のため乳児のみ	通報訓練

(3)総合防災訓練 (訓練回数 2回)

	実施日	実施時間	内容・参加人員等	備考
1	令和4年9月1日	9:00～16:00	児童13名・職員20名 避難訓練・消火訓練・炊き出し訓練・防災倉庫内備品の点検と入替	
2	令和4年11月4日	8:00～17:00	児童16名・職員20名 避難訓練・消火訓練・炊き出し訓練・防災倉庫内備品の点検と入替	

(4)職員間通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練(実施回数・法人 12回)

	実施日	実施回数	参加人員・訓練内容等	備考
1	令和4年：4/1・ 5/1・6/1・7/1・ 8/1・9/1・10/1・ 11/1・12/1 令和5年：1/4・ 2/1・3/1	12回	災害安否コールシステムを使用した通報・安全確認訓練(全職員)	※法人 全職員対象

(5)防災用備品の点検・整備等（実施回数2回）

	実施日	開始時間	内容	備考
1	令和4年9月1日	13:30～	防災倉庫内備品の点検・入替	
2	令和4年11月4日	13:00～	防災倉庫内備品の点検・入替	

総合防災訓練時の設営訓練・避難訓練・炊き出し訓練・消火訓練等:令和4年9月1日・11月4日



(6)不審者対応訓練 ※芝生園庭に避難した時に実施(実施回数:2回)

	実施日	実施回数	訓練内容等	備考
1	令和4年:4/29・ 6/2・7/7・11/4	4	避難訓練終了後、芝生園庭に不審者が侵入したことを想定し、入所児童をプレイルームに避難させる。	

(7)防災型自家用発電機の点検・整備等（実施回数1回）

	実施日	実施時間	内容	備考
1	令和4年7月25日	9:00～16:00	模擬停電をして自動起動・自動切換の確認、7時間の稼働と燃料消費の確認	

資料6 令和4年度 保守点検実施表

点検項目	業者名	点検年月日	
電気工作物	関東電気保安協会	R4.4.6	年6回
		R4.6.7	
		R4.8.3	
		R4.10.4	
		R4.12.2	
		R5.2.6	
消防設備	サンコー防災（消防用設備点検）	R4.6.15	年2回
		R4.10.31	
	富士消防用品（消火器点検）	R4.6.1	年2回
		R4.11.16	
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	R4.4.28	年2回
		R4.11.21	
園舎 殺菌消毒	(株) 大富士ダスキンターミニック	R4.6.28	年2回
		R4.11.4	
防鼠点検 厨房・食堂		R4.4.22	毎月
		R4.5.27	
		R4.6.24	
		R4.7.22	
		R4.8.26	
		R4.9.30	
		R4.10.28	
		R4.11.25	
		R4.12.23	
		R5.1.27	
		R5.2.24	
		R5.3.31	
園舎ゴキブリ殺虫施工		R4.5.13	年2回
		R4.10.17	
布団乾燥機	(株) Manamana	R4.10.10	コロナのため 年2回が1回だった
貯水槽清掃	ニッケン消毒（株）	R5.3.18	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	R4.11.15	年1回
昇降機リフト	クマリフト株式会社	R5.2.17	年1回
建築設備等定期検査	(株) 平柳建設設計事務所	R4.11.15	年1回
防火扉定期検査	サンコー防災	R4.11.22	年1回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム（株）	必要に応じて依頼	
事務機器	(株) NET		
	(株) ティーケーシステム		
電解水「守る水」	株式会社 アオノ	4/11, 5/17, 6/10	毎月
		7/20, 8/22, 9/15	
		10/10, 11/7, 12/16	
		1/11, 2/9, 3/3	
手指消毒器点検	(株) サラヤ	R4.5.25	年2回
		R4.12.18	

資料7 令和2年度 研修会、会議等参加実績

1. 外部研修参加実績: (1)～(3) : 33 企画 ・ 62 名参加

(1) 業界団体等主催等の研修会 10 回 17 名参加

区分	N0.	開催日（期間）	主催者等	研 修 名	開催場所	参加人数
業界団体等 県外研修	1	5月26日	県乳協	看護研修会	静岡乳児院	2
	2	6月9日～10日	関東ブ ロック	第56回関東ブロック乳児院研究協議会	甲府市	1
	3	7月25日	全乳協	第65回全国乳児院研修会	オンライン	1
	4	10月6日～7日	全乳協	第71回全国乳児院協議会	オンライン	1
	5	11月10日～11日	関東ブ ロック	第39回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	新潟市	3
	6	11月16日	県乳協	栄養・調理研修会	オンライン	2
	7	2月1日～17日	全乳協	第4回乳児院医療・看護セミナー	オンライン	1
	8	2月11日～12日	全社協	令和4年度ファミリーソーシャルワーク研修会	子どもの虹研修センター	1
	9	2月25日	県乳協	養育研修会	オンライン	4
	10	3月13日	全社協	退所児童等支援事業全国セミナー	灘尾ホール	1

(2) その他の県外団体主催研修会 5 回 11 名参加

区分	N0.	開催日（期間）	主催者等	研 修 名	開催場所	参加人数
その他	1	6月18日、7月24日 7月31日、8月6日	アレルギー支援 ネットワーク	2022年度 第17期アレルギー大学 基礎・初級	オンライン	4
	2	9月10日、10月1日	アレルギー支援 ネットワーク	2022年度 アレルギー大学 中級講座	オンライン	2
	3	2月4日	日本栄養士会	2022年度スキルアップ研修 食物アレルギーの基礎知識と最新情報を学ぶ	オンライン	1
	4	2月4日、3月4日	日本精神衛生学会	日常生活での支援に活かす・ 家族再統合支援に活かすリスクマネジメント	オンライン	2
	5	3月18日～19日	日本アレルギー学会	第9回総合アレルギー講習会	オンライン	2

(3) 県内研修会 18回 34名参加

区分	NO.	開催日(期間)	主催者等	研 修 名	開催場所	参加人数
県内研修会	1	5月20日	その他	静岡県給食協会 令和4年度総会及び講習会	富士ロゼシアター	1
	2	6月14日	県養協	新任職員研修会	オンライン	2
	3	6月20日	その他	静岡県給食協会 R4衛生・栄養管理講習会	オンライン	1
	4	7月14日	静岡県	静岡県児童相談所児童心理等研修会	オンライン	1
	5	7月14日～7月31日	県社協	令和4年度 社会福祉法人施設事務員経理基礎講座	オンライン	1
	6	8月17日～9月7日	県社協	施設事務員職員経理応用講座	オンライン	1
	7	9月16日～29日	県社協	R4社会福祉法人 予算管理講座	オンライン	1
	8	9月20日 10月5日～6日	その他	R4年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者コース(東部)	三島商工会議所	3
	9	10月18日～30日	県社協	施設事務職員会計実務専門講座	オンライン	1
	10	11月15日～28日	県社協	施設事務職員税務実務講座	オンライン	2
	11	11月16日～11月30日	その他	社会福祉施設等職員防災研修会	オンライン	1
	12	11月21日	その他	静岡県給食協会 令和4年度ノロウイルス衛生講習会	オンライン	1
	13	12月3日	静岡県	子ども虐待対応・医学診断研修会	オンライン	1
	14	12月14日～25日	県社協	令和4年度社会福祉法人 財務管理講座	オンライン	1
	15	2月8日～28日	県社協	県社協 令和4年度 決算実務講座	オンライン	1
	16	1月28日	県社協	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	オンライン	1
	17	2月7日	県社協	働きやすい保育現場づくり	オンライン	1
	18	5月～2月	その他	静岡大学 心理職フォローアップ研修	静岡大学	13

2. 法人内研修参加実績：7 企画 ・ 34 名参加

(4) 法人内研修会 7 回 34 名参加

区分	N0.	開催日	主催者等	研 修 名	開催場所	参加人数
法人内 研修会	1	4月5日	法人本部	法人 令和4年度新任職員研修会	ひまわり園	4
	2	11月9日	法人本部	法人 令和4年度ハラスメント研修	オンライン	5
	3	11月18日	安全衛生委員会	感染伝達講習会	みぎわ園	2
	4	11月21日	安全衛生委員会	感染伝達講習会	みぎわ園	2
	5	11月30日	法人本部	法人 令和4年度ハラスメント研修	オンライン	5
	6	2月22日	応急手当普及員	法人 普通救急救命講習	みどり園	7
	7	3月8日	応急手当普及員	法人 普通救急救命講習	みどり園	9

3. 施設内独自研修会・勉強会開催実績：11 企画・82 名参加

(5) 施設内独自研修会・勉強会 12 回 86 名参加

区分	N0.	開催日	主催・講師等	研 修 名	開催場所	参加人数
施設内 独自研修会・勉強会	1	4月1日	施設長	新任職員研修	みどり園	4
	2	4月7日	看護師	新任職員基礎教育	みどり園	2
	3	4月	看護師	新型コロナウイルス抗原検査キット使用方法	みどり園	3
	4	5月25日～26日	看護師	爪切り	みどり園	13
	5	6月23日～24日	看護師	脱水予防のための水分補給	みどり園	9
	6	6月	看護師	ガウンテクニック	みどり園	2
	7	8月、11月 12月、3月	看護師	救急処置	みどり園	8
	8	8月3日	看護師	新任職員基礎教育	みどり園	3
	9	10月、11月、3月	看護師	118、AEDの点検について	みどり園	5
	10	11月24日～25日	看護師	嘔吐下痢時の水分補給	みどり園	14
	11	12月	看護師	吐物処理	みどり園	4
	12	12月23日	看護師	吐物処理	みどり園	19

(5) 法人・施設内会議・委員会

法人会議:37回:施設内会議:89回・委員会:33回 合計159回

会議名	開催日/開催回数							備考
施設長会議	4月20日	5月16日	6月13日	7月20日	8月17日	9月21日	12回	法人会議 ※施設長出席
	10月19日	11月16日	12月21日	1月18日	2月15日	3月15日		
法人企画会議	4月12日	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日	12回	法人会議 ※養育課長出席
	10月12日	11月9日	12月14日	1月11日	2月8日	3月8日		
安全衛生委員会	4月28日	5月26日	6月23日	7月28日	9月22日	10月14日	13回	法人会議 ※助産師出席
	11月18日	11月21日	11月22日	12月22日	1月26日	2月24日		
	3月23日							
代表者会議	4月21日	5月19日	6月16日	7月21日	8月22日	9月22日	12回	主任以上
	10月20日	11月17日	12月22日	1月19日	2月14日	3月17日		
指導職会議	コロナ対策中止	5月17日	6月10日	コロナ対策中止	8月15日	9月9日	9回	副主任以上
	10月19日	11月14日	12月19日	コロナ対策中止	2月13日	3月14日		
月例会	コロナ対策中止	5月30日	6月27日	7月25日	8月29日	9月26日	10回	夜勤者以外 原則全員参加
	10月31日	11月28日	12月26日	1月30日	コロナ対策中止	3月27日		
ユニット会議	5月26日	5月30日	6月23日	7月23日	7月24日	8月24日	19回	ユニット職員 厨房職員 副主任以上
	8月26日	9月24日	9月26日	10月26日	10月27日	11月25日		
	12月23日	2月23日	2月24日	3月23日	3月24日			
ケース会議	コロナ対策中止	5月30日	6月27日	7月25日	8月29日	9月26日	10回	直接処遇職員 厨房職員
	10月31日	11月28日	12月26日	1月30日	コロナ対策中止	3月27日		
給食会議	コロナ対策中止	5月30日	6月27日	8月9日	8月29日	9月26日	11回	厨房職員 指導職以上1名
	10月31日	11月28日	12月26日	1月30日	2月27日	3月27日		
看護師会議	4月1日	4月8日	4月28日	5月30日	6月27日	8月4日	18回	看護師・助産師
	8月29日	9月26日	10月31日	11月28日	1月11日	1月14日		
	1月21日	2月4日	2月24日	2月27日	3月4日	3月27日		
感染症対策委員会	5月24日	7月15日	9月16日	11月21日	1月13日	2月16日	7回	※委員を選任
	3月17日							
防災委員会	6月17日	8月4日	10月6日	12月1日	2月2日	3月9日	6回	※委員を選任
第三者評価 自己評価委員会	6月22日	7月26日	8月17日	9月11日	10月12日	10月20日	8回	全体会
	11月18日	3月13日						
リスクマネジメント委員会	4月21日	5月19日	6月16日	7月21日	8月22日	9月22日	12回	主任以上+選任委員
	10月20日	11月17日	12月22日	1月19日	2月14日	3月17日		

資料 8 令和 4 年度 実習生の受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (5 校 20 名 延べ 211 日)

学校名	実習期間	人数	延人数	備考
東海こども専門学校	令和 4 年 5 月 9 日～5 月 19 日	2	22	
常葉大学	令和 4 年 5 月 23 日～6 月 1 日	2	20	
常葉大学	令和 4 年 7 月 31 日～8 月 9 日	2	20	
常葉大学	令和 4 年 8 月 10 日～8 月 19 日	2	20	
常葉大学	令和 4 年 8 月 20 日～8 月 29 日	1	10	
静岡福祉大学	令和 4 年 9 月 7 日～9 月 19 日	1	13	
静岡福祉大学	令和 4 年 9 月 18 日～9 月 29 日	1	12	
常葉大学	令和 4 年 10 月 1 日～10 月 10 日	1	10	
常葉短期大学	令和 4 年 10 月 21 日～10 月 30 日	2	20	
常葉短期大学	令和 4 年 11 月 7 日～11 月 16 日	1	10	
常葉短期大学	令和 4 年 11 月 18 日～11 月 27 日	2	20	
鎌倉女子大学	令和 4 年 11 月 28 日～12 月 9 日	2	24	
常葉短期大学	令和 4 年 12 月 11 日～12 月 20 日	1	10	
合計		20	211	

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 83 件(外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 2 件 82 回
3. 里親研修 1 件 5 回
4. 教員体験実習 0 件
5. 自主実習 (人数・延べ日数) 0 件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

※コロナウィルス感染症対策のため受け入れ中止

(1) ボランティア受け入れ実績 総数 0 名

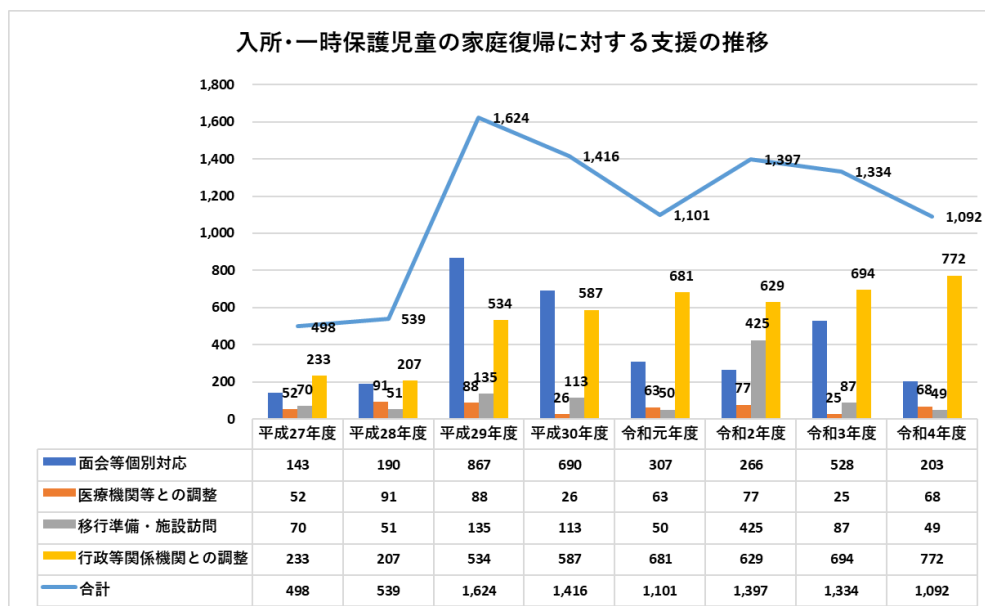
1. 吉原高校ボランティア 中止
2. 大学生ボランティア 中止
3. その他のボランティア 中止

資料 10 家庭・家族支援の状況について

(1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所(処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る)、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数 1,092 件

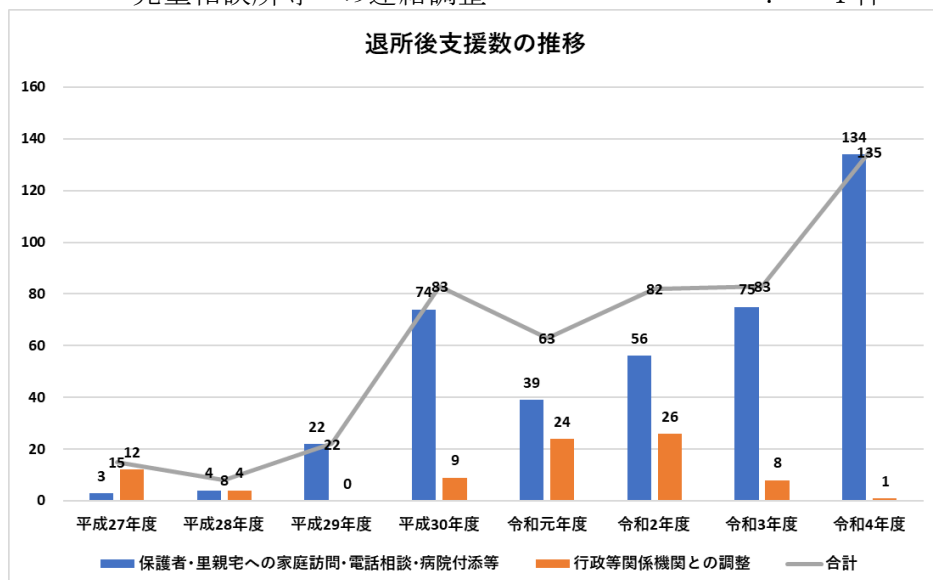


(2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数 135 件

(内訳) 保護者・里親の家庭訪問・電話相談・病院付添等 : 134 件
児童相談所等への連絡調整 : 1 件



(3)子育て短期支援事業(ショートステイ)について

富士市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業を富士市と契約し実施しました。

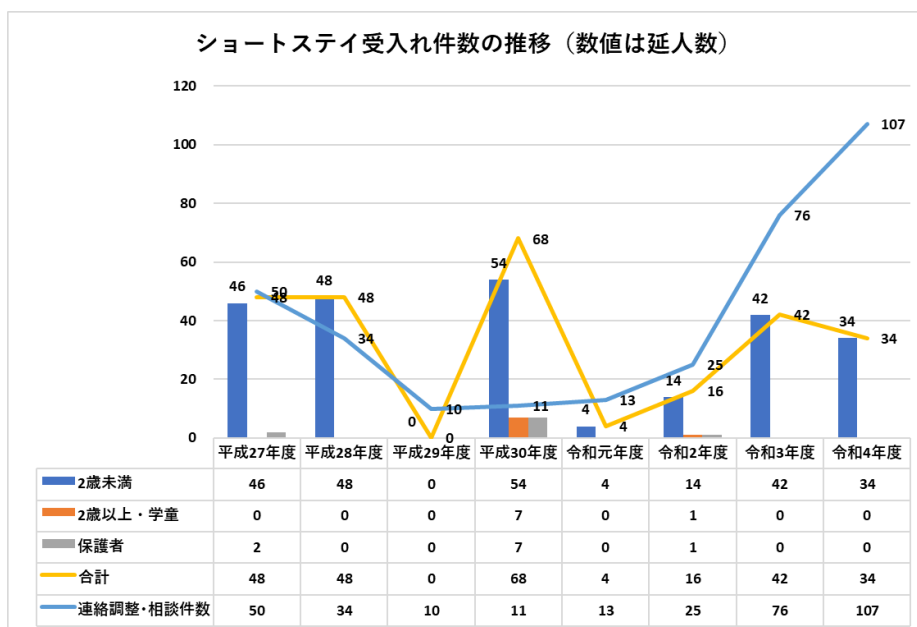
コロナウィルス等の感染症対策のため1週間の隔離対応を実施しました。

令和2年度は4件の受入れを行いました。

連絡調整及び相談件数 1073件

※ショートステイ受け入れ件数 富士市:5名(乳幼児5名・学童0名・母親0名)

延日数: 34日



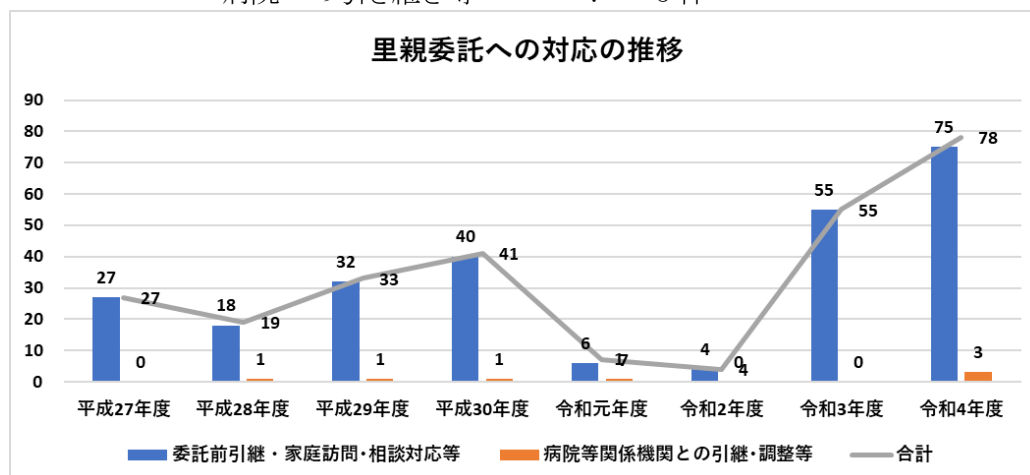
(4)里親委託への対応

コロナウィルス感染症対応のため委託前の交流が中断し、委託迄に時間が掛かりましたが無事に委託することができました。

連絡調整及び相談等の件数 78件

(内訳) 委託前引継ぎ・家庭訪問・相談 : 753件

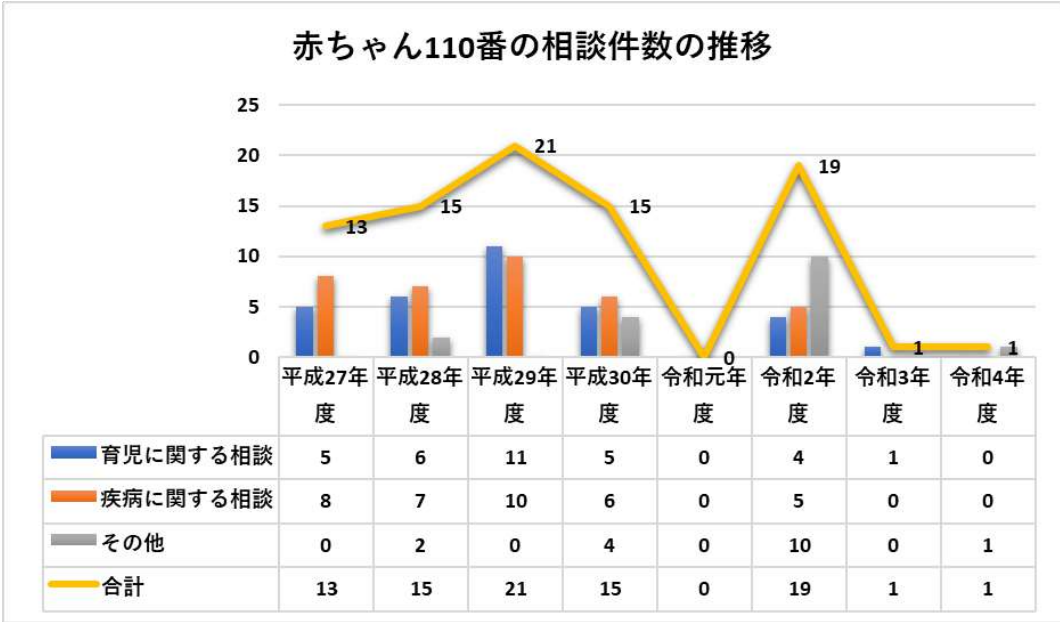
病院への引き継ぎ等 : 3件



(5) 電話による育児相談 0 件

赤ちゃん 110 番電話相談の体制を整えておりましたが、一般家庭からの電話による育児相談はありませんでした。

(内訳) 育児に関する相談 : 0 件 (授乳・夜泣き等)
疾病に関する相談 : 0 件 (子どもの疾病を疑う相談等)
その他の相談 : 1 件 (一般からの入所相談等)



資料11 令和4年度 施設整備、改修・修繕工事等報告

施設整備等一覧

1. 固定資産計上取得物品等

①建物・建物取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
無			

②機械及び装置取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
勤怠管理システム ピットタッチ・Pro2	1	玄関 @141,000.-	141,000

③器具備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
無			

④機械及び装置 除却

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	期末帳簿額
無			

2. 器具備品・施設整備取替・補修等工事(10万円以上)

実 施 内 容	金 額
勤怠管理クラウド	204,500+税
アルコール検知システム	初期導入費用 59,900 月額使用料 2,900
園庭遊具の修理	167,420
プレイルームガラスの取り替え	132,000
感知器の取り替え修繕	103,000
芝生園庭砂場枠の取り替え修繕	167,000
新型コロナウイルス抗原検査キット	291,200

資料 12 施設運営改善等

令和4年度 運営等改善報告

(1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情・要望等 3 件（苦情対応3件・要望0件）

区分	内容	件数	
苦情対応	保護者への連絡体制について	1	3
	広報誌寄附欄への不掲載について	1	
	児童相談所への苦情	1	

① 苦情対応の内容について(3 件)

No.	区分	発生年月日	申出人	内容	対応	備考
1	苦情	令和4年11月4日	保護者	本児が怪我をしたため、受診したことを報告するのに児童相談所経由で行っていたが上手に伝わらなかった。父は、児童相談所経由ではなく直接電話にて説明して欲しいと希望していたが、電話しなかった。	児童相談所課長に直接謝罪に行った。父には、電話にて状況説明し理解していただいた。今後は直ちに電話にて対応する。	
2	苦情	令和5年1月30日	寄附者	クリスマス献金を受診で来訪した職員に預けたが、広報誌寄附欄に氏名がない。しっかり職員が施設に持ち帰ったのか心配であると電話にてお叱りを受ける。	法人本部に入電されたため、みどり園にて確認し謝罪の電話をした。次回の広報誌に掲載させていただく旨お伝えした。	
3	苦情	令和5年2月24日	受診病院	一時保護の子どもの検尿便の採取を児童相談所から依頼され、採取日中に病院へ提出するよう児童相談所に依頼した。しかし、児童相談所は採取日中の提出を失念し、後日提出したため病院側から「これいつ採ったの？こんなやり方では困る。」と注意を受けた。	一時保護の子どもは、児童相談所が対応する旨を病院にお伝えし、謝罪した。児童相談所のケースワーカーに説明し、病院へ検尿便の再提出時に謝罪をしていただいた。	

(2)人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、令和5年度の職員の給与へ反映させました。

(3)自己評価・社会的養護関係施設第三者評価

令和4年度も自己評価・第三者評価委員会が中心となり、年間7回の自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、社会的養護第三者評価を受審しました。

自己評価委員会： 年7回実施

社会的養護関係施設第三者評価受審日： 令和4年11月18日(金)

添付資料：社会的養護関係施設第三者評価受審結果

第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

株式会社 中部評価センター

②評価調査者研修修了番号

SK2021147

SK2021146

③施設名等

名称	恩賜記念みどり園
施設長氏名	内藤 好彦
定員	25名
所在地(都道府県)	静岡県
所在地(市町村以下)	富士市今泉2220番地
T E L	0545-53-5665
U R L	http://fuyoukai.org/facility/midorien.html
【施設の概要】	
開設年月日	1952/3/31
経営法人・設置主体(法人名等)	社会福祉法人 芙蓉会
職員数 常勤職員	27名
職員数 非常勤職員	10名
有資格職員の名称(ア)	保育士
上記有資格職員の人数	15名
有資格職員の名称(イ)	理学療法士
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(ウ)	教員
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(エ)	看護師
上記有資格職員の人数	5名
有資格職員の名称(オ)	栄養士
上記有資格職員の人数	3名
有資格職員の名称(カ)	公認心理士
上記有資格職員の人数	1名
施設設備の概要(ア)居室数	6室
施設設備の概要(イ)設備等	プレイルーム・食堂
施設設備の概要(ウ)	小規模和室
施設設備の概要(エ)	

④理念・基本方針

★理念

法人創立理念

「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」

キリスト教の隣人愛・慈善博愛の精神に基づく、利用者至上主義を基本とする

みどり園養育理念

1. 赤ちゃんたちの権利を守ろう (権利擁護)
2. 良いことは何でもやってみよう (最善の利益の追求)
3. いっぱい愛し、伸び伸び育てよう

★基本方針

- ・ いかなる時も子ども最優先の対応を心がける
- ・ 信頼関係を基に、愛される喜び、愛する喜びをスキンシップを通じて感性を刺激し、心豊かな人間性を育む。
- ・ 基本的な生活習慣と自立の礎は、生活体験の中から生まれることを基本として養育する。
- ・ 園外保育等を通じ、社会性が助長されるよう養育する。
- ・ 個性豊かな人間形成を目指し、個々にあった指導養育を一貫して行う。

⑤施設の特徴的な取組

- ・ パーマネンシーを重視した措置変更を心掛けている。措置変更の際、子どもたちの心・気持ちを繋ぐため、移行先である施設や里親との交流に特に時間をかけ、子どもたちの安心感・自己肯定感の育成に取り組んでいる。
- ・ 社会貢献事業として、富士市のショートステイ事業を受託したり、赤ちゃん110番電話相談事業を実施、また近隣の高齢者を対象とした買い物送迎支援を月4回職員を派遣している。
- ・ 現在コロナで中止しているが、ホームカミングデイとして退所児童や旧職員を園に招いての交流を実施。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2022/7/11	
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2023/1/30	
前回の受審時期(評価結果確定年度)	令和元年度(和暦)	

⑦総評

◇特に評価の高い点

◆改善点に取り組む姿勢とチーム力の向上

前回の第三者評価における改善指摘を真摯に受け止め、養育理念や方針に沿う形で改善を試みた取組みが今回の自己評価から窺える。職員一人ひとりの自己評価をベースに、組織全体の評価を組み合わせ、改善点には施設全体で取り組んでいる。自己評価委員会の仕組みが必然的にPDCAサイクルの流れを作り、チーム力向上に結びついている。この3年間で、「チームワークが向上している」と、各階層の職員それぞれの声を聞くことができた。

◆確固たる信念

理念は養育支援の方向性を示す施設の中核であり、目標の最終到達点となるべきである。社会的養護の養育理念「子どもの最善の利益」は園の養育理念そのもので、社会情勢の変化や関係機関、地域との関わりにおいて最大限協調しつつも「子ども最優先」の姿勢は崩していない。経営上の負担に苦慮しながらも、目標達成や課題克服に向けて多角的に力を振り絞るリーダー（園長）の姿勢が、職員の信頼を生み安心感に結びついている。

◆養育環境への拘り

職員が子どもの養育に専念できる環境を整えることは、子どもの最善の利益において必要不可欠であると考えている。オゾン殺菌や観察室などの設備面の配慮だけでなく、子どもの五感を重視したルールが数多くある。これらの子どもたちへの配慮はもとより、職員の働きやすさへの配慮も同等に行っていく方針を持っている。

◆養育・支援内容について

各種規程やマニュアルは完備されており、それに基づいて職員は支援している。言葉を発することの難しい小さな子どもへの心遣いも確認されている。アンパンマンなどのキャラクターが様々な場所に貼ってあったり、隠れミッキーもそこそこに潜んでいる。それらを探る楽しさもある。子ども一人ひとりの持ち物に動物のシールが貼ってあり、文字の読めない子どもでも、自分の持ち物であると理解することができる。日々の子どもへの支援や家族支援などが書類に書かれており、一人ひとりの子どもにあった支援が行われていることが窺える。

◇改善を求められる点

◆経営課題克服と土台作り

目標達成や課題克服に向けて、多角的に取り組みながらも法令や制度に苦しめられている。その中で、「子ども最優先」の姿勢を貫くことが経営上の負担となっていることを、事実として受け止めている。将来的に経営課題を克服するための要因の一つに、「園の土台作り」が挙げられる。主要職員がチーム力の向上を実感していることから、園の考えと方向性の本質的な部分を職員が理解し始めている証である。土台となる職員の育成とチーム力の強化に期待したい。

◆若手職員の育成について

施設運営の土台となる職員の育成とチーム力を強化していくためには、今後、若手職員の育成が課題となることが想定される。現場で学ぶOJTを実施する中で、結果的にベテラン職員が動くことがないように、気づきや想像力が弱い職員への対応についての策を職員全員で話し合うことが望まれる。

◆ボランティアの受入れについて

「管理規定」には、「入所児に鑑みて慎重な配慮のもと実施する」と記載されている。ボランティアを受け入れる必要性として、果たして慎重な配慮を必要とする（高リスク）ボランティアの受入れが、子どもの最善の利益にどう結び付くのかなど、園として消極的である点や合点がいけない部分を踏まえて、組織としての考えをまとめておきたい。上層職員の消極的な姿勢は、現場職員の不安や自信喪失に繋がる恐れがあることから、完全小規模グループ化に向けて養育形態を検討する段階で再考しておきたい。「子ども最優先」の姿勢を貫く意味でも、必要なボランティアの定義や基本姿勢を明確にすることが期待される。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

このたびの第三者評価の結果を真摯に受け止め、認可以来71年余の当園の歴史に基づく、養育技術の再検証を行い、後世に伝承すべきものを精査しながら、乳幼児の安心・安全を守る最後の砦として乳児院の役割を果たすべく、今後の支援環境の整備等に努めていきたいと思っております。

⑨第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果	自己評価
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

外部への発信ツールであるホームページや入所時のパンフレットのリニューアルにより、法人の考え方、また理念や方針が大変分かりやすく工夫されている。職員への周知としては、入職時のオリエンテーションや新人研修において園長から話す時間を設けている。入職後は、面接時や定期的な会議の場で繰り返し意識付けを行っている。緊急保護による入所の場合には、児童相談所経由で保護者にパンフレットが渡されている。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果	自己評価
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

法令や制度に施設が苦しめられている現状があり、情勢の変化によって苦慮の連続であるが、子どもの最善の利益を追求するための養育支援に徹している。法人理事長である園長は、全国乳児福祉協議会及び静岡県乳児福祉協議会において事業運営に関わる国レベルの最新情報を入手できる立場にある。法人全体を把握しながら、園にとっての最善について冷静に考えている。

② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a	a
-----------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

全ての子どもにとって最善の利益となるように、園においても「よいことは何でもやってみよう」を養育理念の一つとしている。約半年の移行準備を淡々と進めるのではなく、個々の子どもの最善について十分検討するために準備期間を前倒しして長めに設けている。充実した支援を行うことは園にとって大きな負担であるが、子どもに十分手をかける事が子どもの成長と未来に繋がると考え、子どもを守る大人の義務を全うするべく前向きに支援している。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果	自己評価
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

当初は分園型小規模施設の建設計画として進めていたが、本体施設の老朽化による改築が必要となったことにより、本体施設内の完全小規模グループ化と乳幼児総合支援センターの建設に計画を修正することになった。令和4年度に具体的な計画策定を行い、令和5年度に申請、令和6年度に改築実施を予定している。国のビジョンや県の推進計画を受け、思うように事が運ばない中でも可能な限り良い方向に導こうとする姿勢が窺える。

② 5 中・長期計画を踏まえた半年度の計画が策定されている。	a	a
--------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

中・長期計画として乳児院の高機能化と多機能化を進める中で、国内での養育支援として特に障害や発達の違いのある子どもたちへのリハビリテーションを充実させたいとの思いがある。その第一歩として、常勤職員としてPT（理学療法士）を迎えたことで、徐々に養育の幅を広げることが可能となっている。新園舎建設による完全小規模グループ化に向けた養育形態の検討、また、事業継続を見据えた人材の確保や養成も事業計画に折り込んでいく。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

事業計画には事業に関する単年計画に加えて、養育支援に関する基本目標を設定している。基本目標は具体的な実施目標を示している。年度末に内容を見直し、修正箇所の更新を行って次年度の事業計画に繋げている。職員全員が毎年自己評価を実施し、自己評価委員会が結果を踏まえて園内の養育状況等の検証や見直しを行い、事業計画に反映させている。自己評価委員は上層職員による指名制で、任期2年で交代している。

	② 7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
--	-------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

事業報告を保護者に周知する必要性を考えた時に、乳児院においては「子どもへの施設の思いを保護者にどの程度伝えられるか」に置き変えてこそ意味が有る、との考えに落ち着いた。圖では、養育支援の見直しと改善を繰り返し行い、子どもにとっての最善の選択が「保護者が安心する支援」となるように努めている。入所案内が保護者の手元に渡るタイミングで「保護者が安心する支援内容」を伝えるなどの取組みを行うことで、事業計画内の養育支援目標の周知を行ったと判断する事が可能となる。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果	自己評価
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

自己評価委員会が中心となり、毎年の自己評価結果を取りまとめて3年毎の第三者評価にも臨んでいる。自己評価項目は第三者評価に沿っているが、特筆すべきは、各項目の評価の有効性と妥当性まで詳細に記録している点である。項目別の問題点や課題の抽出 (A) → 長期及び短期目標の設定 (P) → 具体的な取組み内容 (D) → 評価 (C) のサイクルができています。短期、中長期目標に関する資料は、職員がいつでも確認できる場所に保管している。

② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

自己評価委員会設置による成果の一つとして、「こまめな連絡ができるようになり、すれ違いが無くなってきた」との委員の感想から、職員間の良好な関係性が窺える。委員会の仕組みや活動記録により、課題の共有から改善や見直しまでを職員全員で取り組んでいることは明らかである。委員の任期は2年で上層職員の指名による交代制であるが、同委員から「大変だが義務に感じることはなく、精一杯努めている」とひたむきな回答が得られた。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。

	第三者 評価結果	自己評価
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

国のビジョンや県の計画推進等に乗じて、施設の改革も進んでいる。職員は情勢の変化を不安に感じながらも、制度に「守られている」との意識を強く持っており、安心して子どもへの支援に注力できていると話している。その意識は決して依存を指すものではなく、園長の考え方や今までの対応から受けた「信頼」を意味するものである。園長は、その子どもにとっての「望ましい養育」は、その子どもの状況を理解してこそ可能となることを折々に説明している。

② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
-----------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

制度変更の折には、県の社会福祉協議会が開催する研修等に参加している。園長として法令等を周知することは当然であるが、法令を順守することで施設全体が守られることも説明している。行動指針を定め、養育支援の標準的な実施方法として「やってはいけない事、やらなければならない事、配慮する事」をマニュアル化している。社会的なモラルやマナーなどを標準化することは難しいが、先駆職員を手本として指導を受けながら日々学んでいる。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	a
---------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

園長は職員の資質向上に対して前向きであり、多くの職員の研修参加を推奨している。定型的な研修以外で業務遂行上必要な研修の提案があれば、受講を検討し教育の幅を広げている。定期的な会議での報告や職員からの聞き取りにより得た情報は、自ら現場に出向いて事実確認と状況把握を行っている。園長は会議等で一般論を話すのではなく、現状を踏まえた上で望ましい支援や養育について具体的に指導している。

② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
-------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

可視化することは正統性を図る意味で有効的であるとの考えから、今年度後半より出退勤管理システムを導入し、職員の情報をまとめて管理している。園への入退出を各自でスマートフォンに入力することで、勤務状態の把握が可能となっている。総合的な養育支援を目指す上で必要な人材として、常勤の理学療法士を迎えている。自己評価委員と理学療法士が第三者評価当日に同席して発言したことは、結果として施設の実状把握と同様の意識形成に結びついている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

	第三者 評価結果	自己評価
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

本体施設内の完全小規模グループ化を見据えて、職員を多く配置し人材育成に努めている。大手人材派遣会社に登録し、心理士や看護師等の専門職の確保に取り組んでいるが、思うような成果は得られていない。来年度の内定者6名のうち5名が昨年度の実習生で、5名のうち県外の実習生2名は等施設でアルバイトを行い、2月から本採用に向けた仕事内容にシフトしていく予定である。園を理解する実習生の定着を願い、実習生を積極的に受け入れている。

② 15 総合的な人事管理が行われている。	b	a
-----------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

人事考課制度では、業務内容や能力以外の養育態度や挨拶、美化活動への参加状況なども評価の対象としている。職員が子どもを「いっぱい愛し、のびのび育てる」ために必要な要素として、気づく力や想像力も挙げられる。転ばぬ先の杖のような意味合いではなく、その子どものために「次にすべきことは何か」に気づく力、「先にある危険を察知する」などの想像力の重要性について、職員の意識統一を図る機会を設けることが望ましい。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	b
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

出退勤管理システムの導入により、早い段階でイレギュラーな状態を把握することが可能になっている。オーバーワークと判断すれば休息を促し、無理のないシフト調整を行うなどして勤務状況の最適化を図っている。時間外勤務は必要な勤務として職員は納得しており、相当の対価も保障されている。職員はチームワークが高まっていることを実感しており、「働きやすさ」が良い方向に作用して、目標としているチーム力の向上に結びついている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	b
---	----------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

養育理念に沿った基本方針から、求める職員像を読み取ることができる。法人理念についての日常的な実践状況は、人事考課の提出書類に職員自ら記述している。目標設定が理念に沿っているか、また達成度等は年度末の園長との面接で確認している。各自の自己評価と自己評価委員会における集計で、別途進捗状況を確認する機会があり、副園長とは随時相談ができる良好な関係性にある。定期的な自己評価と相談窓口の両方をもって、中間面接と同等の位置づけとしている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
---	--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

全国乳児福祉協議会の研修内容に沿って研修を実施しており、必須研修との認識から定期的な見直しや評価はしていない。施設から推薦する研修以外でも、個人のスキルアップ向上や業務遂行上必要な研修については、申し出があれば積極的に受講を検討し後押しする考えである。完全小規模グループ化を見据えた専門職の増員計画に伴い、あらかじめ職員全員が共有しておくべき知識等について検討し、必要に応じて研修への参加や勉強会の実施が期待される。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a	a
---	-------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

事業主の義務である「職場におけるハラスメント対策」の一環として、法人内研修にハラスメント研修(マナー研修を含む)を取り入れている。職員8名がオンライン研修に参加し、職員全員に周知している。施設内独自研修及び勉強会においては、年間延べ18企画を実施し、施設内看護師がスーパーバイザーとして講師を務めている。同じ研修を2回以上実施し、多くの職員が直接参加できるように配慮している。現場で個別にOJTを実施しているが、指導職員は「指示待ち職員」への対応法に苦慮している。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a
---	---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

実習生受入れに際し、資料に基づいてオリエンテーションを行い、学校側の要望を取り入れたプログラムを使用している。福祉職の育成に協力すべく受入れを積極的に行っているが、実習生の情報が不適格で、子どもに不利益を与える可能性がある場合には、実習を見合わせることもある。基本方針「いかなる時も子ども最優先の対応を心がける」に沿った判断である。来年度内定者のうち2名は、実習後にアルバイトで実地勤務を経て正規雇用となる見込みである。

3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果	自己評価
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

情報公開ツールとして、広報誌「芙蓉」やホームページ、パンフレット等がある。ホームページとパンフレットはリニューアルして見やすくなっている。広報誌には適切なタイミングで情報を掲載しているが、ホームページは締切がないために情報の掲載が遅れる傾向にある。常に最新情報が公開されてこそ、運営の透明性を確保しているといえる。調査員からの指摘を受けて、園長はすぐに確認を行い対応している。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
---	-------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

年度初めに監事による法人内監査を実施し、年度毎の監査報告書(自署)をホームページで公開している。園の「管理規程」や行動指針、園内組織図等には一部改正後の最新施行日が記載されている。変更箇所については都度職員に周知している。公認会計士による年1回の会計監査において、園の人員体制について指摘を受けている。会計士への回答として、計画実現(事業拡大等)に向けた準備期間に、あらかじめ人員を確保しておく必要性について説明している。

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果	自己評価
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a

【判断した理由・特記事項等】

園の前が、いつしか児童の登校時の集合場所や地区のゴミ出し場となってから長い年月が経っている。近隣住民が必然的に足を止める状況にあることを前向きに捉え、園に対してより親近感を覚えてもらえるような契機とすることを期待したい。地域資源の活用としては、子どもの希望で消防車を見に行ったり、地域のパン屋へ買い物に行ったりしている。職員は地域にある法人の土地周辺の美化活動に参加し、コミュニケーションを図っている。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
【判断した理由・特記事項等】			
ボランティアの受入れに関しては、「管理規程」に「入所児に鑑みて慎重な配慮のもと実施する」と記載されている。行動指針に沿って、子どもの養育活動に必要な地域ボランティアを受け入れる考えに変わりはないが、現実として感染症対応などで受入れに消極的であることは否めない。完全小規模グループ化に向けて養育形態を検討する中で、「ボランティアを受け入れる必要性」についても見直しておきたい。その上で園のボランティアの定義や基本姿勢を明確にすることが望ましい。			
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
【判断した理由・特記事項等】			
子どもに必要な連絡先は緊急連絡網や緊急時の対応マニュアルに記載があるが、個別対応にはなっていない。既存のリストや資料に関して、既存のものを「より使いやすく、よりわかりやすく、より迅速に」活用できるリストにアップデートしていくことが期待される。退所後の支援として、昨年度は83件の個別対応を行っている。施設退所者の交流の場として「ホームカミングデイ」も予定していたが、コロナウイルス感染症の蔓延により昨年度同様開催を見合わせている。			
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	a
【判断した理由・特記事項等】			
町内会費は納入しているが、町内の意向により活動には参加できない状況である。園としては地域活動にできる限り参加・協力する方針で、地区の清掃や防災訓練には必ず参加し、ゴミ収集場所や防災倉庫の置き場所も提供している。地区高齢者への買い物支援「買い物送迎プロジェクト」の昨年度実績は合計63回で、毎回車両を提供するだけでなく職員も参加している。買い物送迎の利用者と話をしたり、アンケートを行って要望を聞いたりしている。			
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a
【判断した理由・特記事項等】			
地域貢献・子育て支援事業として、電話による育児相談「赤ちゃん110番」や市の子育て短期支援事業「ショートステイの受入れ」を実施している。昨年度の電話相談は、一般家庭からの育児相談1件のみであった。相談が減った理由として、いたずら等への対策として講じた録音対応により、相談しにくい印象を与えた可能性が挙げられる。現在、園の高機能化及び多機能化として「乳幼児支援センター」の開設を計画中である。専門性を活かした事業として、地域における今後の取組に期待したい。			

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果	自己評価
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

「倫理要綱」や規程などに、子どもの尊重に関する実施方法などが記載されている。入職時や研修など、折に触れて読み合わせながら振り返り、確認を行っている。職員の代表が外部の勉強会に出向いて持ち帰った内容を内部研修で振り返り、職員全員が共通認識できるような体制をとっている。代表で研修に参加する職員は毎回変更しているため、職員全員が外部研修に参加できるようになっている。

② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a	a
-------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

子ども個々に用意されたタンスには個人ごとに動物のマークが貼ってあり、自分で自分の動物であることが子ども自身にも分かるようになっている。プライバシー保護に関する規程やマニュアルなどは整備されており、朝の連絡会においてプライバシーに関する取組を読み上げ、職員に周知できるようにしている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

「みどり園ようこそ」というパンフレットを作成して、養育内容や利用に関する内容が写真などで紹介されている。保護者等には、直接渡す機会が制限されることから、児童相談所を通してパンフレットを渡してもらっている。コロナ過で難しいところもあるが、入所希望者には見学にも応じている。

② 31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

「みどり園ようこそ」のパンフレットの中に、利用の案内が書かれている。意思決定の困難な保護者や精神的に不安定な保護者への対応はルール化されており、対応時の説明内容の統一を図るために、園長や副園長、課長、主任と担当者を決めて対応している。

③ 32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b
--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

家庭復帰に向けては保護者との面会を継続して行い、今までの生活と負担が変わらないように支援している。他施設移行の場合は、他施設職員とも交流を密に取るようにしている。退所後もいつでも相談連絡が取れることを説明はしているが、連絡先などを記入した用紙までは渡されていない。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	b
---------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

日々、子どもの要望が聞けるようにしており、事業計画作成時に園外保育が出来るような時間を設けるようにしている。「動物が見たい」と言う時にはサファリパークに遠足に行ったり、「パンが食べたい」と言う時にはアレルギーがあるかを栄養士に確認して、主任や園長と連携して提供できるようにしている。子どもが満足のしかたかどうかを把握するための取組（会議等での検討）は実施されておらず、具体的な改善までには至っていない。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
---------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

苦情に関して、分かりやすく解説したパンフレット「みどり園ようこそ」が作成されている。入所児の家族に配布し、玄関にも掲示している。苦情に関する記録も完備されており、内容や対応策を確認して保護者等に必ずフィードバックされる仕組みとなっている。広報誌などにも苦情の内容や解決策を掲載している。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
---	--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

保護者が意見を出しやすいように、応接室を使用して話を聞くようにしている。相談や意見が複数の方法でできること、また相談相手を自由に選べることなどの説明文書が準備されておらず、口頭での話に留まっている。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b
---	-------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

個室での相談はできており、意見箱やアンケートなどでの情報収集も積極的に行われている。受けた意見に関する検討は早急に行われており、状況などの説明も行われている。相談などに関して、統一した方法などの流れを確認できるマニュアルなどは整備されていない。相談等を受けた職員の誰もが同じ対応をすることができるよう、マニュアルの作成を期待したい。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b
---	---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

リスクマネジメント委員会は、月に1回定期的に開催されている。「看護マニュアル」に対応方法などが記入されている。事故後の原因なども記録から評価や見直し、分析されている。委員会での内容は月1回の月例会において報告され、職員は把握できている。事故発生時の対応マニュアルは作成されている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
---	---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

感染症委員会が月2回開催されている。「感染症マニュアル」が作成されており、看護師を中心に感染症に関する研修も行われている。看護師が講師となり、インフルエンザ流行前やノロウイルス発症前には必ず研修を行い、職員周知を図っている。現在は、新型コロナウイルス感染症に関する研修が主となっている。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a	a
---	-------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

一人の子どもに対して二人の担当職員がついており、すべての子どもの安否確認ができる体制が整っている。BCP（事業継続計画）も作成されている。食料などの備蓄品は栄養士が管理しており、リストも作成されている。備蓄品の入替えのために、時々備蓄品の食料を食事で提供している。災害時の対応体制も組織図で確認できる。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	自己評価
① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

食事、排泄、睡眠などの標準的な方法はマニュアルに示されており、プライバシーに関する事項も確認ができた。1ヶ月の指導計画を作成し、毎日の記録書類によって職員に周知徹底できる流れになっている。記録書類の保管場所は、職員が毎日通る場所「ナースプール」という場所にあり、必ず目を通す仕組みができています。

② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

毎月の指導計画を作成しており、計画を基に毎月のユニット会議やケース会議で検証や見直しを行っている。指導計画を基に、担当者から毎月の養育や支援方針が示され、職員全員に共有されている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

入所時に、児童相談所から「援助指針票」が送付され、それに基づいて施設での支援計画を作成している。一人の子どもに対して保育士と看護士の二人体制をとっている。自立支援計画は担当職員のみならず、全体会議において職員全員が内容を把握できる体制になっている。保護者支援で難しいケースも時々あるが、児童相談所が強く関わっており、対応については児童相談所との連携を密にとっている。

② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。

b

a

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の見直しは、定期的に6月と12月に行われている。変更や見直しをした時にはケース会議において報告し、各部門の職員全員に回覧して周知している。現在まで緊急に変更したことがないため仕組みは整っていないが、現状もしあった場合には、職員会議において確認することとしている。定期見直しのみならず、子どもの状態の変化や緊急性を要する場合等、自立支援計画を見直す手順（いつ、誰が、どのように）を定め、文書化しておくことが望ましい。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

夜勤者の待機場所となっている場所（ナースプール）は、全ての書類の管理場所であり、日々の記録の「通誌表」も置かれている。書き方のマニュアルがあり、記入の色分けもされている。青は「通院・面会」、赤は「健康状態・看護師対応」などで、一目でその日の様子が分かるようになっている。毎月開かれるケース会議において、職員間の情報共有が図られている。

② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

すべての書類の管理責任者は園長である。「管理規程」の中に個人情報保護に関する定めが記載されており、職員をはじめ実習生などからも個人情報に関する文書に署名捺印をもらっている。実習生等へオリエンテーションを行う時には、必ず個人情報保護の研修が行われている。保護者に対しては、パンフレット「みどり園へようこそ」の中に分かりやすく書かれている。

内容評価基準（22項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果	自己評価
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

「養育マニュアル」に、子どもの権利擁護や取組について記載されている。「乳児院倫理要綱」や「より適切なかわりをするためのチェックポイント」を読み上げたり、研修時やユニット会議において話している。具体的な取組について読み上げ、振り返りを行っている。11月は「子ども虐待防止月間」であり、特に権利擁護についての研修を重視している。

(2) 被措置児童等虐待の防止等

① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b	b
---------------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

「被措置児童虐待防止ガイドライン」があり、子どもに対して大声をあげてしまった時などの記録と報告を基に、具体的な事例をあげて検討をしている。担当職員を交代させて対応するなど、色々と試して虐待につながらないようにしている。不適切な対応があった場合は記録に残し、上長に報告していく流れとなっている。不適切ケアを行わないという方針であることからマニュアルは作成されておらず、改善を要する。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果	自己評価
① A3 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	a	a

【判断した理由・特記事項等】

担当職員は日々の支援の中でできるだけ1対1になれる時間を作り、プレイセラピーで得られた情報を基に心理士からのアドバイスを受けている。摂食障害でミルクを飲めなかった子どもに対し、「抱っこ」や「おんぶ」などのふれあいを通して安定的な支援に繋げている。「小さな積み重ねが大きな結果なる」との思いから、関係作りを積極的に行っている。

② A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a	b
--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

外遊びを多く取り入れ、訪問した日の数日後にはバーベキューが計画されていた。厨房の職員と一緒に芽キャベツやチンゲンサイ、玉ねぎやラディッシュなどを作って収穫している。おもちゃなどは自由に取って遊べるようになっている。衣類のタンズとコップは個別になっているが、おもちゃや食器などは共同になっている。

(2) 食生活

① A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a	a
--------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

子ども一人ひとりの体調やリズムに合わせて、個々にあった授乳を行っている。授乳時は抱っこを基本としており、抱っこをしながら授乳を行っている。各部屋は網戸になっており、コロナの感染予防対策として窓を開放し、換気が十分に行われていた。

② A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a	a
------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

「離乳食チェック表」（アレルギーチェック28項目）を基に、離乳食の進捗状況をホワイトボードに記載し、「離乳食ノート」を作成して看護師や厨房職員との情報共有に活用している。それぞれの子どものに合わせた食事体制を取っており、食べ物を残してしまう子どもには遊びながら食べてもらい、食事が摂れるようになっている。

③ A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	b	b
-------------------------------	---	---

【判断した理由・特記事項等】

南向きの明るい食堂で、子どもに合わせた机といすが用意されている。スプーンが持てるようになってきた子どものために、様々な種類のスプーンが用意されている。子ども同士は一緒に食べており、日々の挨拶や手洗い、食事に関する要望（大きい、硬い）などの意見に耳を傾けている。誕生日には、好きなメニューを出してもらっている。コロナ禍で職員と一緒に食事が摂れない状態が続いているが、職員は改善策を検討している。

④		A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
アレルギーチェック項目において対応している。カロリーや年に1回行っている嗜好調査に関しては、栄養士が管理している。自分たちで育てた畑で採れた野菜などを食卓に提供したり、食事を作るところを見学したりもしている。大きな子どもはテーブルを拭いたり、箸を並べたり、トレーを片づけてくれたりと、可能な範囲で手伝いもしている。				
(3) 日常生活等の支援				
①		A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
衣服は全て施設で用意している。肌に着けるものは全て綿100%にしており、夏は甚平を冬は動物柄のもこもこベストを着用している。衣服の管理は専門の施設職員がおり、個々の好みに合わせて衣服を用意している。子ども一人ひとりに対応する動物が決められており、衣服には自分用の動物のワッペンが貼ってある。子ども自身にも、自分の衣類であることが分かるようにしている。				
②		A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
ベッドは一人ひとりの子どもにあった高さにしており、通気性の良い綿マットを使用している。夜間は15分間隔での見回りを行い、子どもの肌に直接触れて室温や湿度、寝ているか、汗をかいていないかなどのチェックをしている。センサーマットを使用していることから、センサー音が鳴った時にはラウンド以外での確認をしている。				
③		A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
毎日入浴を行っており、清潔なタイルやバスタオルを使用している。職員も一緒に1対1での入浴を行っている。入浴室にはおもちゃなども用意されており、おもちゃを使って楽しく話をしながら入浴ができるように支援している。新生児室に入浴の出来る場所が新たに設けられ、居室から出なくても入浴ができるようになった。				
④		A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
オムツ交換時やトイレ時などに、手に持って遊べるようなおもちゃを用意するなど、自分自身で目標をもって達成できるようにしている。達成できたらシールを張るようにしている。トイレは廊下側から見えるようにしている理由は、年上の子どもが排泄を見て年下の子どもが覚えられるようにしている。トイレに座ることを、自分から言ってくる子どももいる。				
⑤		A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
飲み込み事故防止のため、目安としてトイレトーパーの芯の中を通るおもちゃは購入しないようにしている。おもちゃの収納場所は手の届くところにあり、自分自身で出し入れできるようになっている。自分自身の動物マークが付いているおもちゃもある。				
(4) 健康				
①		A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
「アレルギーチェック表」を使って体温、食事、排泄、薬などを記録している。子ども病院や嘱託医との連携もとれており、インフルエンザの予防接種なども定期的に行っている。発疹やアレルギーなども注意深く見守り、医師に相談できるように常に看護師が連携をとっている。				
②		A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a	a
【判断した理由・特記事項等】				
「通誌表」や「看護申し送りノート」を使って、常に職員全員で子どもの健康管理に関する情報共有を行っている。「健康管理個人票」を使って服薬管理をしている。専門医や主治医の協力の下、病・虚弱児等の年2回の定期検診や専門医との連携体制が取られている。				

(5) 心理的ケア

①

A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。

b

b

【判断した理由・特記事項等】

定期的にプレイセラピーを行い、アセスメントを行っている。具体的な個別の支援方法が提案され、心理職が養育現場に入って日常的な支援を行っている。会議等でコンサルテーションを行っており、報告は職員全員が共有できるようになっている。コンサルテーションは行っているが、研修やすべての保護者へ対応するための職員研修は行われていない。

(6) 親子関係の再構築支援等

①

A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

現在コロナ禍であり、直接面会は難しい時もあるが、リモートによる面会で家族とのふれあいを継続している。子どもの日常の様子が知りたい保護者は、児童相談所経由にて連絡が来るため、その都度写真を送っている。児童相談所が主となって相談やカウンセリングなどを行っている。

②

A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の中に家族支援の項目が明記されており、児童相談所と連携を取って面会などの調整をしている。引き取りが決まってから、保護者と子どもとの関係が良好に行くよう、面会や外出などの機会に交流の様子を見守っている。母子生活室があり、保護者の養育意欲が向上するように支援している。児童相談所や市役所と常に連携を取れるようにしている。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①

A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所や民間団体、関係機関とは常に連絡を取り合い、退所後の電話相談や支援ができることを保護者に伝えている。退所前には移行先と何度も話し合いを行い、退所後に施設に遊びに来ることも推奨している。現在はコロナ禍で、なかなか面会などで相談することは難しいが、いつでも連絡できる体制をとっている。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①

A20 継続的な里親支援の体制を整備している。

b

b

【判断した理由・特記事項等】

里親との交流を行った後には、里親の感想などを書いてもらい、今後の支援に取り入れている。里親委託にあたり、里親や児童相談所と連携を取りながら、里親個々の問題にも向き合い、状況に応じた支援を行っている。里親支援事業の中で、中・長期的な委託の計画はしていない。

(9) 一時保護委託への対応

①

A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。

a

a

【判断した理由・特記事項等】

緊急で入居してくる場合もあるが、初期の情報が取れるような最低限の書類はできるだけ用意してもらっている。一時保護のマニュアルが整備されている。入所に関して、事前に健康状態のチェックはしてきてもらうようにしているが、無理な場合はすぐに健康管理ができるように、医師との連携は取れている。「離乳食チェック表」においてアレルギーなどの確認を行っている。家庭復帰に向けての各種連携もしっかりとれている。

②

A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。

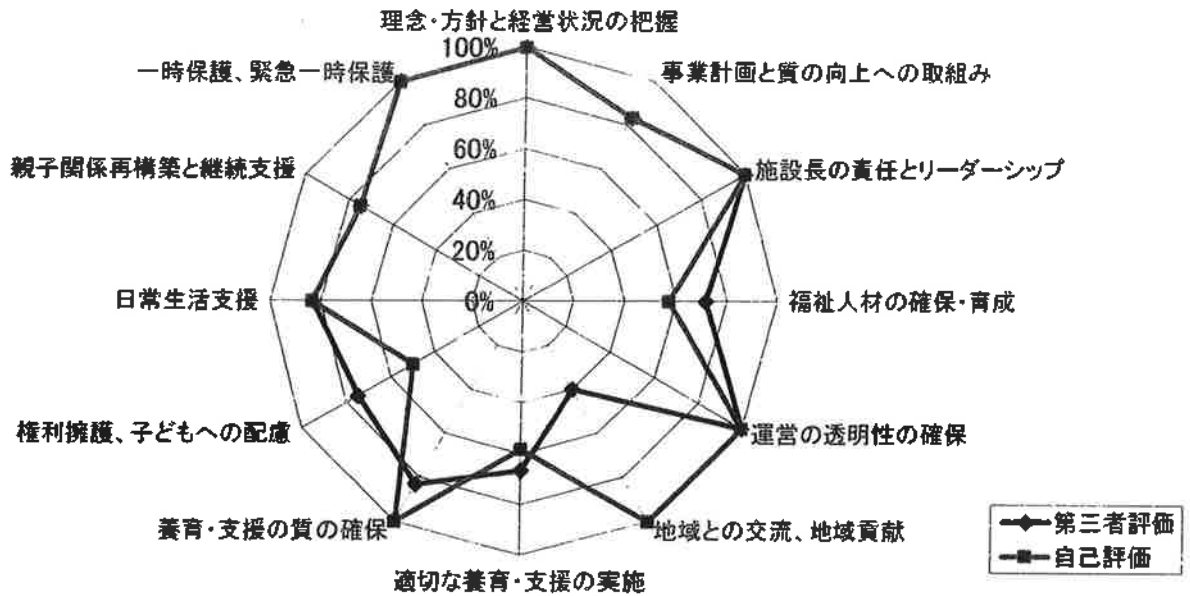
a

a

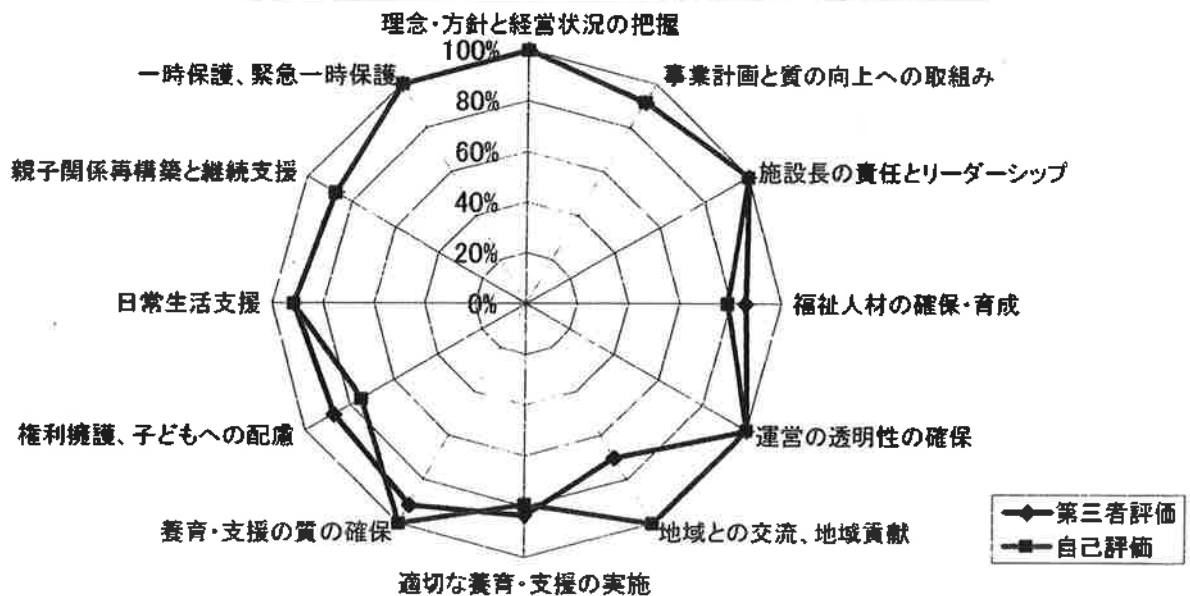
【判断した理由・特記事項等】

緊急一時保護を受け入れており、マニュアルも整備されている。観察室があり、そこで一週間ほど観察を行っている。夜間の受け入れにおいては、翌日の昼間に医療機関や各種関係機関と連携を行っている。

評価項目数に対してa(出来ている)項目数の割合



評価項目数に対してa+0.5b(ある程度出来ている)項目数の割合



評価項目	第三者評価								自己評価							
	結果数 a	結果数 b	結果数 c	a%	b%	c%	a+0.5b / 項目数		結果数 a	結果数 b	結果数 c	a%	b%	c%	a+0.5b / 項目数	
理念・方針と経営状況の把握	3	3	0	100%	0%	0%	100%		3	0	0	100%	0%	0%	100%	
事業計画と質の向上への取組み	6	5	1	83%	17%	0%	92%		5	1	0	83%	17%	0%	92%	
施設長の責任とリーダーシップ	4	4	0	100%	0%	0%	100%		4	0	0	100%	0%	0%	100%	
福祉人材の確保・育成	7	5	2	71%	29%	0%	86%		4	3	0	57%	43%	0%	79%	
運営の透明性の確保	2	2	0	100%	0%	0%	100%		2	0	0	100%	0%	0%	100%	
地域との交流、地域貢献	5	2	3	40%	60%	0%	70%		5	0	0	100%	0%	0%	100%	
適切な養育・支援の実施	12	8	4	67%	33%	0%	83%		7	5	0	58%	42%	0%	79%	
養育・支援の質の確保	6	5	1	83%	17%	0%	92%		6	0	0	100%	0%	0%	100%	
権利擁護、子どもへの配慮	4	3	1	75%	25%	0%	88%		2	2	0	50%	50%	0%	75%	
日常生活支援	12	10	2	83%	17%	0%	92%		10	2	0	83%	17%	0%	92%	
親子関係再構築と継続支援	4	3	1	75%	25%	0%	88%		3	1	0	75%	25%	0%	88%	
一時保護、緊急一時保護	2	2	0	100%	0%	0%	100%		2	0	0	100%	0%	0%	100%	
合 計	67	52	15	78%	22%	0%	89%		53	14	0	79%	21%	0%	90%	

企業主導型保育事業 さくら保育園

事業概要報告

令和4年度は園児3名でのスタートとなり、5月に1名、11月1名（育児休業復帰職員）の園児をお預かりしました。内訳は、0歳児2名、1歳児1名、2歳児2名です。

今年度は2歳児2名が卒園となり、3月29日に卒園式を行いました。



令和4年度 卒園式

基本目標報告

1. 子どもたちが安心して楽しく毎日が過ごせるよう、施設環境を衛生的に保ちます。

感染対策強化として毎日1回以上アルコールタオルを用いて玩具、手すりや壁などを消毒また、閉園後にオゾンエアクリアを燻蒸しての室内の消毒、さらに玩具や布類を定期的に天日干しによる消毒をおこないました。

2. 子どもたちが自立的に生きる力を培うために、一人ひとりの育ちを踏まえた計画を立て、保育を実践します。

四季折々の行事等に触れながら子どもたちとのコミュニケーションを図ることを目的に、作品製作を毎月行いました。また、子どもたちの力作は入り口に飾り保護者様にも見ていただき子どもの成長と喜びを分かち合い対話と信頼関係の構築に繋がりました。5月に個別指導計画の様式（領域・目標の詳細化）変更を図り、月末の評価と課題へと繋なげ園児一人ひとりの様々な視点から記録を残すようにしました。

基本的な発達の指標はありますが、個々の性格・特徴を踏まえた上での活動を心がけて参りました。また、少人数である強みを活かし、製作活動には絵具・シール・クレヨンなどを組み合わせながら「興味のある事は積極的にチャレンジしてみよう」の思いで、年齢の小さな園児たちにも年上の園児たちと一緒に参りました。



危険が伴う場合には、制止する事もありましたが子どもの自発的な活動を大切に出来る事はのびのびを基本に見守る事を大切にまいりました。

また、生活習慣が身につけられるよう、食事・排泄・着脱など年齢や個々の性格に合わせて介助するとともに、子どもがチャレンジしている時には待つ事を心がけてまいりました。



3. 職員の専門性を高めるため研修の機会を取り入れて、資質向上を目指します。

今年度は1名新しい職員を迎え、静岡県のカリカアップ研修会へ参加を進めていきました。また外部研修会の情報をもとに希望を募り、職員の1回以上の研修会参加を目標とし、全員が受講することが出来ました。

主要事項報告

開園日・時間

開園日・時間	月曜日～土曜日（祝日も開園） 7：00～18：00
休園日	・日曜日 ・年末年始（12月30日～1月3日）

利用園児 月別状況

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	—	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
1歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

月別登園状況

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
遅刻	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1
早退	0	1	4	1	2	0	3	3	1	0	2	1
欠席	1	0	7	4	1	1	7	6	0	0	5	8
その他			◎4	◎4	◎10			※3	※3	※13	※3	

◎ 登園停止日数

※ 新型コロナ濃厚接触者、陽性数

(内訳)

- ・遅刻の理由として、通院のためがありました。
- ・早退の理由として、登園後の発熱や体調不良、保護者の半休等の早帰りがありました。
- ・欠席の理由として、園児の体調不良、家族の体調不良などがありました。

6月・7月・8月は登園許可書が必要な疾患へ感染したため、出席停止となった園児が多かったです。また、11月、1月～2月にかけては保護者が新型コロナウイルスに罹患し濃厚接触者となり、その後本人も発症し陽性となり自宅隔離になったケース等がありました。

感染症等について

6月は突発性発疹1名、7月は手足口病1名、8月は手足口病2名、ヘルパンギーナ1名罹患等により欠席が続きました。快復後はいずれの園児も医師からの「登園許可証」を提出して登園しました。9月以降は発熱による早退、欠席ケースが何回もあり、通院の結果風邪と診断されることが多かったです。

新型コロナウイルス感染症について

11月に1名、1月に2名は、保護者が新型コロナウイルスに罹患し自宅待機期間中に園児が罹患したケースでした。なお、連絡を受けた際には園児全員の接触期間などを確認し、保護者への伝達（園児の抗原検査依頼等）及び要観察を行いました。併せて職員の抗原検査実施を行い陰性の確認ができたため、保育園は通常通り開園しました。

行事について

さくら保育園としては、月に1回の製作活動を行いました。年齢の低い子は手形や足型を主に、年齢の高い子たちは月々の発達を踏まえながら、絵具やシール・クレヨンなどを組み合わせながら月にちなんだ作品を作りました。発達障害のある児は、あまり座った作業を好まないこともあり、その子の好きなことを中心に取り組めるよう個々にあった内容を提案していきました。





制 作 活 動



夏 祭 り



ハロウィン



クリスマス



新年挨拶会



節 分

行事参加報告（みどり園の行事に参加）

リトミック：6回

5月11日 7月13日 9月14日

11月9日 12月14日 2月8日

わらべ唄を使った遊びの会：1回

11月24日

保育園利用児は法人内の様々な施設の保護者様からお預かりしているため、法人内の新型コロナウイルス感染症の状況をみて、他施設で出ている時にはみどり園との接触は控えました。保育園の園児の体調やみどり園の状況など、情報を共有しながら可能な時に参加をしました。

定期健康診断について

内科健診については、園へ訪問での診断をお願いしており、みぎわ園の定期往診の後、さくら保育園の園児の健康診断を実施していただきました。

◎内科健診（年2回）：嘱託医 青葉クリニック：鈴木勝己医師

実施日：令和4年 4月14日（1回目）

10月27日（2回目）

◎歯科検診（年1回）：片岡歯科医院 片岡俊夫医師

実施日：令和5年 2月14日



歯科健診



内科健診

事故記録について

総事故報告 21件

- | | |
|-----------|------------------------|
| （1）衝突・転倒 | 17件 |
| （2）はさみこみ | 1件（園用携帯電話を触ってしまい、指を挟む） |
| （3）児童間の事故 | 2件（ひっかき2件） |
| （4）その他 | 1件（シャボン液が耳から肩にかけてかかる） |

インシデント 4件

月 日	発生場所	発生状況	対 応
4月6日	保育室 出入口	職員が向かいにある食堂にものを取りに行くとき、保育室のドアを開けたままにし、そこから子どもが飛び出して食堂内を走ってしまう。	保育室のドアは少しの間でも必ず閉めるようにする。
4月12日	保育室 出入口	食堂で職員が仕事をしていると子どもがドアを開けて側に来てしまう。	保育室のドアは鍵を閉める。 一人で出入りをしていけないことを全園児に伝えていく。
4月16日	保育室	子どもが靴下を履いて太鼓橋を歩いていると滑り足がはまってしまった。けがはなかった。	すぐに支えられるよう職員が側にいる。 靴下を脱いでからやるようにする。
12月20日	保育室	給食前の椅子に座っている際、鼻に手を持っているので見ると、手に小さな石を持ち、石に鼻汁のような粘液がついていることに気が付く。状況から、事前に手洗いをしていることから鼻の中に入っていたのではないかと推測される。	職員全員に情報を共有し、登園時から石が入っているという可能性もあるため、登園時の視診の際に鼻の中をチェックする。また外から帰ってきたときにもチェックを行う。

避難訓練

実施日	訓練内容	参加児童数	参加職員数
令和4年4月28日	地震想定避難訓練	2人	4人
5月12日	火災想定避難訓練	1人	2人
6月2日	火災想定避難訓練	3人	4人
7月7日	地震想定避難訓練	3人	4人
8月4日	火災想定避難訓練	1人	2人

9 月 1 日	総合防災訓練	3 人	4 人
10 月 18 日	火災想定避難訓練	3 人	4 人
11 月 4 日	総合防災訓練	3 人	4 人
12 月 1 日	火災想定避難訓練	3 人	3 人
令和 5 年 1 月 5 日	地震想定避難訓練	4 人	4 人
2 月 7 日	地震想定避難訓練	5 人	4 人
3 月 2 日	地震想定避難訓練	2 人	3 人

※みどり園と合同で実施するが、保育園の休園や感染症対応で交流が出来ないときは、単独で行いました。



研修記録

1. 外部研修

No.	開催日	内 容	開催場所	参加人数
1	令和 4 年 7 月 2 日	発達障害を理解する 基本講座	Zoom オンライン研修	1
2	9 月 1 日～ 12 月 7 日	保育安全研修	オンデマンド研修	1
	11 月 19 日		ライブ研修 (オンライン意見交 換会)	
3	9 月 27 日～ 29 日	令和 4 年度静岡県保育 士等キャリアアップ研 修「障害児保育」	プラザヴェルデ(沼津 市)	1

4	10月25日	2022年度保育プラザ 研修 「困難をかかえた子どもと育ちあう保育」	W e b 研修	1
5	11月7日	2022年度保育プラザ 研修 「1・2才児の育ちに学ぶ自我の育ちと人との関り」	W e b 研修	1
6	11月15日	2022年度保育プラザ 研修 「個人を尊重しつながらを育む保育とは」	W e b 研修	1
7	11月25日	2022年度保育プラザ 研修 「ゼロ・1歳児が心地よく過ごせる保育」	W e b 研修	1
8	3月26日	令和4年度ぜん息等子どものアレルギー疾患予防に関する講習会	静岡商工会議所 5階ホール	1

2. 法人内研修

No.	開催日	内 容	開催場所	参加人数
1	令和5年 2月22日	普通救命救急講座	みどり園：会議室	1

3. 施設内会議

開催日					
4月19日	5月12日	6月14日	7月中止	8月1日	9月13日
10月11日	11月4日	12月13日	1月10日	2月21日	3月14日

指導監査・巡回指導について

令和４年度認可外保育施設立入調査実施報告

令和４年６月２２日（水）に、静岡県健康福祉部福祉指導課（静岡県職員：１名、富士市職員：１名）による「認可外保育施設立入調査」が実施されました。

令和４年度児童育成協会立入調査と結果通知書受理

令和４年１１月１０日（木）に公益財団法人育成協会（担当官：吉田啓志氏、川口浩氏）による企業主導型保育事業指導・監査基準に基づき（９：３０～１６：００）指導を受け、令和５年１月２７日付けにて「立入調査結果通知書」を受理いたしました。改善事項：１項目、口頭指示事項：９項目の指導を受け、速やかに改善を図り改善報告書（令和５年２月８日）を提出いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金の交付（決定）

新型コロナウイルス感染症対策事業として保育環境改善等の経費として令和４年１２月１５日付けにて補助金６８,０００円の交付（決定）通知書を受理しました。

特別養護老人ホーム みぎわ園

主要事業報告

令和4年度を総括するにあたり、第一にこの3年間新型コロナウイルス感染症に翻弄され、その対策、予防に職員全員が心を砕き、鬼気として感じ得た一年であったと思います。このような中、看護スタッフを始め、介護職を含めた全職員が一丸となり、お年寄りに「うつさない」とした心構えと、徹底した防禦姿勢の下で耐えて来られた事に感謝する所です。老人福祉に携わる者としての信念を強く感じました。

ただ在宅介護サービスに於いては、外界との接点も多く、感染流行の波を受けて前半期に営業の休止がありました。その後、単発での発症はあるもののその都度、予防対策を徹底しての難しい年度でもありました。結果在宅介護事業、特にデイサービスにおける経営には厳しいものがありました。

しかし、これらも職員が協働して難局を乗り越え、大きなダメージには至らず運営が図られて終始した年度でありました。

大変な介護就労にあって、介護人材の不足は、如何ともし難い状況が続いています。

これを打開する策として、海外からの技能実習生での補充を図るものの環境の違いも、言葉の壁も大きく、この教育には指導スタッフの努力が欠かせません。

将来へ安定した就労をと信じつつ、期待しての現状が続いています。

介護職分野でこのような状況ではありましたが、看護職分野では職員の充足が図られ、各在宅事業所への配置で、新たな保険加算の取得が可能となった面もありました。

特養部門は、平成27年の介護保険法の改定後、国が入居基準介護度3以上とした影響もあり、入退居者数の頻度（年平均22人～23人）が上がっています。一つに、病的な身体を抱えた方々への介護ケアが濃く、在居年数も1年足らずの方での入替わりが多く介護スタッフからすると、慣れてきたときに終末を迎えるとした介護、看護現場での苦労が増えたように思います。

本来、特養ホームでの役目としていた終の棲家、生活の場が変わってきたこと、「看取りの場」としてご家族も認知されてきたことに、切なさをも感じます。

このような中、今年は特に外に出る機会のない分、介護、看護、多職種が協力して「楽しい場の提供」を心掛けてきました。入居生活への潤いを提供したいとして、大型TVに入れ替えて、今の時代に則したインターネット利用で、懐かしい歌番組で歌謡曲がユニット内に流れている風景が見受けられています。また様々細かに、食のイベントを各ユニット、在宅サービスで同様に企画され、生活にメリハリをつけたいとして

の工夫もスタッフ協働での賜物と評価される所です。

ふようデイサービスセンター移転新築に向けては、第一期工事みぎわ園西面に敷設する進入道路も 8 月着工、1 ヶ月程遅延で翌年 1 月に完成をしています。工期遅延理由に基礎掘削時、頑強な溶岩層に阻まれた結果でありました。在宅サービス全般で送迎用車輛の入替と増車を図り、送迎時の利便性を図りました。ただ多少、車輛不足は否めません。

地域防災については、風水害対策で県東部地域の県防災用備品収納倉庫の基地設置も整い、その効果が 7 月静岡市清水地区での水害支援に役を果たしたようです。

今年度後期には、富士山噴火のハザードマップの改定を受け、同防災マニュアルの検討を進める事も課題としてあった年度でありました。

実施報告 I

1. 介護報酬給付受給の充実の為「LIFF」加算に向けた研究と検討

「LIFF」活用により特養、ふようデイ、みぎわデイ、みぎわの里に対し「科学的介護推進体制加算」が適用され、特養の食事に対し「栄養ケアマネジメント強化加算」が適用される様になりました。

2. 人材確保 養成校など募集に向けた迅速な対応

静岡福祉大学、福祉医療専門学校、富士宮東高等学校と積極的に訪問をしました。7 月にはグランシップにて福祉就職相談会に参加して募集を行いました。応募は有りませんでした。海外介護技能実習生の採用を考慮して（ミャンマー）令和 5 年 2 月に Web 面接を行いました。

3. 職員の勤怠管理出勤システムの導入

8 月より試験的に実施し、10 月 1 日より老人部門全職員、勤怠出退勤システム（ピットタッチ）による管理を実施しています。

4. ICT を活用した介護、看護管理記録へ実証に向けた取組

移乗介護ロボット（ハグ）を配備して、介護軽減のため体格の良い入居者等に対して、小柄な職員も安心して安全に移乗が出来る様になりました。介護看護記録の IT 化に関しては今後も検討して行く課題となっています。

5. 各種感染症予防対策マニュアルの改編と整備

令和 5 年 7 月に新型コロナウイルス感染防止対応マニュアルの見直しを行い、オミクロン株亜種 BA-5 対応仕様として、感染対策の徹底を図りました。

6. 介護サービス事業所等物価高騰対策支援金の受給

県介護保険局より物価高騰の影響の中、社会福祉施設等への物価高騰対策支援金として全介護保険事業所（居宅事業、包括センターを除く）、定員に応じて交付限度額以内での支援金補助給付を、令和 5 年 1 月に受給。保険給付として入金処理をしました。

支援金合計：1,158,000 円

7. みぎわ園施設内診療所物価対策支援金の受給

上記同様に物価高騰の影響の下、施設内診療所への対策支援補助金として受給しました。

支援金合計：100,000 円

実施報告Ⅱ

1. 建築委員会報告：新規事業「ふようデイサービスセンター」建築移転に向けて

令和4年8月1日に着工。翌年1月、第1期工事として、現職員駐車場（建設地）への進入路造成工事が完成致しました。

総工費：（予算）：36,300,000 円

追加分：1,650,000 円

完成工費：37,950,000 円

2. 建築委員会報告：建築設計監理及び土地整備測量

ふようデイサービスセンター建築設計監理の契約及び、建設地の隣地境界設定

建築地確認申請に係る契約料及び事務費支払（建設仮勘定にて計上）

建築設計監理費用：7,920,000 円

土地測量及び確認申請費：516,000 円

合計：8,436,000 円

内前期支払費用：4,916,000 円

3. 福祉車輛（在宅サービス部門）の更新配備

みぎわ園開設当初（平成15年）より使用している福祉車輛を、送迎時の安全確保のため入替を行いました。

デイバス車輛キャラバン：3,693,000 円

軽車輛エブリー：1,648,000 円

4. 静岡県東部地区防災倉庫設置

地域災害等有事の際に被災地への復旧活動支援のため、静岡県東部地区災害ボランティア活用機材の保管場所として、防災倉庫設置のための基礎舗装工事を行いました。

設置舗装工事：345,000 円

5. 大型 TV の各ユニット等への配備

旧型 TV より画面が大きくインターネット環境へ対応した TV へと入替、入居者の楽しみを増やす事の主旨で更新しました。

1 台@62,000 円 × 8 台：計 496,000 円

6. 介護用品～移乗介護ロボット（ハグ）の設置

身体障害者用補助歩行ロボット 2 台購入致しました。

器具及び備品：1,362,000 円

県補助金（介護分野 ICT 化事業費補助金

介護ロボット導入支援事業を受給：680,000 円

7. 勤怠システム機器及びシステムソフト導入

本館とサテライト事業所でのシステム機器チェッカー（ピットタッチ）3台とソフト導入。

器具及び備品費：546,670 円

ソフト導入・個人用 IC カード費：689,260 円

8. 公用車運転送迎時アルコールチェック義務化に向けた機器の導入

本館とサテライト事業所で行うためのアルコールチェッカー器機を導入しました。

器具及び備品費：304,000 円

9. 階段非常灯 L E D 化に向けた更新設備

みぎわ園 階段非常照明を L E D 照明に整備して、電灯料の省エネ化を進めました。

B F ～ 3 F 階段 L E D ・ 各階段中段センサー付き照明：

建設附属設備：517,000 円



進入路造成工事完成



土地測量・地質調査



デイバス車輛キャラバン



軽車輛エブリー



静岡県東部地区防災倉庫締結式



防災倉庫Ⅰ



防災倉庫Ⅱ



ユニット大型 TV



移乗介護ロボット（ハグ）



勤怠システム（ピットタッチ）



送迎用アルコールチェッカー



階段中段センサー付き LED



照明階段灯センサー付 LED 照明

部 門：介護管理

1. 入居者本人、家族が望まれる終末の迎え方を可能な限り事前に把握してこの記録をもとに、その時を迎えるまで、その人らしく生き切る事へ寄り添い、介護支援を行います。

看取り介護件数は16件でした。新たに『もしも自分の気持ちを伝えられなくなったら』という書式を作成しました。「病気になったり食事が食べられなくなった時、どうしたいのか、何を望むのか」、入居時ご本人とご家族と話し合う時間を持つように工夫しました。ご自分の意思表示がはっきりと伝えられる方は、その時にご家族と共有して、介護ケアに活かせるようにしました。

意思表示の難しい方については、課題も多くあり引き続き検討しながら、ご本人ご家族より、その時の看取りケアに活かせるような聴き取りを行いました。

2. 移乗介護ロボットの使用、その介助方法を見直しすることで、介助者側、また受ける側の負担を減らして、入居者の日常生活の向上を図ります。

『移乗サポートロボット HUG（ハグ）』2機を購入しました。職員の意識など課題もありますが、体の大きな入居者の排泄サポート等に使用する事で、職員の腰の負担軽減やQOLの向上に繋がりました。

3. 研修委員会の見直しを図り介護スキル向上のため、職員全体が学べる機会を作ります。

新たに研修委員会を立ち上げ、年間計画に従って活動しました。介護保険法に規定された研修では研修内容を工夫して開催しました。外部研修では人選の下で、希望の講座へ受講した後、施設内で伝達研修を行いました。引き続き学ぶ意識をもって施設の介護力に繋げるように取り組みを行います。

4. 情報共有がしやすいような介護、看護記録の整備するために協働して記録の一本化を進め、入居者個人の見える記録が出来るようにします。

内容が重複している書類については、統一した書式として共有出来るようにしました。

今後IT化に向けた記録のあり様を施設全体で検討して、委員会を立ち上げ最適なものが導入出来るよう進めて行きます。

5. 月間入居者稼働率を99.0%、入退居時の空床日数や入院期間の短縮を図れるように、多職種連携のもと目指します。

入居稼働率99.2%と安定した実績でした。要因して入院延日数53日、空床待機日数182日と大きく短縮が図られた事が反映されています。今後も介護課、看護課と共に連携し活動します。

部 門：看護管理

1. 医師、多職種と連携を図り、協働して入居者へより良いケアに繋がれるよう支援します。

医師、多職種で情報を共有して連携を図ることで、早期に入居者の状態変化に気づき、必要な看護ケアが提供出来るよう努めました。

2. 体調変化がみられた時には、こまめにご家族に報告することで信頼関係を築き、施設で

出来る範囲の看護、医療の理解をしていただけるよう努めます。

体調変化がみられた時には、その都度こまめに状態を伝え、治療に対するご家族の意向を確認しながら、看護を進める事に努めました。

3. 看取り看護においては、日頃から入居者とそのご家族に寄り添い、それぞれの思いをくみとりながら、その人らしい終焉を迎えられるよう努めます。

入居者の生活歴の理解と、入居後の関わりの中から可能な限りその方の思いや、ご家族の意向を確認する事で、出来るだけ苦痛なく、穏やかにその人らしい終焉を迎えられるよう努めました。

4. 施設内での感染防止は職員の重要な役割と捉え、全職員が新型コロナウイルス感染症を中心とした感染防止対策がとれるように、随時感染対策会議や伝達講習会を開催して、周知徹底を図ります。

施設内でのコロナ感染症発生時、その都度ユニットの状況に応じた対応を検討して、対策を講じる事で、感染拡大を防ぐ事が出来ました。また、感染伝達講習会では、手指衛生、ガウンテクニックの手順等、感染対策の周知徹底に努めました。

5. 入居者により良い看護ケアの提供できるよう、研修への参加や施設内での勉強会を行い、専門職としての知識、技術を深めます。

褥瘡と看取りに関しては、それぞれ2つのグループに分かれて伝達講習会を行いました。

部 門：給食管理

1. 介護、看護、多職種における情報の共有に努め、個々に合った給食を提供する。

個別介護担当者会議に参加する事で、意見交換を行う事が出来ました。咀嚼、嚥下機能等に困難がみられる入居者に対しては、定期的にミールラウンド（食事巡回）を行い、課題の解決や改善点について多職種で検討して、適切な食事提供を行いました。

2. 温かい物は温かく、冷たいものは冷たく、季節に合ったメニューを提供して、ユニットに寄り添ったレクリエーションの充実を図る。

食材価格の高騰などで、低価格で提供する事が難しくなって来ています。調理の工夫などを通して価格以上のサービスを行う事が出来るよ

うに、発注、調理担当者と連携して、より良い食事サービスに努めました。ユニット全体の意見や入居者個人の要望などを組み込み、献立作成を行いました。

3. 管理栄養士・給食委託会社と共に、感染対策を徹底して健康意識を高めて行く。

各自での体調管理には十分気を配りながら、毎日の手指消毒、うがい、検温を徹底して、感染症予防に対する健康意識を高めました。

4. 異物混入ゼロを目標とし安全な給食を提供して行く。

厨房スタッフとの朝礼を行い、調理工程の確認を行い、異物混入の防止に努めました。

部 門：1 南ユニット（地域密着型小規模特養みざわ園）

1. 一人ひとりに耳を傾け、入居者の思いに寄り添うケアを行います。

入居者と今まで以上の会話をして、思いをくみ取り、寄り添う事が出来るように努力しました。訴えの多い入居者に対しては、時に寄り添う事が出来なくなってしまう事もありました。

2. コロナ禍に沿ったレクリエーションの提供を行い、笑顔で過ごせるよう努めます。

季節に合ったレクリエーションを行う事が出来ました。後半期は久しぶりに外出する事が出来て喜ばれました。食べ物のレクリエーションでは、笑顔を沢山見る事が出来ました。

3. ユニット間だけでなく、多職種が連携した報告・連絡・相談の徹底を図ります。

特別な変化や気になる事がある時には、看護師、ケアマネ、相談員、栄養士等に相談をして、情報の共有を図り、入居者がより良い生活が出来るよう努力しました。



7月 紅白対抗競技大会



1月日吉神社に初詣



どら焼きレクリエーション

部 門：1 北ユニット

1. 統一したケアが出来るよう各日誌、各連絡書類の活用を充実させ職員全員が共通意識を持てるよう努めます。

個人日誌への記入事項の見直しを行い、特記事項については日々ノートを用いて日常の変化を把握出来るようにしました。その後の内容も確認出来るようにしました。今後も必要な点を改善しながら、職員全員が共通認識を持てるよう継続します。

2. コミュニケーションを大切に日々の生活をご自分で選んで頂けるようサポートします。

日常的に会話やタッチケアを意識しました。入居者個々に選んで頂く介護ケアが難しくなって来る中で、今後は「尋ねる声掛け」を意識して行います。

3. 「1北たより」を継続し入居者のご家族を繋げられるよう取り組みます。

ご家族より「楽しみにしている」との声が聞かれ、今後も継続します。

4. 月毎のレクリエーションに加え、その方その方に合ったレクリエーションを提供出来るよう努めます。

YouTube を活用した体操・歌レク・クイズ番組や動画鑑賞が好評です。手作業を好む方のために貼り絵や塗り絵などを行って頂きました。今後も継続します。

5. 職員において心身のケアの向上、健全で安定した介護ケアを提供出来るように、自己管理に努めます。

感染予防、防止と心身のケアに努める事が出来ました。ユニット内での権利擁護についてのミニ勉強会を行い、介護ケア向上に努めました。今後もテーマを変えて継続します。



日常の様子



中央公園散策



料理レクリエーション

部門：2F ユニット

1. コロナ禍での余暇活動の充実を図ります。

YouTube を活用した体操を行う事や、懐かしい昭和の歌を皆で歌う機会も多くありました。食べるレクリエーションとして、お寿司やお菓子作り等も行いう事が出来て良かったと思います。ただ、ユニット内でコロナ感染もあり、思うように活動が出来ない時期もありました。感染対策の徹底を図り、今後も充実した余暇活動の提供出来るようにケア向上に

努めて行きます。

2. 入居者のご家族の気持ちに寄り添った介護に努めます。

コロナ禍で、ご家族の面会の出来る時期が限られてしまいましたが、面会時には出来る限り入居者の近況報告を行うようにしました。

3. 報告・連絡・相談を徹底し、職員同士の連携と情報共有に努めます。

個々での意見交換は行われていますが、ユニット全体での情報共有の仕方について課題が残りました。今後はユニット会議を定期的に設けて報告・連絡・相談に努めていきます。



皆様で❀花見❀



フルーツポンチ作り



施設内作品展

部門：3F ユニット

1. その人らしさを大切にその人に合ったケアをして行きます。

担当職員を中心に、個別ケアを行う事が出来るようになりました。この成果もあり、入居者も落ち着いて過ごす事が多く見受けられました。

2. 優しい声掛けをして行き、穏やかに接して行きます。

優しい声掛けで、穏やかに接する事が少しずつ出来るようになりました。忙しい時間帯など時にはキツイ言葉になってしまう時もあり、職員の感情コントロールが、今後の課題となりました。

3. 環境整備に努め、きれいなユニットを作って行きます。

環境整備に努めてきましたが、廊下に物を置く傾向があるため、倉庫に収納するように徹底します。掲示物なども定期的に入れ替えを行います。

4. 職員同士声を掛け合い、助け合って介護ケアを行なっていきます。

職員同士の雰囲気も良く、互いに声掛けのしやすい関係が出来ていて、助け合う介護ケアが出来ています。今後も職員同士の声掛けや報告・連絡・相談を密に行い活動して行きます。



お寿司の出勤



秋の運動会



室内でのいちご狩り

部 門：ショートステイ

1. 常に利用者の状態変化に対応できるよう報告、連絡、相談の充実に努めます。

報告、連絡、相談については、連絡相談ノートを活用すると共に、口頭での直接報告等を行い、相談員とご家族、現場職員とで情報共有し対応出来ました。

2. コミュニケーションを大切にして、傾聴と共感のもとで利用者の思いに寄りそった介護支援に努めます。

傾聴と共感を常に心掛ける事に努めました。今後も利用者一人ひとりとの時間が持てるように、時間の使い方を工夫して行きます。

3. 毎月のレクリエーションや季節行事を提供して、ご利用者の方が楽しんで頂けるように努めます。

毎月季節に合ったイベント（もちつき、花見、ぼた餅作り）等行う事が出来て、皆様に楽しんで頂けました。毎日の体操や散歩、レクリエーション等も利用者に喜んで頂けています。今後も継続して行きます。

4. 1日平均 18.6 名、月平均稼働率 93% を目指します。

1 日平均 18.6 名、月間平均稼働率 93% の実績でした。職員全体の共通意識により目標を達成する事が出来ました。利用者やご家族に満足して頂けるよう、引続き努力して行きます。



お花見



ぼた餅作り



パーティレクリエーション

部 門：デイサービスセンターみぎわ園（認知症対応型通所介護）

1. 笑顔と笑い声の耐えない、安心して心穏やかに過ごせる空間を提供します。

利用者が安心して過ごせる介護サービスの提供が出来ました。沢山の笑顔、笑い声がある空間作りに努めました。

2. 利用者一人ひとりの持つ能力を見出し、生活歴を活かした役割作りや生きがい作りを支援します。

利用者と過ごす中で疑問に思った事は職員間で話し合い、ご家族やケアマネジャーからの情報収集をして、達成感や楽しみを感じられるような役割作りや、生きがいを提供する事が出来ました。

3. 利用者、ご家族、ケアマネジャー、職員などデイサービスに関わる方々とのコミュニケーションを密にして、スムーズかつ的確な情報交換、情報共有を行います。

コロナ禍でしたが感染対策を徹底して、ご家族・ケアマネジャーとコ

コミュニケーションを取る事が出来ました。職員の入れ替りがあり、新しい職員には、早くデイサービスの雰囲気慣れて頂こうと、情報共有や気軽に相談出来る環境作りを行いました。

4. 職員の専門的知識や技術の向上に努め、多角的な視点で広く見守れるケアを行います。

施設内研修に積極的に参加する事が出来ました。デイサービス担当の看護職員が入職して、今迄とは違った視点で専門性を高める事が出来ました。認知症実践者研については、次年度新任職員が受講する予定です。

5. 1日平均利用人数9.0人、月間平均稼働率75%を達成します。

前半期の稼働率低迷の影響もあり、目標を達成する事が出来ませんでした。徐々に安定した利用人数となっているため、継続して、今後も一人ひとりをしっかりケア出来るよう努力して行きます。



桜もち作り



かるた取りゲーム



プリンアラモード作り

部 門：ふようデイサービスセンター

1. 利用者より、ふようデイサービスを選んで良かったと思われるよう、スタッフ一丸となりサービスを提供して行きます。

利用者より、「このデイサービスは本当に楽しい。職員も明るく笑顔が絶えない」という声が多く聞かれました。

2. 感染予防の徹底し、安心安全なサービスを提供して行きます。

感染予防を徹底してきましたが、5月に利用者のコロナ感染により10数名の感染によるクラスターが発生して営業を休止しました。利用者には多大なる迷惑を掛けてしまいました。その後については、感染防止に十分注意を払って大事には至っていません。

3. 一人ひとりニーズに合ったレクリエーションや季節行事を企画し提供します。

感染予防対策を行いながらレクリエーション、季節行事を行いました。皆様多くの笑顔で参加して頂きました。

4. 管理栄養士と連携し、創意工夫したより美味しい食の提供が出来るよう努めます。

「食事が美味しい」との声が多く聞かれています。管理栄養士が、利用者個々のニーズを聴き取り、それぞれの希望に合った食事が好評でした。

5. 利用者個々のニーズを把握し、先駆的なデイサービスが展開できる技術の向上や習得など、研修会等への参加による自己研鑽に努めます。

コロナ禍の研修は、WEB研修を中心に行いました。受講後は、職員による伝達研修を行いサービスの向上に努めました。

6. 一日平均利用人数 34 人、月間平均稼働率 85%以上目指します。

一日平均利用者数 33 人、年間平均稼働率 82.4%と目標を達成することが出来ませんでした。コロナ感染の影響をまともに受けた事業結果でした。



ふよう劇団



干し柿作り



運動会

部 門：看護小規模多機能施設 みぎわの里

1. 感染防止対策を継続し、安心して過ごして頂ける支援に努めます。

日々、手すりやテーブル・椅子などの消毒の徹底、マスクの着用など感染防止対策を継続して行いましたが、1月に複数の利用者から職員への感染が広がり、利用を制限させて頂く事がありました。引き続き、感染防止対策を行い、安心して過ごして頂けるように努めます。

2. “第2の我が家”となれるよう、居心地のよい環境づくりに努めます。

四季の感じられるフロア内の飾りつけや、在宅時生活を考慮しながら、利用者の体調など気持ちに寄り添った生活リズムで過ごして頂ける環境の提供に努めました。

3. 多職種と連携して、家族と共に利用者の在宅生活の支援に努めます。

毎月の勉強会に加えて、日々の業務の中で介護・看護・相談員とそれぞれの各職員が声を掛け合い、お互いの業務をフォローしながら利用者の支援を行う事が出来ました。

4. 平均介護度3の継続を目指します。

平均介護度は 3.21 と目標を達成する事が出来ました。来年度以降も平均介護度 3 以上と、平均登録者 23 名を目指します。



園芸活動



味噌作り



クリスマス会

部 門：ふよう居宅介護支援事業所

1. ケアマネジャー1人あたり平均担当件数37件を維持します。

平均担当件数 37 件の維持については、36.8 件と達成する事は出来ませんでした。

この内訳において、単価の低い予防支援プランが増加して、収入減に繋がっています。

来年度は要介護プラン 27 件、予防支援プラン 10 件を目指します。

2. 特定事業所体制を維持します。

特定事業所の維持については、必要とされる要件の確認と市のプラン点検による協力の下で実施しました。R5 年度については、実地指導があるとの想定で取り組んで行きます。

3. 省令改正となった項目の体制を整えます。

今年は、BCP（事業継続）計画を作成する事が出来ました。来年度では実際に取り組む上での改善と精度を高める検討を行います。

部 門：吉原西部地域包括支援センター

1. 今年度も地域包括ケアシステム構築のため、介護予防事業や富士市介護予防・日常生活支援総合事業、富士市生活支援体制整備事業を推進して参りました。前年度からの「お宝さがし」モデル事業地区（今泉地区）として活動してまいりました。成果として、令和 4 年 1 2 月には今泉地区「お宝発表会」、R 5 年 1 月には富士市全体での「お宝発表会」を開催する事が出来ました。今後も地域の「お宝さがし」を継続して行きたいと考えています。

2. 昨年に引き続き、第二層協議体残り 1 地区（吉原地区）設置を目指し関連機関へ働きかけを行っています。伝法地区においては R 2 年 10 月から「買い物難民支援」の目的で、富士市都市整備部都市計画課と高齢者支援課で「伝法地区おでかけバス」の実証運行が開始されました。ただコロナ禍の影響もあり地域住民の利用者数が安定せず、継続が難しい状況です。

3. 今後は、地域課題として地域ケア会議などを開催して、課題解決の糸口を地域住民と共に探して行きたいと考えています。

以下の主要活動 4 事業のみならず、地域住民からの様々な問題に、必要に応じて問題解決が出来る体制づくりと、多職種、多機関連携をより一層強化して活動してまいります。

主要活動内容

1. 総合相談事業について、独居世帯や生活保護世帯、障害など様々な相談に対応しました。相談件数としては 2,344 件の対応の実績でした。
2. 介護予防ケアマネジメント事業については、直営委託合わせ 5,172 件の対応でした。

3. 権利擁護事業について、虐待ケースなど早期対応を徹底して解決に向け取り組みました。権利擁護相談 5 件(成年後見・消費者被害など)、虐待相談 18 件の相談に対応しました。
 4. 包括的継続的ケアマネジメント事業では、地域の居宅介護支援事業所ケアマネに対して後方支援活動（アドバイスを含む）を 8 件対応しました。
 5. 認知症サポーター養成講座について、年間 1 回の開催で計 18 名のサポーター養成を行いました。また、エリア内のキャラバンメイトの方々との連携で、ネットワーク推進に努めました。
- その他、コロナ禍ではありましたが、個別問題に対しての個別ケア会議や、地域課題（8050 問題）については、地域ケア会議を伝法地区で開催する事が出来ました。包括エリア内研修では、集合型で 3 回/年開催する事が出来ました。また、包括センター主催のエリア内居宅介護支援事業所対象のミニ勉強会も開催して、コロナ禍以前の研修開催状況に近づく事が出来ました。



R5.1.20：（於）ロゼシアター「地域の小さな繋がり大発見（今泉地区のお宝）」発表風景

資料 1：介護予防給付実績状況

令和 3 年度 介護予防給付ケース表	包 括
直 営 件 数	956 件
直営（内 総合事業件数）	647 件
委 託 件 数	4,290 件
委託（内 総合事業件数）	1,290 件
総 合 計 件 数	5,172 件

資料 2：介護予防・生活支援サービス事業実施状況

事業名	教室名	回 数	参加者総数
介護予防・生活支援 サービス事業	脳の健康教室（1 教室 10 回）	1 回	103 名
	介護予防教室（1 教室 3 回）	2 回	59 名

各委員会報告

レクリエーション委員会

コロナ感染症対策で法人全体としてのイベントが中止になり、対策として園内でお祭りや作品展を行い、時間を分けてユニット毎で楽しんで頂くようにしました。また、委員会メンバーでユニットレクリエーションのお手伝いを行いました。球技大会や足浴、どら焼き作りなど、各ユニットで色々な工夫し活動しました。クリスマスは、ツリーコンテストを開催して煌びやかなツリーが各ユニットを彩りました。

— 球技大会の様子 —



— 足浴の様子 —



防災委員会

《年間活動実績》

4 月	年間計画の策定
5 月	発電機の使用方法の確認、防災倉庫確認 新型コロナウイルス感染拡大の為に中止
6 月	夜間地震想定（みぎわの里） 防火管理者による防災研修に変更
7 月	発電機の使用方法の確認 夜間地震想定（みぎわの里）
8 月	全体防災訓練、地震想定（夜間帯） 各ユニットでの夜間地震訓練変更
9 月	全体防災訓練、地震想定（夜間帯） グループワークに変更（震度 6 強の地震が来た）
10 月	全体防災訓練、地震想定（夜間帯） 各ユニットで厨房火災想定訓練に変更
11 月	ふようデイ火災想定避難訓練 新型コロナウイルス感染拡大の為に中止
12 月	全体防災訓練 新型コロナウイルス感染拡大の為に中止
1 月	防災倉庫整理及び防災備品確認
2 月	全体訓練、地震想定（夜間帯） 各ユニットマニュアル見直しに変更
3 月	各ユニット防災マニュアル更新の発表

《年間の反省》

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で思うような訓練が出来ませんでした。そのためグループワークを中心に行い、この事を通して他ユニットの防災対策を聴く事で参考になりました。
- ・11月に行った園内独自の自己評価で、防災に対してユニット内での共通認識が薄いと感じた意見があったため、ユニット内のマニュアルの見直しを行い、共通認識を図りました。

ケア向上委員会

《年間活動実績》

月	ケアのタイトル	研修内容	参加人数
4月	年間計画作成	顔あわせ。一年間の計画の作成を行う。	12名
5月	嚥下機能について 爪きり	高齢者の食事の特徴や食事時の姿勢、介助方法を学ぶ。 爪の構造、爪の切り方、爪のトラブル等を学ぶ。	9名
6月	ガウンテクニック	コロナ陽性者が出た時のガウンテクニックを学ぶ。	11名
7月	移乗について	いきいき病院より山中部長を講師に来て頂き、正しいポジショニング、移乗方法について学ぶ。	26名
8月	褥瘡について	褥瘡発生要因ポジショニングについて学ぶ。	8名
9月	精神的ケアについて	コロナ感染まん延のため延期	
10月	ユマニチュード	ユマニチュードの目的や手法を学ぶ。	11名
11月	精神的ケアについて レクについて	レクリエーションの意義について。各ユニットでのレクリエーションの状況を話し合う。	9名
12月	フットケア	爪の基礎知識や実践的なフットマッサージの伝達を行う。	9名
1月	腰痛予防について	ボディメカにクスを取り入れた介護技術を学ぶ。	
2月	口腔ケア	片岡歯科の歯科衛生士による実践的な講習を行った。義歯がある方とない方の歯の磨き方、義歯の磨き方を学ぶ。	15名
3月	反省会	学んだことが実践できているかの確認。	8名

1年を通して各委員がケアについての議題に沿って講習を行いました。9月はコロナ蔓延のため延期して、11月に行いました。7月、2月は外部講師を招き講習会を開く事が出来ました。この他、3ヶ月毎のキャッチコピー的な目標を掲げて職員の目に留まるようにしました。

事故防止委員会

1. それぞれの委員が事故防止に関するテーマについて研究を行い、委員会の場で発表し共有しました。
2. 各ユニットに配備されている車椅子の点検を行いました。
3. 事故報告書の書式の見直しを行い、より使いやすい物に変更を行いました。
4. 毎月の事故報告・ヒヤリハットの集計を行い、年度末にはユニット毎に年間の統計・分析を行い、事故が起きやすい状況についての情報共有を行いました。

安全衛生委員会

《年間活動実績》

月	内 容	出席者数
4 月	安全衛生委員会の目的と役割について学び、令和 4 年度の年間予定の検討を行う。	11 名
5 月	施設内新型コロナ感染症の感染拡大防止のため中止。	
6 月	栄養士による食中毒伝達講習会（6/17・6/21）47 名 6 月病について：メンタルヘルス（6/23）11 名	58 名
7 月	産業医による講話「パワハラ防止法について」具体例、対策と今後の取り組みについて学ぶ。	18 名
8 月	施設内新型コロナ感染拡大防止のため中止。	
9 月	健康情報の常識・非常識。	12 名
10 月	健診結果と生活習慣病 ・9 月に行われた職員健康診断の結果と全国の有所見者率の比較、特に有所見者数の多かった項目（血中脂質）についての知識と改善策を学ぶ。 ・脂質異常症が増えている理由、改善策等についてアンケート用紙を配布。	11 名
11 月	感染対策伝達講習会 11/18（金）24 名・11/21（月）25 名・11/22（火）22 名 新型コロナウイルスを中心とした感染症についての知識、感染発生時のガウンの着脱法、正しい手洗いについて等、感染対策の伝達講習会を行う。	71 名
12 月	職場で取り組める運動について ・短時間で取り組める運動について説明しながら実際に行う。 ・10 月のアンケート結果のまとめを配布し今後の取り組みについて検討する。	12 名
1 月	ストレスを感じないものの受け取り方、考え方について	6 名
2 月	脳血管疾患のリスクについて	8 名
3 月	食生活改善マニュアル ・時代の流れとともに変化する食生活の改善法について学ぶ。 ・年間の反省	9 名

新人担当委員会

《年間活動実績》

4月	委員長選出・年間予定（案）を考える
5月	年間予定決定
6月	新人職員の業務達成チェックリストの作成
7月	新人職員の業務達成チェックリストの作成
8月	夜間の緊急時の対応についての研修
9月	コロナ感染者発生の為中止
10月	介護職員のストレスについての研修
11月	K Y T 研修
12月	マナー研修
1月	入居者体験を行う
2月	K Y T 研修
3月	反省会

新卒の入職者が居なかったため、ベトナム技能実習生と中途採用職員を対象に研修を行いました。研修内容としては、夜間の緊急時の対応、入居者体験、介護職員のストレスについて、

マナー研修、K Y T 研修を行いました。また、同時進行で、新人職員の業務達成度チェック表を作成したため、今後使用して行くようにR 5年度に引き継ぎました。

今後の課題としては、新入職員が居ない時にどのような活動をする事が良いのか、研修委員会との差別化を図る事が今後の課題となりました。

資料1 面会者数

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
面会者数	1,131	1,391	1,725

資料2 各事業所利用者平均年齢及び平均介護度（R5年3月末現在）

		特養	ショートステイ	みぎわデイ	ふようデイ	みぎわの里	ふよう居宅
年齢	男	85.7	82.9	84.6	84.1	81.2	84.4
	女	89.7	86.6	80.5	85.9	85.2	82.8
	平均	88.8歳	85.6歳	82.3歳	85.4歳	83.4歳	85.1歳
介護度	男	3.75	2.70	3.32	2.00	3.03	1.56
	女	3.96	2.38	3.34	1.60	3.35	1.50
	平均	3.91歳	2.46歳	3.33歳	1.72歳	3.20歳	1.52歳

資料3 特養平均入居期間（R5年3月末現在）

男性：42.8ヶ月（3.57年）	女性：44.0ヶ月（3.67年）	平均：43.8ヶ月（3.65年）
------------------	------------------	------------------

*令和2年 48.9ヶ月（4.07年）・令和2年度 43.6ヶ月（3.63年）

資料4 特養入退居者件数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	2	1	1	3	2	4	2	2	1	1	1	2	22
退居	2	1	3	3	1	3	3	1	1	2	1	2	23

資料5 年度別特養入退居者

(単位：名)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
入居	17	17	15	22	22
退居	16	17	16	21	23

資料6 入院人数及び延日数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	8名	10名	6名
延日数	122日	171日	53日

資料 7 外来受診一覧

受診医療機関	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
青葉クリニック	28	41	35	8	6	27	24	18	17	17	24	34	279
鷹岡病院	9	7	18	9	10	10	10	7	10	10	10	10	120
富士中央病院 内科		1					1	1				1	4
外科・整形・形成	2				1				1		3	1	8
泌尿器科		1	2	1	2	1	1	1	1	1	2	1	14
救急外来						1	1						2
皮膚科 その他			2	2	2	1	1		1				8
聖隷富士病院	3	1	2		3		1		1				11
田辺整形外科	2	1	1	1	1	1	1	5	1	1		1	16
池辺クリニック	1		1		2								4
横割皮膚科	4	8	7	7	5	2	1	3	2	2	2	2	45
沼津市立病院	1					1			1			1	4
かみで耳鼻科							1		1	2			4
加藤眼科							1		1	1		1	4
富士脳研付属病院				1	1		1		1		1		5
その他	1		3					1	1	1	1	2	10
受診合計	51	60	71	29	33	44	44	36	39	35	43	54	539

資料 8 コロナ感染者数

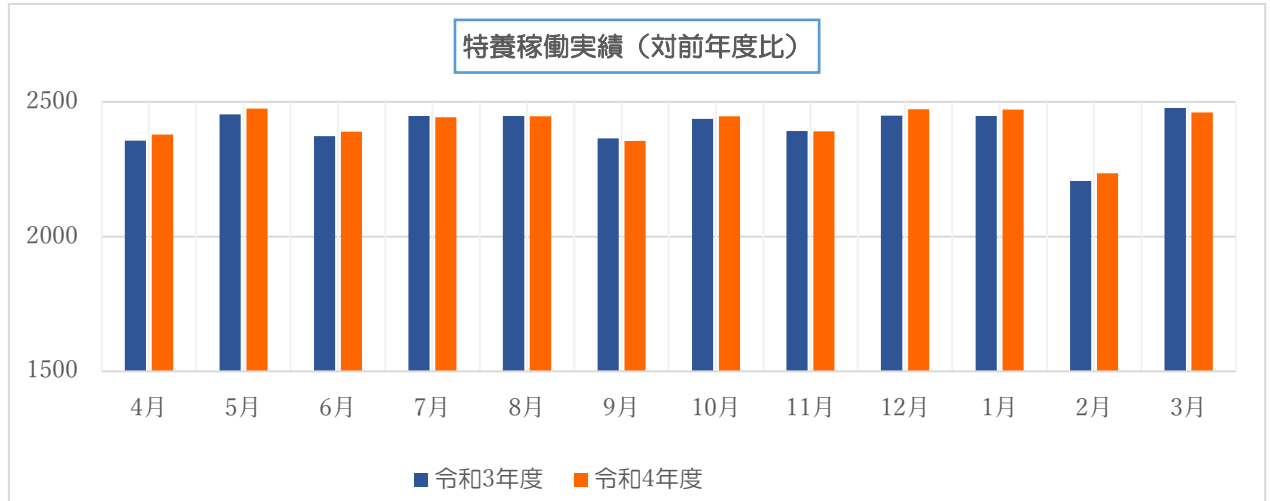
発症日	発生事業所	発症者：人数	備考
5/14～5/24	ふようデイ	職員：4名・利用者12名	クラスター認定10日間営業停止
5/18～5/23	ショートステイ	職員：2名・利用者2名	
7/23	ショートステイ	利用者1名	
7/30～8/2	ふよう居宅	職員：4名	
8/11～8/23	ふようデイ	職員：4名	
8/9～8/23	特養	職員：4名・入居者1名	
9/6～9/11	特養	職員：4名・利用者3名	クラスター認定
11/6	ふようデイ	職員：1名	
12/30	みぎわデイ	職員：1名	
1/1～1/30	老人部門全体	職員：7名・利用者12名	
2/3～2/17	老人部門全体	職員：2名	

資料9 各事業所稼働率 対前年度比表

1. 特別養護老人ホーム みぎわ園

(入居延日数)

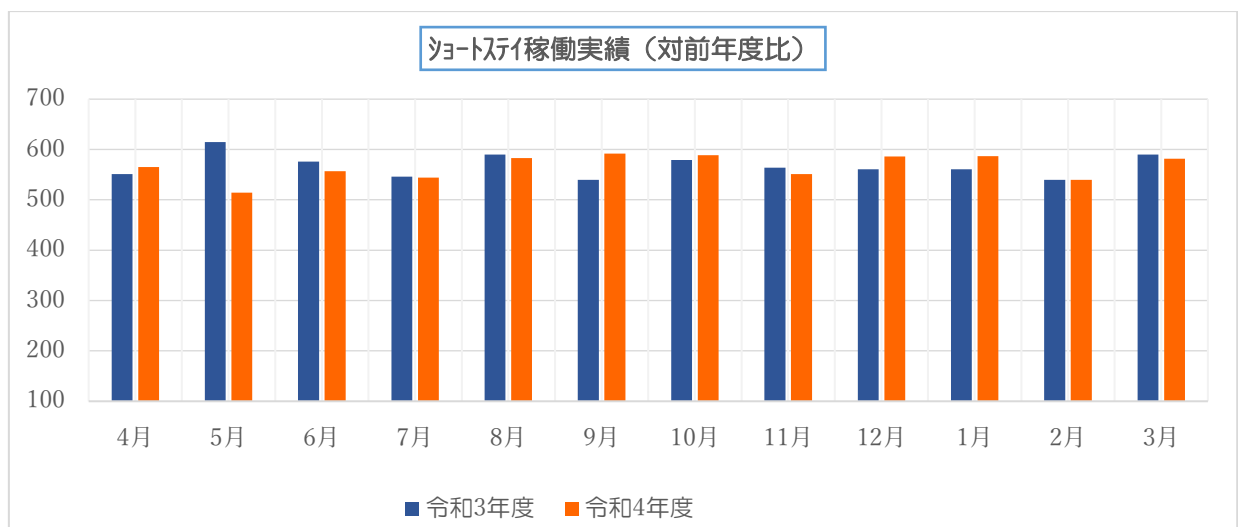
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	2356	2454	2373	2448	2448	2365	2437	2392	2449	2448	2206	2477	28853
R4年度	2379	2475	2389	2443	2446	2355	2447	2391	2473	2471	2235	2461	28965
R3-R4	23	21	16	-5	-2	-10	10	-1	24	23	29	-16	112
稼働率	98.1%	99.8%	99.5%	98.5%	98.6%	98.1%	98.7%	99.6%	99.7%	98.6%	99.8%	99.2%	99.2%



2. ショートステイみぎわ園

(利用延人数)

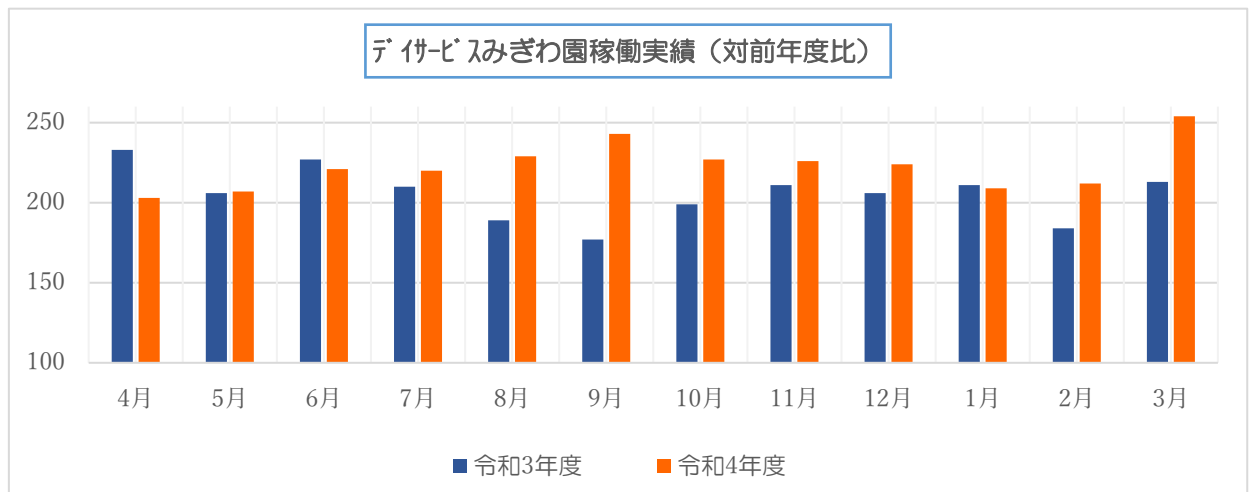
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	551	615	576	546	590	540	579	564	561	561	540	590	6813
R4年度	565	514	557	544	583	592	589	551	586	587	540	582	6790
R3-R4	14	-101	-19	-2	-7	52	10	-13	25	26	0	-8	-23
稼働率	94.2%	82.9%	92.8%	87.7%	94.0%	98.7%	95.0%	91.8%	94.5%	94.7%	96.4%	93.9%	93.3%



3. デイサービスセンターみぎわ園

(利用延人数)

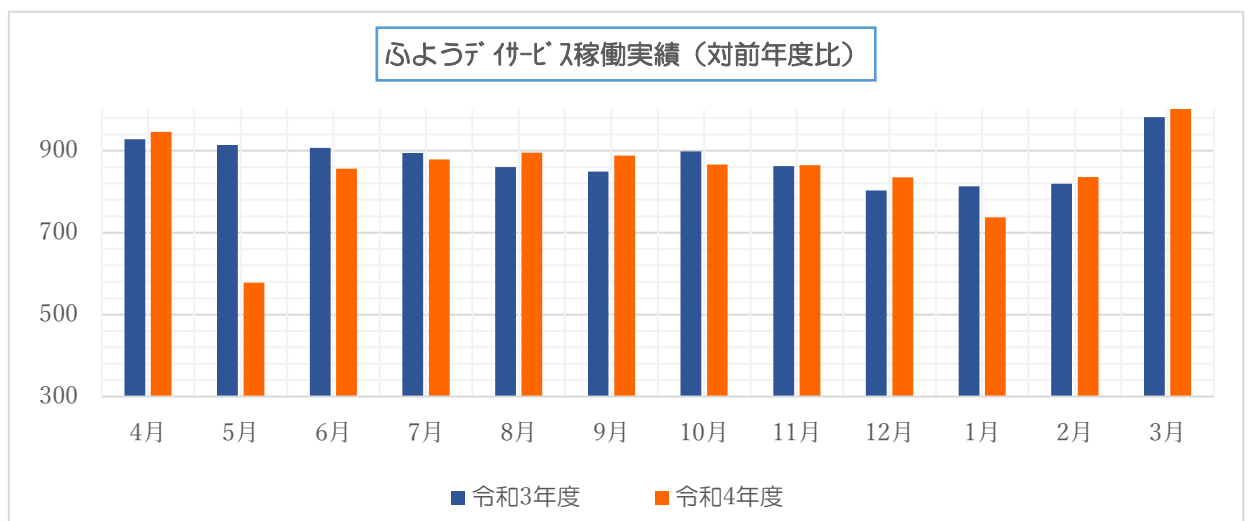
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3 年度	233	206	227	210	189	177	199	211	206	211	184	213	2466
R4 年度	203	207	221	220	229	243	227	226	224	209	212	254	2675
R3-R4	-30	1	-6	10	40	66	28	15	18	-2	28	41	209
稼働率	65.1%	66.3%	70.8%	70.5%	70.7%	77.9%	72.8%	72.4%	74.7%	72.6%	73.6%	78.4%	72.1%



4. ふようデイサービスセンター

(利用延人数)

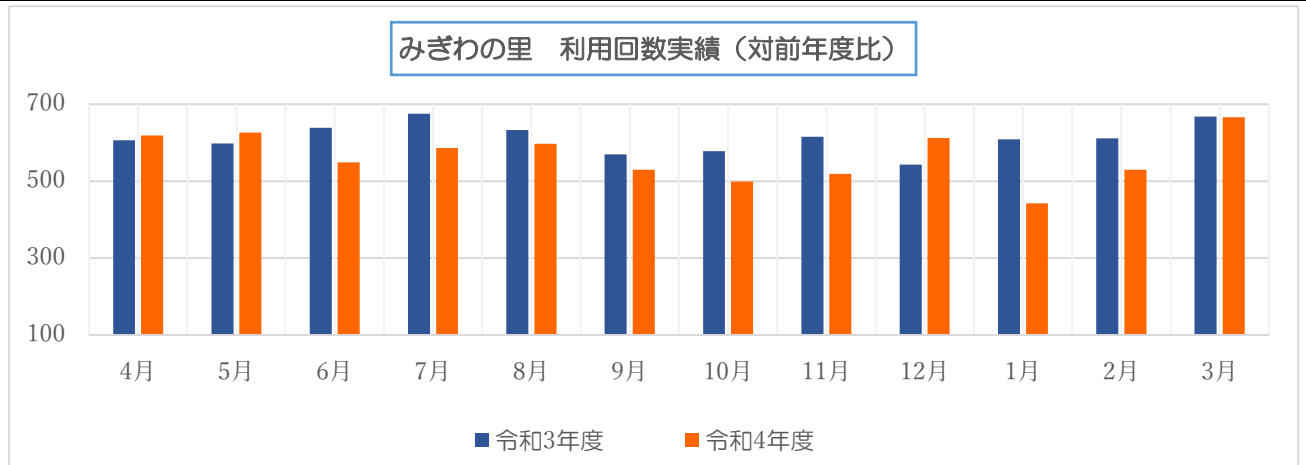
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3 年度	928	914	907	894	860	849	898	862	803	813	819	982	10529
R4 年度	946	578	856	879	895	888	866	865	835	737	836	1007	10188
R3-R4	18	-336	-51	-15	35	39	-32	3	32	-76	17	25	-341
稼働率	91.0%	55.6%	82.3%	84.0%	82.9%	85.4%	83.3%	83.2%	83.5%	76.8%	87.1%	93.2%	82.4%



5. 看護小規模多機能 みぎわの里

(登録人数・サービス利用回数)

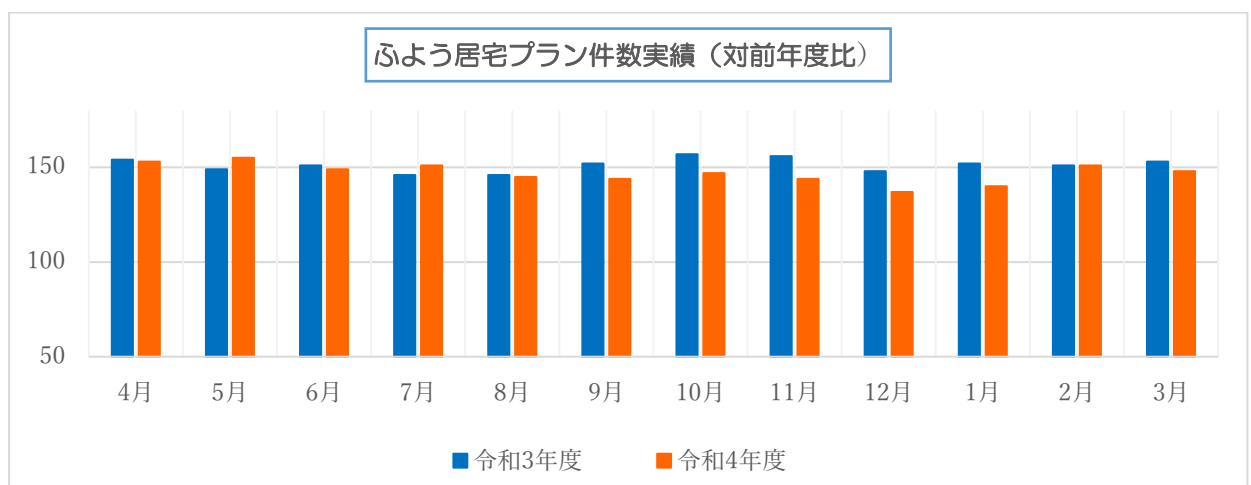
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3 (登録者)	23	23	24	24	24	22	22	22	22	23	23	22	274
(利用回数)	606	598	639	675	633	570	578	615	543	609	611	668	7345
R4 (登録者)	22	21	21	21	21	21	20	21	23	23	22	24	260
(利用回数)	619	626	549	586	597	530	499	519	612	442	530	666	6775
R3-R4	13	28	-90	-89	-36	-40	-79	-96	69	-167	-81	-2	-570
平均介護度	3.45	3.45	3.29	3.33	3.29	3.20	3.05	3.19	3.09	3.04	3.05	3.08	3.21



6. ふよう居宅介護支援事業所

(プラン件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3 年度	154	149	151	146	146	152	157	156	148	152	151	153	1815
R4 年度	153	155	149	151	145	144	147	144	137	140	151	148	1764
R3-R4	-1	6	-2	5	-1	-8	-10	-12	-11	-12	0	-5	-51
件数/一人	38.3	38.8	37.3	37.8	36.3	36.0	36.8	36.0	34.3	35.0	38.0	37.0	36.8



資料 10 実習生等受け入れ実績

学 校 及 び 機 関	人 数	期 間	延日数
静岡県立富士宮東高等学校（介護福祉士実習）	2	5/9～23	11
	2	7/7～20	9
	2	9/26～10/7	10
中村学園 静岡福祉医療専門学校（介護福祉士実習）	1	11/28～12/9	10

資料 11 職員研修状況表

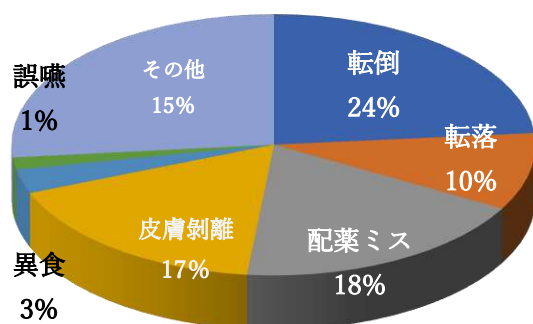
年 月 日	研 修 名	主 催	研 修 先	職 種	人 数
R4.5.20	研修活用講座	市社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R4.5.21	接遇マナー・コミュニケーション講座	県社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R4.6～8 月	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	2
R4.7～9 月	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	富士市	介護職員	2
R4.7.7	褥瘡予防の基本	県社会福祉協議会	静岡市	介護・看護	2
R4.7	安全対策養成者養成研修	全国老施協	Web 研修	介護職員	1
R4.8.26	相談員の為の支援力アップ講座	県社会福祉協議会	静岡市	相談員	1
R4.8.21	口から食べる幸せ	県介護福祉士会	動画配信	栄養士	1
R4.8.22	介護予防ケアマネジメント研修	県健康増進課	静岡市	ケアマネジャー	1
R4.9.6	現場職員の為の薬の基礎知識	県社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R4.9.21	技能実習責任者研修	（株）アソシエイト	静岡市	実習責任者	1
R4.9.29	高齢者施設のための感染症講座	県社会福祉協議会	Web 研修	看護職員	1
R4.10～11 月	介護福祉士実習指導者研修	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
R4.11.2	セルフヘルプのすすめ	県社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R4.11.9	フットケア講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
R4.11.22	認知症の人との関わり講座	県社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R4.8～11 月	介護支援専門員更新研修	県介護支援専門員協会	Web 研修	ケアマネジャー	4
R4.12.9	施設看護師に求められる役割	県社会福祉協議会	Web 研修	看護師	1
R5.1.27	精神疾患の理解	県社会福祉協議会	Web 研修	看護師	1
R5.2.1	口腔ケア講座	県社会福祉協議会	Web 研修	看護職員	1
R5.2.13	利用者家族との関係作り	県社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R5.2.13	高齢者施設のリスクマネジメント	県社会福祉協議会	Web 研修	介護職員	1
R5.3.8・9	認知症サポーター管理者研修	県社会福祉協議会	三島市	事務課	1

資料 12 リスクマネジメント集計(インシデント・アクシデント報告)

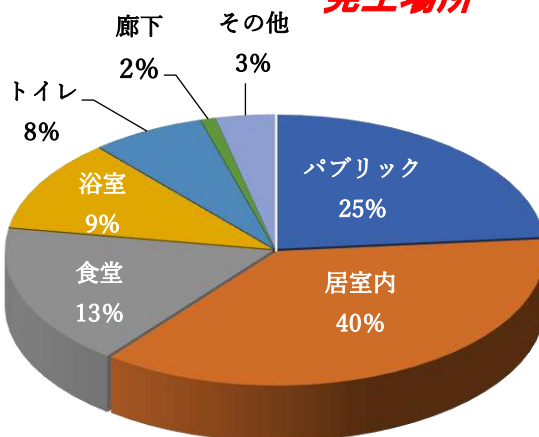
1. アクシデント内容

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
転倒	79	4	4	6	6	3	11	13	6	7	6	8	5
転落	32	5	2	0	3	6	5	2	2	2	0	4	1
配薬ミス	62	8	8	4	4	6	3	5	3	3	8	6	4
皮膚剥離	58	6	7	9	2	6	3	4	3	2	8	5	3
異食	10	3	2	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0
誤嚥	5	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1
その他	89	10	10	11	4	8	6	6	6	10	8	8	2
合計	335	37	33	30	19	29	28	32	21	27	30	33	16

アクシデント内容



発生場所



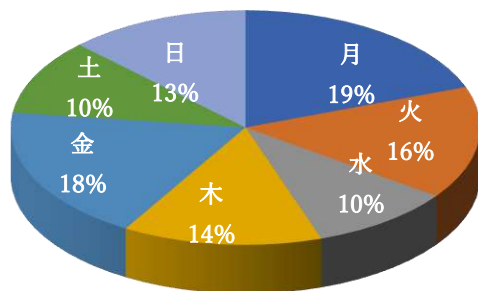
2. 発生場所

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
パブリック	79	12	11	9	3	2	4	8	5	7	9	5	4
居室内	124	10	11	10	9	18	12	11	8	5	10	12	8
食堂	57	9	7	2	2	6	4	6	5	6	4	2	4
浴室	37	4	2	5	1	3	4	2	1	5	4	5	1
トイレ	23	2	0	2	1	1	5	4	0	2	2	2	2
廊下	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	12	0	1	0	3	1	0	1	0	1	2	3	0
合計	335	37	32	29	19	31	29	32	19	26	32	29	20

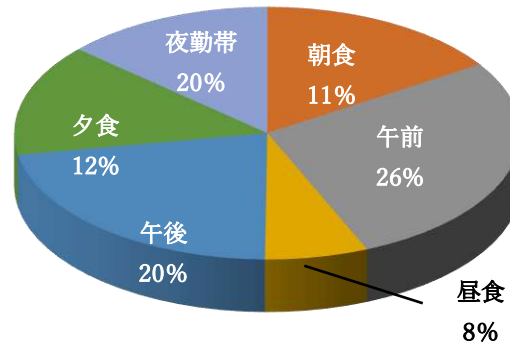
3. 曜日件数

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	65	7	9	6	4	4	6	5	4	5	4	7	4
火	52	3	2	6	4	8	6	3	1	3	4	3	9
水	33	3	4	7	3	0	1	6	1	0	4	3	1
木	46	6	5	2	4	5	6	4	1	3	3	6	1
金	62	8	6	4	1	6	4	5	6	9	5	7	1
土	35	6	1	3	1	4	3	4	4	4	3	2	0
日	42	4	2	2	3	4	5	2	4	2	6	6	2
合 計	335	37	29	30	20	31	31	29	21	26	29	34	18

曜日件数



発生時間帯



4. 発生時間帯

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
朝食時 (6~9)	53	5	3	7	3	2	0	3	4	4	6	8	8
午前 (9~12)	93	8	6	12	11	6	5	10	6	9	5	8	7
昼食時 (12~14)	22	3	2	0	3	2	1	2	1	0	2	3	3
午後 (14~17)	74	2	3	5	9	6	5	9	9	5	3	10	8
夕食時 (17~20)	48	4	3	6	5	3	1	3	5	3	7	5	3
夜勤帯 (20~6)	45	4	9	5	6	1	3	3	2	2	2	2	6
合 計	335	26	26	35	37	20	15	30	27	23	25	36	35

資料 13 苦情について

苦情件数 3 件

受付日	内 容	対 応
R4.5.13	左手拘縮予防の為に茶殻握り棒を握らせて欲しいとお願いしたが、面会に伺った際握っていなかった。	入浴時の洗浄と摩る等のケアを提供し、それ以外の時間帯は握り棒を使用する事を徹底した。
R4.6.4	面会に行った時、仏ツが濡れていたので交換をお願いすると「時間が来たら変えます。」と返答された。忙しい事は理解していますが、本人も気持ち悪いので交換して欲しい。	本人から仏ツ交換の訴えがあった場合は確認し早めの交換を行う。早急にできない場合は待つて頂く時間を伝える等丁寧な接遇に努める。
R3.12.12	自宅ガレージから車で出ようとした時クラクションを鳴らされたので停車した。鳴らした「みぎわ園」と書かれた車が通り過ぎる際、運転手にすごい顔でにらまれた。	事業所内で内容を共有し、仕方なくクラクションを鳴らした時には一旦停車し相手側に手を挙げる等不快な思いをさせないように徹底する。

資料 14 固定資産取得・廃棄状況表

【 取 得 】

科目コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
1202	LED 照明設備（階段）	R5. 3. 31	517,000 円	省エネ対策
1303	進入路関連 （躯体擁壁・舗装・防護柵）	R5. 2. 28	37,950,000 円	進入路敷設及び安全対策
1304	給水ユニット取替（Bデイ）	R5. 3. 30	400,000 円	ひまわり園との按分
1305	スズキ エグリア（Eデイ）	R4. 5. 16	1,544,000 円	故障による入替
1305	ニッサン キャラバン（Bデイ）	R4. 7. 29	3,573,276 円	利用率増に伴う配備
1306	移乗サポートロボット（2 台）	R4. 12. 9	1,362,000 円	介護負担軽減
1306	ピットタッチ（4 台）	R4. 11. 30	546,670 円	勤怠管理 IT 化
1306	アルコール検知器（3 台）	R5. 2. 28	304,150 円	安全運転業務

【 廃 棄 】

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価	廃棄・売却等の理由
06006	トヨタ ハイエース（Bデイ）	H19. 12. 20	1 円	故障のため廃棄
06013	ダイハツ タント（Eデイ）	H25. 8. 6	1 円	故障のため廃棄
10001	ブレバ 倉庫電気照明	H17. 12. 23	11,145 円	使用不可のため廃棄
06068	パルスオキシメーター	H26. 11. 30	1 円	故障のため廃棄

資料 15 修理修繕工事一覧（10 万円以上）

内 容	場 所	施行業者	金 額
防災倉庫基礎工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	345,000 円
給食室休憩所改修工事	みぎわ園	雅渡建設	405,900 円
特殊浴槽修理	みぎわ園	(株)アマノ	284,900 円
特殊浴槽ストレッチャー修理	みぎわの里	(株)アマノ	100,550 円

資料 16 保守管理・業務委託一覧

契約内容	内容詳細	頻 度	形 態	業 者 名
経理会計処理	会計処理・会計監査	随時	年次	(株)ブレインコンサルティング 新富士
保守警備	警備保守	随時	年次	セコム・ALSOK 双栄
消防機器設備	定期点検・行政報告	2 回/年	年次	サンコー防災(株)・深沢消防産業(株)
電気設備	定期点検	1 回/月	年次	関東電気保安協会
建物設備・特殊建物等 定期検査	定期点検・行政報告	1 回/2 年	指名	井上建設(株) 王子不動産
防火設備定期検査	定期点検・行政報告	1 回/年	年次	サンコー防災(株)
エレベーター・荷物用リフト	定期点検・行政報告	1 回/月・随時	年次	マースリーエレベーター(株)
清掃・消毒点検	施設内環境整備	2 回/週・随時	年次	(株)ダスキン富士宮
利用者リネ	リネ洗濯等委託	3 回/週	年次	(株)ティーンズ
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1 回/年	年次	ニッケン消毒(株)
空調保守管理	空調設備点検	2 回/年	年次	(株)アオノ
給食業務	調理配膳配送	毎日	年次	(株)クリエイティブ
PC・ソフト・クラウド管理	PC ソフト保守 バージョンアップ	随時	設置時	(株)静岡情報処理センター (株)夢工房・(株)アドテクニカ (株)ティーケースシステム
自動ドア保守・管理	定期点検・整備	2 回/年	年次	ナブコシステム(株)
廃棄物処理	一般廃棄物処理 医療廃棄物処理	毎日 適宜	年次	市栄産業(株) さとう産業(株)
夜間当直	夜間当直業務	2 回/週	年次	(有)フジタ産業